2027年度4月期入学第2次

博 士 後 期 課 程

学 生 募 集 要 項

（2027年度10月期入学の募集を含む）

（社会人特別選抜を含む）

Guidelines for Applicants to the 2027 Doctoral Program

【April 2027 Admission, Second Recruitment】

【Including October 2027 Admission】

(Including Special Selection of Career-Track Working Student)

京都大学大学院工学研究科

Graduate School of Engineering, Kyoto University

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

TEL 075-383-2040, 2041

Kyoto daigaku-Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto, 615-8530, JAPAN

Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041

E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

目　　次

Part A　全専攻共通部分　4

I. 募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II. 出願資格と出願資格の審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

i. 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

ii. 出願資格の確認（出願資格(２)(３)(４)）・・・・・・・・・ 5

iii. 出願資格の審査（出願資格(６)(７)）・・・・・・・・・・・ 5

iv. 出願資格の審査（出願資格(８)）・・・・・・・・・・・・・ 5

v. 社会人特別選抜について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

III. 出願要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

i. 出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

ii. 出願書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

IV . 入学者選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

i. 学力検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

ii. 受験票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

iii. 口頭試問の発表指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

V. 合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

VI. 入学料及び授業料と入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

VII . 注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

VIII. 共通部分に関しての問合せ先・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

IX. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）について・・・・ 11

X. 博士後期課程入学後の教育プログラムについて・・・・・・・・・ 12

XI. 博士課程教育リーディングプログラムについて・・・・・・・・・ 12

XII. 卓越大学院プログラムについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

XIII. スーパーグローバルコースについて・・・・・・・・・・・・・・ 12

XIV. 表　博士後期課程入学後の教育プログラムと志望専攻・・・・・・ 13

XV. 試験日程一覧（博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

Part B　専攻別入学試験詳細　26

Contents

Part A	**Common Part for All Divisions/Departments**	**15**
I.	Number to Be Accepted…….	15
II.	Eligibility and its screening……	15
	i. Eligibility…….	15
	ii. Eligibility Confirmation (under requirement (2) (3) (4))……..	16
	iii. Eligibility Screening (under requirement (6)(7))……..	16
	iv. Eligibility Screening (under requirement (8))……...	17
	v. Special Selection of Career-Track Working Applicants……...	17
III.	Application……	17
	i. Application Procedures……	17
	ii. Application Documents……	19
IV .	Selection Methods……	20
	i. Academic Examination……	20
	ii. Examination Voucher……..	20
	iii. Guidance on Presentation for Oral Examination……	20
V.	Announcement of Entrance Examination Results……..	21
VI.	Admission Fee, Tuition and Admission Procedure……	21
VII .	Notes……..	22
VIII.	Contact Information for Inquiries Regarding Common Part for All Divisions/Departments ……	22
IX.	Admission Policy……..	22
X.	Educational Programs in Doctoral Program……	23
XI.	Program for Leading Graduate Schools……..	23
XII.	Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education……..	23
XIII.	Top Global Course……	23
XIV.	Table: Educational Program and Department…….	24
XV.	List of Examination Schedule……..	25
Part B	**Details of Entrance Examinations of Each Division/Department**	**26**

Part A: 全専攻共通部分

※本募集要項の記載内容については日本語版が優先となります。

Ⅰ. 募集人員

① 2027年度4月期入学：

志望専攻	募集人員	志望専攻	募集人員	志望専攻	募集人員
社会基盤工学専攻	7名	都市社会工学専攻	12名	都市環境工学専攻	9名
建築学専攻	19名	機械理工学専攻	9名	ﾏｲｸﾛｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ専攻	若干名
航空宇宙工学専攻	6名	原子核工学専攻	若干名	材料工学専攻	若干名
電気電子デジタル理工学専攻	14名	化学理工学専攻	15名		名
合計 97名					

◎ 社会人特別選抜は、各専攻とも若干名募集

② 2027年度10月期入学（外国人留学生のみ）：

志望専攻	募集人員	志望専攻	募集人員	志望専攻	募集人員
社会基盤工学専攻	若干名	都市社会工学専攻	若干名	都市環境工学専攻	若干名
化学理工学専攻	若干名				

注：

・社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻、あるいは都市環境工学専攻を志望し、かつ、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考へ出願する者は、入学時期を2027年度4月期あるいは2027年度10月期のいずれかから選択することができます。出願後は入学時期の変更はできないので、該当者は事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。また、融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）への推薦を希望する場合には、10月入学を選択すること。

特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要があります。推薦基準を満たしていない場合、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生として入学できます。推薦希望者は、特別プログラムへの推薦書類についてあらかじめ出願時に提出する必要があります。ただし、これは推薦を保証するものではありません。また、入学試験の合格を保証するものでもありません。なお、出願締切後の入学検定料払い戻しはできません。

・化学理工学専攻の外国人留学生特別選抜へ出願する者は、入学時期を2027年度4月期あるいは2027年度10月期のいずれかから選択することができます。出願後は入学時期の変更はできないので、該当者は事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。

Ⅱ. 出願資格と出願資格の審査

ⅰ. 出願資格

出願時において、次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかに2027年度4月期入学を志望する者においては2027年3月末までに、2027年度10月期入学を志望する者においては2027年9月末までに該当する見込みの者。併せて、2027年度10月期入学を志望する者においては、外国の国籍を持ち、在留資格「留学」を有する者、又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者（注）。

(1) 修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者

(2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者（ⅲ参照）

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者（ⅱ参照）

(4) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程（本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。）を修了した者（ⅱ参照）

(5) 国際連合大学（国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項の規定によるものをいう。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、京都大学大学院工学研究科において当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者（ⅲ参照）

(7) 京都大学大学院工学研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者（ⅲ参照）

(8) 外国の学校等において、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者であって、本学において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（ⅳ参照）

（注）重国籍者で日本国籍を有する場合は、在留資格「留学」を取得できませんので、ご注意ください。該当者は出願前に工学研究科教務課大学院掛へ問い合わせてください。

ⅱ. 出願資格の確認（出願資格(2)(3)(4) 外国の大学院を修了した者等）

出願資格(2)(3)(4)により出願を希望する者（外国の大学院を修了した者及び修了見込みの者又は外国において修士の学位を取得した者及び取得見込みの者）は、事前に確認のため、必ずアドミッション支援オフィス（Admissions Assistance Office/AAO）で手続きを行ってください。詳しくは、以下のホームページに掲載していますので確認してください。

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/study1/graduate/graduateinfo/ku-aao

その後、履歴書（工学研究科ホームページよりダウンロード）を、2026年12月1日（火）午後5時までに大学院掛（Ⅷ参照）へメールで提出してください。（件名は「出願資格確認」としてください）

ⅲ. 出願資格の審査（出願資格(6)(7)）

出願資格(6)又は(7)により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の書類を大学院掛（Ⅷ参照）へ提出してください。郵送する場合は、封筒の表に「工学研究科博士後期課程出願資格認定申請」と朱書し、必ず「書留」にしてください。

提出期限：2026年12月8日（火）午後5時（必着）

[提出書類] (1)(3)(4)の様式は工学研究科ホームページからダウンロードしてください。

(1) 出願資格認定申請･調書	(出願資格(6)又は(7)該当者)
(2) 成績証明書	(出願資格(6)又は(7)該当者) 最終出身学校が作成し、厳封したものを提出してください。
(3) 業績調書	(出願資格(6)該当者) 専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。
(4) 研究従事内容証明書	(出願資格(6)該当者) 所属機関等が作成し、厳封したものを提出してください。
(5) 資格免許証書等	(出願資格(6)該当者) 専攻分野に関連する各種資格免許証等参考になると思われる書類の写しを提出してください。

1. 出願資格の認定申請をした者には、書類審査の後、修士課程修了程度の学力について、口頭試問を行います。
2. 口頭試問は、2027年1月4日（月）に京都大学大学院工学研究科において行います。
3. 資格審査の結果は、2027年1月5日（火）に申請者あて郵送により通知します。

ⅳ. 出願資格の審査（出願資格(8)）

出願資格(8)により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の書類を大学院掛（Ⅷ参照）へ提出してください。郵送する場合は、封筒の表に「工学研究科博士後期課程出願資格認定申請」と朱書し、必ず「書留」にしてください。

提出期限：2026年12月8日（火）午後5時（必着）

［提出書類］

(1) 出願資格認定申請･調書	様式は工学研究科ホームページからダウンロードしてください。
(2) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査の合格証明書	本紙を提出してください。 博士論文研究基礎力審査に相当する審査（Qualifying Examination）を受けた機関の長による証明書
(3) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査の方法及び合格基準を示す資料	様式自由
(4) 博士前期に相当する課程の成績証明書	本紙を提出してください。
(5) 博士前期に相当する課程の教育内容を示す書類	科目一覧、科目概要等履修した博士前期に相当する課程がわかるもの

1. 出願資格の認定申請をした者には、書類審査を行います。
2. 資格審査の結果は、2027年1月5日（火）に申請者あて郵送により通知します。

v. 社会人特別選抜について

上記Ⅱ－ｉの出願資格を満たし、出願時において、官公庁、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、原則、所属長の推薦を受けた者を対象に特別選抜を行います。

III. 出願要領

博士後期課程入試に出願しようとする者は、入学後の研究内容のマッチングを行うため、出願に先立って指導を希望する教員に事前に連絡し、研究内容について相談する必要があります。これを事前コンタクトといい、原則として出願期間終了までに行います。事前コンタクトにより、「志望する指導教員調書」(Ⅲ-ⅱ-⑦)を取得してください。実施方法の詳細は「専攻別入学試験詳細」を確認してください。

i. 出願手続

出願手続は、下記期間内に「オンラインアプリケーションシステムでの出願登録および入学検定料納入」をすることにより完了します。
オンラインアプリケーションシステムのページには、以下の募集要項を掲載している工学研究科ホームページ URL からアクセスしてください。(出願期間開始前にリンク予定)
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1

(1) 出願後の入学検定料の払い戻しには応じません。
(2) 志望する専攻によっては、独自の書類の提出を課していることがあります。「専攻別入学試験詳細」をよく読んで対応してください。
(3) 複数専攻への出願は認めません。
(4) 障害等があり、受験上あるいは修学上の合理的配慮を必要とする場合は、協議しますのでご相談ください。なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、相談を希望する者は、出願前の早い時期に大学院掛（Ⅷ参照）へ申し出てください。
(5) 社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻、あるいは都市環境工学専攻を志望し、かつ、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考へ出願する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができます。該当者はオンラインアプリケーションシステム上で、4 月期入学と 10 月期入学のいずれかを選択してください。また、融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生大学推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）への推薦を希望する場合には、10 月入学を選択すること。
(6)特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要があります。推薦基準を満たしていない場合、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生として入学できます。推薦希望者は、特別プログラムへの推薦書類についてあらかじめ出願時に提出する必要があります。ただしこれは推薦を保証するものではありません。また、入学試験の合格を保証するものでもありません。
(7) オンラインアプリケーションシステム出願時の登録内容、および出願書類（専攻別提出書類含む）の記載内容に虚偽が判明した場合は、不合格とします。合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。
(8) 入学試験における英語の学力に関する成績証明書（TOEIC Listening & Reading公開テストのスコア等）の取り扱いとして、提出されたスコアシートに虚偽があった場合や、スコアが無効化され

ている場合には、不合格とします。合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。

オンラインアプリケーションシステムでの出願登録および入学検定料納入期間：
2026年12月22日（火）午前9時～　2027年1月13日（水）午後5時

ii. 出願書類

*各専攻において、上記の書類とは別に書類を求める場合があるので、注意してください。詳細は、「専攻別入学試験詳細」を参照してください。

① 写真データ	写真（上半身・脱帽・正面向き・無背景で出願前3 カ月以内に単身で撮影したもの）をアップロードしてください。（ファイル形式：JPEG/JPG。ピクセルサイズ：幅480～6000 ピクセル、高さ480～6000 ピクセル）
② 在留カード（両面）のコピー ※ 外国人留学生のみ	在留カード（両面）をアップロードしてください。出願時に提出できない者は、パスポート（氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページ）をアップロードし、入学時までに必ず在留カード（両面）のコピーを提出してください。
③ 入学検定料 ※京都大学総長が指定する災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除または返還することがあります。対象となる災害及び要件については、京都大学ホームページ（「入学検定料の免除について」http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption）を参照してください。 詳しくは、工学研究科 教務課 大学院掛まで問い合わせてください。	入学検定料　30,000円 以上の料金の他に手数料が必要となります。 最終的な料金はオンラインアプリケーションシステムを確認してください。 オンラインアプリケーションシステムにて次のいずれかを選択し納入期間内にお支払いください。 「クレジットカード」「銀行決済（ペイジー決済）」「コンビニ決済（セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート）」の中から一つを選択できます。 ※ただし、「コンビニ決済」、「銀行決済（ペイジー決済）」は国内のみの利用となります。 ※出願書類受理後の入学検定料の払い戻しには応じません。（左記「総長が指定する災害」による免除対象者 ※入学期の前月に京都大学大学院修士課程を修了見込みの者は検定料不要です。 ※国費留学生については、入学後に検定料を返還します。ただし、検定料支払い時の手数料は返還されません。また、検定料返還時にかかる振込手数料は受験者の負担となります。出願時点で国費留学生であり、かつ、京都大学工学部・工学研究科以外に在籍している者は「国費留学生証明書」を提出してください。出願時点で国費留学生として選考中である者は「第一次選考合格証明書」等を提出してください。なお、現在国費留学生であっても入学時に延長されない場合は、入学検定料は返還されません。
④ 出願承諾書 ※ 外国人留学生のみ	指導予定教員に依頼の上作成されたものをアップロードしてください。 ※本承諾書は指導予定教員が作成します。安全保障輸出管理にかかる確認・審査等には一定の時間を要するため（通常2週間程度、内容によっては数ヶ月程度）、出願者はできる限り余裕を持って指導予定教員に作成を依頼してください。なお、確認・審査等の結果によっては「受入可」の通知を得られず、本出願承諾書の提出に至らない（出願することができない）場合もあります。
⑤ 志望する指導教員調書	工学研究科ホームページから様式をダウンロードして記入し、事前コンタクトの際に志望する指導教員より確認印（署名）を得たものをアップロードしてください。
⑤ 成績証明書	出身大学長または、研究科長が作成したものをアップロードしてください。なお出願時点で修士課程を修了している場合は、修了日以降に発行された成績証明書をアップロードしてください。 ※Ⅱ-ⅰ出願資格(6)(7)(8)該当者及び京都大学大学院工学研究科修士課程在学生・出身者は不要です。 ※京都大学大学院工学研究科研究生は、教務課留学生掛または文部科学省に提出したもののコピーで構いません。
⑦ 修了（見込）証明書および学位取得証明書	出身大学長または、研究科長が作成したものをアップロードしてください。 なお、修了証明書等で学位取得が確認できる場合は学位取得証明書のアップロードは不要です。 ※Ⅱ-ⅰ出願資格(6)(7)(8)該当者及び京都大学大学院工学研究科修士課程在学生・出身者は不要です。 ※京都大学大学院工学研究科研究生は、教務課留学生掛または文部科学省に提出したもののコピーで構いません。 ※再掲：外国の大学院を修了した者及び修了見込みの者又は外国において修士の学位を取得した者及び取得見込みの者は、事前に出願資格の確認が必要です（Ⅱ-ⅱ参照）。

⑧ 修士論文	修士論文をアップロードしてください。 修士課程修了見込みの者は、「研究経過報告書」をアップロードしてください。 研究発表等の資料があればアップロードしてください。 英語、日本語以外の論文は、英語又は日本語の要約をアップロードしてください。 ※Ⅱ－ｉ出願資格(6)(7)(8)該当者及び京都大学大学院工学研究科修士課程在学生・出身者は不要です。

※日本語または英語以外で書かれている証明書を提出する場合は、日本語訳（または英語訳）をアップロードしてください。

◎　社会人特別選抜枠に出願する者は、上記の書類のほかに下記の書類をアップロードしてください。

⑨推薦書	様式は工学研究科ホームページからダウンロードして、所属長又は指導的立場にある者が作成したものをアップロードしてください。
⑩研究実績調書	在職中に行った専攻分野に関連する研究実績を記載したものをアップロードしてください。（様式随意）

Ⅳ. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行います。

ⅰ. 学力検査

(1) 学力検査日　　2027年 2月9日（火）・10日（水）

詳細については、「専攻別入学試験詳細」を参照してください。ただし、融合工学コース人間安全保障工学分野を志望する外国人留学生の試験日程は別途通知します。

(2) 試験当日は、特に指定のない場合は試験開始20分前までに当該試験室前に集合してください。

ⅱ. 受験票

受験票は下記期間に オンラインアプリケーションシステムからダウンロードして印刷し、試験当日提示してください。

受験票ダウンロード期間：2027年2月1日（月）9時～2月10日（水）17時

ⅲ. 口頭試問の発表指導

口頭試問審査では、研究力・理解力・計画実効性等を評価します。

専攻によっては、博士後期課程入試に出願した者に対して、口頭試問審査を適切に行うため、口頭試問時に行う入学後の研究内容、研究計画等に関する発表について、指導予定教員が口頭試問の発表指導を行う場合があります。口頭試問の発表指導を実施する場合は、原則として出願後から試験日の1週間前までに行います。実施方法の詳細は「専攻別入学試験詳細」を確認して下さい。

Ⅴ. 合格者発表

日時：2027年2月19日（金）15時から2027年3月5日（金）17時

オンラインアプリケーションシステムを通じて発表します。(本研究科ホームページには掲載いたしません。)合格者発表については、電話等による問い合わせには一切応じません。

Ⅵ. 入学料及び授業料と入学手続

入学料：282,000円

※国費留学生として入学予定の者及び京都大学大学院修士課程修了見込み者は不要

授業料：半期額　267,900円（年額　535,800円）

※国費留学生として在学中は不要

注：入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

入学手続：

①2027 年度 4 月期入学予定者

1. 入学日は2027年4月1日です。
2. 合格者の入学手続の詳細については、2027年3月上旬に郵送により通知します。
3. 事情により入学を辞退する者は、直ちにその旨を専攻事務室（クラスター事務区教務掛）に届け出てください。
4. 留学生は、2027年4月1日までに留学ビザを取得しておいてください。なお、詳細につきましては、「Ⅶ. 注意事項 (2)安全保障輸出管理について」をご確認ください。
5. 入学手続き期限は2027年3月中旬の予定です。
6. 入学手続き日等の情報は2027年1月下旬に京都大学大学院工学研究科ホームページに掲載予定です。

②2027 年度 10 月期入学予定者

1. 入学日は 2027 年 10 月 1 日です。
2. 合格者の入学手続の詳細については、2027 年 9 月上旬に郵送により通知します。
3. 事情により入学を辞退する者は、直ちにその旨を各専攻事務室（クラスター事務区教務掛）に届け出てください。

4. 留学生は、2027 年 10 月 1 日までに留学ビザを取得しておいてください。なお、詳細につきましては、「Ⅶ. 注意事項 (2)安全保障輸出管理について」をご確認ください。
5. 入学手続き期限は 2027 年 9 月中旬の予定です。

Ⅶ. 注意事項

(1) 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

入学者選抜を通じて取得した氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）関係、②合格者発表関係、③入学手続業務を行うために利用します。

入学者選抜を通じて取得した個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（保健管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、入学者選抜を通じて取得した個人情報を電算処理する場合、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に個人情報を提供することがあります。ただし、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課します。

(2) 安全保障輸出管理について

京都大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「京都大学安全保障輸出管理規則」を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について、学生受入前に厳格な審査を実施している。規制事項に該当する場合や、在留資格認定証明書（COE）不交付もしくは審査長期化の場合、試験に合格しても入学が認められない場合がある。また、入学後であっても、希望する教育や研究指導等に制限が生じる可能性があるので、注意すること。

(3) 長期履修学生制度について

工学研究科では、仕事・出産・育児・介護・身体等の障害などの事情に基づき、標準修業年限の2倍までの間で計画的に教育課程を履修することを認める長期履修学生制度を導入しています。希望者は、詳細を工学研究科ホームページ-入学案内ページで確認のうえ、12月末までに申請してください。

Ⅷ. 共通部分に関しての問合せ先

〒615－8530　京都市西京区京都大学桂
京都大学工学研究科教務課大学院掛
TEL　075-383-2040・2041
FAX　075-383-2038
E-Mail 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

大学院入試に関する情報については、工学研究科及び各専攻のホームページに随時掲載しております。風雪等による入試日程への影響が懸念される場合にも、下記ホームページから実施についての告知を行います。

・工学研究科のホームページ：http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/
・各専攻のホームページ：上記のURLよりアクセスしてください。

IX. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）について

(1) 工学研究科の理念･目的

工学は、真理を探求し、その真理を核として人類の生活に直接・間接に関与する科学技術を創造する役割を担っており、地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っています。京都大学大学院工学研究科は、この認識のもとで、学問の基礎や原理を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性・責任感を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。

(2)　望む学生像

工学研究科博士後期課程では、次のような入学者を求めます。

○工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人。
○専門分野とこれに関連する諸分野において真理を探求するために豊かな基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考と既成概念にとらわれない優れた判断力を有する人。
○科学技術および社会の諸課題について、豊かな知識を総合しその解決に取り組む中で創造的に新しい科学技術の世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。
○他者の意見を理解し、自らの意見や主張をわかりやすく表明できる高いコミュニケーション能力を持った人。

入学者選抜では、個別学力検査を実施し、学修を希望する専門分野の基礎的知識とそれを踏まえた論理的な思考能力に重点をおきつつ、英語の能力も含めて評価・選抜しています。前述の観点に加えて、口頭試問により研究を推進・展開できる能力および論理的に説明できる能力の評価も加えて選抜します。

なお、各評価方法等の詳細については、本募集要項に明記しています。

X.　博士後期課程入学後の教育プログラムについて

京都大学大学院工学研究科では2008年4月入学者から、新たな教育プログラム『大学院博士課程前後期連携教育プログラム』を創設しました。プログラムの詳細及び各融合工学コースの内容については、工学研究科HP（「工学研究科教育プログラム」）をご確認ください。

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69

XI.　博士課程教育リーディングプログラムについて

京都大学では、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへ導くため、2012年度から博士課程教育リーディングプログラムを開始しました。

工学研究科が参画しているプログラム（5年一貫コース）の内容については、工学研究科HP（「博士課程教育リーディングプログラム」）をご確認ください。

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/programs#hakase

XII.　卓越大学院プログラムについて

京都大学では、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5 年一貫の博士課程学位プログラムを構築するため、2019年度から卓越大学院プログラムを開始しました。

プログラムの内容については、工学研究科HP（「卓越大学院プログラム」）をご確認ください。

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/programs#takuetsu

XIII.　スーパーグローバルコースについて

京都大学では、先見性を重視する本学の精神にもとづき、戦略性、創造性、展開性ならびに継続性をもって世界で活躍するグローバル人材を育成するトップ型日本モデルとして、スーパーグローバル大学創成支援「京都大学ジャパンゲートウェイ構想」を2014年度より開始しました。

工学研究科では、この事業に化学理工学専攻が参画しており、その一環として「スーパーグローバルコース」を設置しました。当コースの履修生は、化学理工学専攻の入試合格者から選抜されます。履修を希望する学生は、各専攻の入試において教育プログラムとして、連携プログラム（高度工学コース）化学理工学専攻を選択して下さい。

コースの内容については、工学研究科HP（「スーパーグローバルコース」）をご確認ください。

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/programs#sgu

XIV. 表 博士後期課程入学後の教育プログラムと志望専攻

教育プログラム			対応する志望専攻
連携プログラム	融合工学コース	高等教育院	
		a.応用力学分野	社会基盤工学、機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学、化学理工学
		b.生命・医工融合分野	機械理工学、マイクロエンジニアリング、原子核工学、化学理工学
		c.融合光・電子科学創成分野	機械理工学、マイクロエンジニアリング、電気工学、電気電子デジタル理工学
		d.人間安全保障工学分野	社会基盤工学､都市社会工学､都市環境工学
		e.デザイン学分野	建築学、機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学
	高度工学コース	社会基盤工学専攻	社会基盤工学、都市社会工学
		都市社会工学専攻	
		都市環境工学専攻	都市環境工学
		建築学専攻	建築学
		機械理工学専攻	機械理工学
		マイクロエンジニアリング専攻	マイクロエンジニアリング
		航空宇宙工学専攻	航空宇宙工学
		原子核工学専攻	原子核工学
		材料工学専攻	材料工学
		電気電子デジタル理工学専攻	電気電子デジタル理工学
		化学理工学専攻	化学理工学

※ 本表の「対応する志望専攻」に属する全講座・分野には、必ずしも志望する教育プログラムが開講されているとは限らないので、各専攻の「専攻別入学試験詳細」で確認してください。

※ 融合工学コース「d.人間安全保障工学分野」は、国費外国人留学生大学推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）を設置しています。申請希望者は受け入れ希望教員とあらかじめ相談のうえ、工学研究科ホームページの募集要項掲載ページより「専攻別詳細・専攻別提出書類様式」を確認し、必要書類を指示された期限までにご提出ください。なお、特別プログラムへの推薦には、文部科学省の基準に基づき、一定の英語スコアならびに学業成績が求められます。また、推薦者の75%が重点地域からの学生に割り当てられるため、国籍によって推薦が難しい場合があるのであらかじめご了承ください。

XV. 試験日程一覧（博士後期課程）

詳細については、専攻別入学試験詳細を参照してください。

専　攻	コース	2月9日（火）		2月10日（水）	
		時　間	科　目	時　間	科　目
社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻 （TEL075-383-2967）	一般学力選考	9:00～	口頭試問Ⅰ、II	9:00～	口頭試問I、Ⅱ
	社会人特別選考	13:00～15:00	小論文	9:00～	口頭試問
	論文草稿選考	な　し		9:00～	口頭試問
都市環境工学専攻 （TEL075-383-2967）	一般学力選考、 社会人特別選考および 論文草稿選考	9:00～	口頭試問	9:00～17:00	口頭試問
建築学専攻 （TEL075-383-2967）	一般 （社会人特別選抜を含む）	9:00～	口頭試問（研究経過及び今後の研究計画について）	な　し	
機械理工学専攻 （TEL075-383-3521）	一般 （社会人特別選抜を含む）	13:30～	口頭試問	な　し	
ﾏｲｸﾛｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ専攻 （TEL075-383-3521）	一般 （社会人特別選抜を含む）	13:30～	口頭試問	な　し	
航空宇宙工学専攻 （TEL075-383-3521）	一般 （社会人特別選抜を含む）	9:00～11:00 13:30～	専門科目 口頭試問	な　し	
原子核工学専攻 （TEL075-383-3521）	一般選抜 （外国人留学生を含む）	10:00～	口頭試問	な　し	
	社会人特別選抜	10:00～	口頭試問	な　し	
材料工学専攻 （TEL075-383-3521）	一般 （社会人特別選抜を含む）	な　し		10:00～	口頭試問
電気電子デジタル理工学専攻 （TEL075-383-2077）	一般 社会人特別選抜	13:00～ 16:30～	口頭試問 面接	な　し	
化学理工学専攻 （TEL075-383-2077）	Ｂ区分	13:00～15:30	専門科目	9:00～	口頭試問
	Ａ区分	な　し			

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の試験日程は別途通知します。

Part A: Common Part for All Divisions/Departments

※Translation Disclaimer
Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.

I. Number to Be Accepted

①April 2027 Admission:

Civil and Earth Resources Engineering	7	Urban Management	12	Environmental Engineering	9
Architecture and Architectural Engineering	19	Mechanical Engineering and Science	9	Micro Engineering	A Few
Aeronautics and Astronautics	6	Nuclear Engineering	A Few	Materials Science and Engineering	A Few
Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	14	Chemical Science and Engineering	15		
Total 97					

◎A limited number of carrier-track working students will be accepted in each department.

②October 2027 Admission for International Applicants: A Few for each Department

Civil and Earth Resources Engineering	Urban Management	Environmental Engineering
Chemical Science and Engineering		

Note:

-Those who apply to Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management, or Department of Environmental Engineering under the Special Selection of international student for the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering" can choose their admission time from April 2027 or October 2027. Applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. In addition, applicants who wish to be recommended for MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation) in this Integrated Engineering Course must select October enrollment.

To be recommended for the MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT.

If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a Privately financed international student. Applicants who wish to be recommended must submit recommendation documents for MEXT Scholarship Students in advance when applying for the entrance examination. However, this does not guarantee recommendation or passing the entrance examination. Please note that the examination fee cannot be refunded after the application deadline.

- Those who apply to Division of Chemical Science and Engineering under the Special Selection of international student can choose their admission time from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted.

II. Eligibility and Its Screening

i. Eligibility

Persons who satisfy any of the following eligibility (or will satisfy any of the following eligibility by the end of March 2027 for those who wish April 2027 admission or by the end of September 2027 for those who wish October 2027 admission). In addition, international applicants for October 2027 Admission must have non-Japanese

citizenship and hold the residence status of "College Student" at the time of admission (*refer to Note below),

(1) A person who has received a master's degree from a Japanese university or a professional school, or a doctoral degree in law.
(2) A person who has completed a course in a foreign educational institution equivalent to a Japanese master's program or professional school.* ii
(3) A person who has completed the correspondence courses equivalent to a Japanese master's program or professional school in a foreign-affiliated educational institution in Japan. * ii
(4) A person who has completed a program (limited to the equivalent to the master's program or a professional degree program in the Graduate School of Kyoto University) of a foreign-affiliated educational institution in Japan which is accredited under the school education system of the respective foreign country as offering a graduate program of the foreign university (this includes the school equivalent to Professional and Vocational University in that country) and which is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (hereinafter, referred to as the MEXT). *ii
(5) A person who has received a degree equivalent to a master's degree, through the completion of courses at the United Nations University (a university provided in Paragraph 2, Article 1 of the Act on Special Measures Incidental to the Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University (Act No.72 of 1976)).
(6) A person designated by the MEXT under Notification No. 118, Minister of Education, 1989. At the time of the application, a person who has been engaged in a research for at least 2 years at a university, research institute, or other institution, after graduating from a Japanese university, or completing a 16 years of education in a foreign country or through corresponding courses provided by a foreign educational institution, and is recognized by the individual screening in the Graduate School of Engineering, Kyoto University as having academic abilities equivalent or superior to those of a master's degree holder for the achievement of the research. *iii
(7) A person who has reached the age of 24, and has been recognized by the individual screening in the Graduate School of Engineering, Kyoto University as having academic abilities equivalent or superior to those given in (1) above. *iii
(8) A person who has passed a Qualifying Examination or equivalent assessment at an institution in another country, and is recognized by Kyoto University as having academic abilities on a par with or higher than those of a master's degree holder. *iv

Note: Please note that if you have multiple citizenships and have Japanese citizenship, you cannot obtain the residence status of "College Student". Applicable persons must contact the Graduate Student Section(refer to VIII) before applying to our program.

ⅱ. Eligibility Confirmation (under requirement (2) (3) (4))

A person who has graduated or is expected to graduate from a master's program of foreign university, or a person who has received or is expected to receive a master's degree from a foreign university,
are required to contact the Admissions Assistance Office (AAO) for a preliminary screening. For details, refer to the following website.

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/study1/graduate/graduateinfo/ku-aao

After contacting the AAO, submit the Resume form downloaded from the Graduate School of Engineering website to the Graduate Student Section (refer to VIII) by 5:00 pm, 1 December 2026 by email. The subject of the Email is to be "Eligibility Confirmation".

iii. Eligibility Screening (under requirement (6) (7))

Those who intend to apply under requirement (6) or (7) above are subject to screening prior to Application. The documents below must be submitted to the Graduate Student Section (refer to VIII). When mailing, use registered mail and mark "For eligibility screening for application to Doctoral Program in Graduate School of Engineering" in red on the envelope. The documents must arrive by 5:00 pm, 8 December 2026.

［Documents necessary for eligibility screening］

As for (1)(3)(4), download the designated forms from our website of Graduate School of Engineering.

(1) Eligibility statement	(Applicants under requirement (6) or (7)).
(2) Academic transcript	(Applicants under (6) or (7)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the university at which the applicant has been enrolled.
(3)Statement of accomplishments	(Applicants under requirement (6)) Please briefly describe your objective findings regarding research achievements related to your field of study.
(4) Certificate of research Participation	(Applicants under (6)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the relevant institution.
(5) Qualifications	(Applicants under (6))

	Submit photocopies of documentation related to the field of corresponding department, including official qualifications, licenses and other materials.

1. Applicants are screened by oral examinations after the inspection of submitted documents for evaluating their academic abilities.
2. Oral examinations will be conducted on 4 January 2027 at the Graduate School of Engineering, Kyoto University.
3. The screening results will be mailed on 5 January 2027.

ⅳ. Eligibility Screening (under requirement (8))

Those who intend to apply under requirement (8) above are subject to screening prior to acceptance of their applications. The documents below must be submitted to the Graduate Student Section (refer to VIII). When mailing, use registered mail and mark "For eligibility screening for application to Doctoral Program in Graduate School of Engineering" in red on the envelope. The documents must arrive by 5:00 pm, 8 December 2026.

［Documents necessary for eligibility screening］

(1) Eligibility statement	Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.
(2) Certificate that the applicant has passed the examination	Please submit the original of the document endorsed by the president of the examining institution.
(3) Documents which detail the examination procedure and qualifying criteria of the Qualifying Examination or equivalent assessment.	Any format is acceptable.
(4) Academic transcript of a program equivalent to a master's program which the applicant has completed.	Please submit the original of the document.
(5) The curriculum details of a program equivalent to a master's program which the applicant has completed.	Course list and course outlines

1. Applicants are screened by the inspection of submitted documents.
2. The screening results will be mailed on 5 January 2027.

v. Special Selection of Career-Track Working Applicants

A special selection procedure is available for applicants who satisfy the requirements given in II-i, are employed by a government agency or a company at the time of application, intend to continue the employment after accepted to the Graduate School of Engineering and have been recommended by their superior in principle.

III. Application

Those who wish to apply for the doctoral program must contact the prospective supervisor in advance and discuss their future research content (thereinafter "Prior Contact"). Generally, Prior Contact shall be done by the end of the application period. Applicants shall obtain "Statement of Prospective Supervisor "(III-ii-⑦) though Prior Contact. For details, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Department".

i. Application Procedures

The application procedure will be completed when you register your information and make payment for entrance exam fee on the Kyoto University Online Application System within the designated periods prescribed below.

.

Access the Kyoto University Online Application System at following URL on the Graduate School of Engineering website, where the application guidelines are posted. (The link will be posted before the application period begins.)

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/admissions/graduate/exam1

(1) We do not accept requests for refunds for application fee after submission.
(2) In some divisions/departments, additional documents are required. Read "Details of Entrance Examinations of Each Department" carefully so that you can prepare complete application documents.
(3) Simultaneous applications to multiple departments are not allowed.
(4) Persons with disabilities who need reasonable accommodation are invited to consult with the Graduate School of Engineering when taking the entrance examination and attending courses. Those persons are advised to contact the Graduate Student Section (refer to VIII) well in advance since it may require some time for the university to prepare for appropriate correspondence.
(5) Those who apply to Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management,

or Department of Environmental Engineering under the Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course: "Human Security Engineering" can choose their admission date from April 2027 or October 2027. Such Applicants must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application System.

In addition, applicants who wish to be recommended for MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation) in this Integrated Engineering Course must select October enrollment.

(6)To be recommended for the MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT. If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a Privately financed international student. Applicants who wish to be recommended must submit recommendation documents for MEXT Scholarship Students in advance when applying for the entrance examination. However, this does not guarantee recommendation or passing the entrance examination.

(7) If any false information is found in the details registered in the Kyoto University online application system or stated in the application documents (including department-specific required documents), the application will be rejected. Please note that even after acceptance or enrollment, your status may be revoked.

(8) Regarding the handling of official score certificates for English language proficiency in the entrance examination (such as TOEIC Listening & Reading Official Score Certificates), if the submitted score report is found to be false or has been invalidated, the applicant will be disqualified. Please note that even after acceptance or enrollment, such status or admission may be revoked.

Registration and Payment Period on the Kyoto University Online Application System :
22 December, 2026, Tuesday 9:00 am to 13 January, 2027, Wednesday 5:00 pm

ii. Application Documents

*In some divisions/departments, documents and procedures other than prescribed below may be required. For further information, refer to “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department”.

① **Photo data**	Upload a photograph (upper body, without a hat, facing forward, taken alone, plain background within 3 months prior to application). (File format: JPEG/JPG. Pixel size: 480-6000 pixels wide, 480-6000 pixels high)
② **Both sides of Residence card** ※Applicable only to international students	Upload your residence card (both sides) . Applicants who do not have a residence card at the time of application need to submit a photocopy of his/her passport page (the page containing your name, nationality, photo, and date of birth), then submit a photocopy of both sides of Residence card by the enrollment date.
③ **Entrance exam fee (Payment Certificate for Examination Fee)** ※ For households in regions where the Disaster Relief Act is effective and whose principal wage-earner has been adversely affected by the disasters listed in the website below, an exemption/refund may be made to the payment of Entrance Examination Fees for cases where a *risai shomeisho* (Disaster Victim Certificate) has been issued. For the list of the disasters and requirements of an exemption, refer to http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption For further details, contact the administrative office at the Graduate School of Engineering.	Entrance exam fee: ¥30,000 After paying the Examination fee via the Kyoto University EX Payment System, download the "Payment Certificate for Examination Fee" from the website and print it. Select one of the following options via the online application system and make your payment within the payment period: You can choose one of the following: "Credit Card," "Bank Transfer (Pay-easy)," or "Convenience Store Payment (Seven-Eleven, Lawson, Ministop, FamilyMart, Daily Yamazaki, Seicomart)." *However, "Convenience Store Payment" and "Bank Transfer (Pay-easy)" are only available within Japan. ※Applicants are required to pay a processing fee (650 yen) as well as entrance exam fee. ※Entrance exam fee will not be refunded once your application is accepted, except for the cases given left. ※Those who are expected to complete the master's program at Kyoto University Graduate School in the previous month of the enrollment date do not need an Entrance exam fee. ※We will refund the entrance exam fee to the international students who receive the Japanese Government (*Monbukagakusho*) MEXT Scholarship after enrollment. We do not refund a processing fee. Bank transfer fee will be borne by the applicants when refunding. Those who enroll as MEXT scholarship student in other than Faculty/Graduate School of Engineering, Kyoto University must submit a MEXT Scholarship Student certificate. Those who are applying to MEXT scholarship must submit a Passing Certificate of the First Screening, etc.. We do not refund the entrance exam fee in case current MEXT scholarship students cannot extend their status as MEXT scholarship student after the enrollment.
④ **Application Consent Form** ※Applicable only to international students	Upload the document that was issued after requesting it from your Prospective Supervisor. ※This consent form is to be issued by the Prospective supervisor. The checks and reviews process for Security Export Control requires a certain amount of time (typically around two weeks, but it may take several months or more depending on the content), Applicants should request that their supervisors prepare the necessary documents well in advance. Please note that depending on the result of the check and review process, you may not receive the “Notice of the Acceptance”, in which case you will be unable to submit this form (and thus will be unable to proceed with your application).
⑤ **Statement of Prospective Supervisor**	Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering. Each applicant must contact the prospective supervisor from whom he/she wishes to receive supervision prior to uploading the application documents, and the form must be stamped or signed by the supervisor. The photocopy of stamped/signed form is also acceptable.

※Note: We do not ship overseas, therefore, applicants who reside overseas must arrange how to prepare Japanese standard envelopes and postage stamps, and how to receive the return envelops from us, for example, asking your prospective hosting laboratory or acquaintance in Japan to prepare such materials and to receive them on behalf of you.

⑥ **Academic transcript**	Upload the document created by your university president or dean. If you are no longer enrolled in your master’s program at the time of application, Upload the academic transcripts issued on or after the date of your graduation.

	*Applicants meeting the requirements II-i (6)(7)(8) above, and applicants who have graduated (or expected to graduate) from the Master's Program of the Graduate School of Engineering of Kyoto University do not have to submit this document. *As for research students in the Graduate School of Engineering who have already submitted this document to Foreign Student Section of Educational Affairs Division or MEXT, its photocopy is also acceptable.
⑦ **Certificate of (Expected) Graduation and Certificate of Master's Degree Conferment**	Upload the document created by your university president or the dean of your graduate school. If the Certificate of (Expected) Graduation shows that a master's degree has been conferred, applicants need not upload the Certificate of Master's Degree Conferment. *Applicants meeting the requirements II-i (6)(7)(8) above, and applicants who have graduated (or expect to graduate) from the Master's Program of the Graduate School of Engineering of Kyoto University do not have to submit these documents. *As for research students in the Graduate School of Engineering, Kyoto University who have already submitted this document to Foreign Student Section of Educational Affairs Division or MEXT, its photocopy is also acceptable. *Reminder: A person who has graduated or is expected to graduate from a master's program of foreign university, or a person who has received or is expected to receive a master's degree from a foreign university needs go through an aforementioned Eligibility Confirmation process (refer to II- ⅱ).
⑧ **Master's thesis**	Upload the master's thesis. The applicants who have yet to complete their thesis must upload their "Research Progress Report" instead. Upload the presentation materials if any. If the thesis is not written in English or Japanese, upload a summary in English or Japanese. *Applicants who meet the requirements II-i (6)(7)(8) above, and applicants who have graduated (or are expected to graduate) from the Master's Program of the Graduate School of Engineering, Kyoto University do not have to submit it.

※ If the certificate is not written in English or Japanese, both the original and its English or Japanese translation must be submitted. (A translation by the applicant is acceptable.)

◎ Applicants applying for the special selection of career-track working students should submit the following documents, in addition to those specified above.

⑨ **Recommendations**	Use the designated form. Written by a superior in a supervisory or advisory position.
⑩ **Report of research achievements**	Describe the research achievements in the field of corresponding divisions and/or departments that have been conducted as a part of the professional activities. Any format is acceptable.

IV. Selection Methods

Applicants shall be selected on the basis of the submitted documents and their results of the academic examination.

i. Academic Examination

(1) Dates 9.9-10 February, 2027

*For further information, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department". International applicants wishing to apply for Interdisciplinary Engineering Course, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering will be separately notified of their examination dates.

(2) Unless otherwise indicated, applicant must arrive at the designated room for the entrance examination by 20 minutes before the posted time.

ii. Examination Voucher

Download and print your examination voucher from the online application system during the period specified below, and present it on the day of the examination.

Examination Voucher download period： 1 February, 2027, Monday 9:00am to 10 February, 2027, Wednesday 5:00 pm

iii. Guidance on Presentation for Oral Examination

In the oral examination, research ability, comprehension ability, planning effectiveness, etc. are evaluated.

In some departments, a prospective supervisor will provide the applicants with guidance on the presentation of their future research plans and contents in advance to Oral Examinations, for the purposes of implementing Oral Examinations in an appropriate manner. Such guidance will be provided at least one week before the examination

date in principle. For further information, please refer to the “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department”

V. Announcement of Entrance Examination Results

Date and Time: 15:00, 19 February, 2027 ～ 17:00, 5 March, 2027

The results will be announced through the Kyoto University Online Application System. (This announcement will not be posted on our website of the Graduate School of Engineering.)We will not respond to any inquiries regarding the announcement of successful applicants by telephone or other means.

VI. Admission Fee, Tuition and Admission Procedure

Admission fee: ¥282,000

*International students expected to receive MEXT Scholarship and the students expected to graduate from the master’s program of the Graduate School of Kyoto University are exempt from this fee.

Tuition: ¥267,900 for each semester (annually ¥535,800)

*International students receiving MEXT Scholarship are exempt from this fee.

Notes: The amounts quoted above are tentative and may be revised. If the amounts are amended at the time of admission or while the individual is registered as a student, the new amounts shall apply from the time of the amendment.

Admission Procedure

①For April 2027 Admission

(1) Enrolment Date: April 1, 2027
(2) Instructions on admission procedure will be mailed to each successful applicant in early-March 2027.
(3) Notify the cluster office for each division/department immediately if the successful applicant declines admission.
(4) The successful international applicants must obtain their student visas by 1 April 2027.
For further details, please refer to "VII. Important Notes (2) Security Export Control."
(5) The deadline for admission procedure is scheduled in mid-March 2027.
(6) Information regarding dates for enrollment procedure will be uploaded on the website of the Graduate School of Engineering, Kyoto University in late-January 2027.

②For October 2027 Admission

(1) Enrolment Date: October 1, 2027
(2) Instructions on admission procedure will be mailed to each successful applicant in early-September 2027.
(3) Notify the cluster office for each division/department immediately if the successful applicant declines admission.
(4) Successful international applicants must obtain their student visas by 1 October, 2027.
For further details, please refer to "VII. Important Notes (2) Security Export Control."
(5) The deadline for admission procedure is scheduled in mid-September 2027.

VII. Notes

(1) Handling of Personal Information

Personal information will be handled in accordance with “Act on the Protection of Personal Information” and “The personal information policy at Kyoto University”.

Name, gender, date of birth, address and other personal information provided through application is used for ①entrance examinations (application procedures and screening), ②announcement of successful applicants, ③ admission procedures.

In addition, personal information (including information relating to performance evaluation) of enrolled students provided through application is used for ①students affairs(management of students’ ID, academic supervision, improvement of educational curriculum, etc.), ② offering support to students (securing student health care, career support, application for tuition exemption and scholarship, etc.), ③collecting tuition fees.

Personal information provided through application may be provided to outside contractors for electronic data processing. In such cases, Kyoto University will conclude a contract with said outside contractor to ensure that personal information is managed and protected appropriately, in accordance with the Private Information Protection Law.

(2) Security Export Control

In accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, Kyoto University has established the "Kyoto University Security Export Control Regulations." Under these regulations, we conduct rigorous screening regarding the export of goods and the provision of technology (including the acceptance of personnel) prior to a student's admission. Please be aware that if a case falls under the scope of these regulations or if the issuance of a Certificate of Eligibility (COE) is denied or the screening process is significantly prolonged, admission may not be granted, even if the applicant has passed the entrance examination. Furthermore, please note that even after enrollment, there may be restrictions placed on the specific education, research guidance, or other activities you wish to pursue.

(3) Long-Term Study Program

The Graduate School of Engineering provides the long-term study program that allow students to extend their study period up to twice of the standard study period for completion under certain circumstances/conditions such as work, childbirth, childcare, nursing to other family in special need and disabilities. If you wish to apply please confirm the details in the page of admissions of our website, and apply by the end of December.

VIII. Contact Information for Inquiries Regarding Common Part for All Divisions/Departments

Graduate Student Section, Educational Affairs Division,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Address: Kyoto daigaku-Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto 615-8530, JAPAN
Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041
FAX: +81-75-383-2038
E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Information on the entrance exam is uploaded on the website of the Graduate School of Engineering and each department as needed. For those examinees who will have difficulty in taking the entrance exam due to the inclement weather or emergencies, we will notice on the implementation of examination for Graduate School of Engineering, which will be posted on the following website.

The website of the Graduate School of Engineering: http://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/
The website of each department: Please access from above URL.

IX. Admission Policy

(1) Philosophy and Objectives

The pursuit of the truth is the essence of learning. Engineering is an academic field that impacts the lives of people, and is greatly responsible for the sustainability of social development and the formation of culture. The Graduate School of Engineering at Kyoto University, based on the above premise, is committed to the development of science and technology with an emphasis on disciplinary fundamentals and basic principles

while harmonizing with the natural environment. At the same time, we aim to assist students in their pursuit of a rich education with specialized knowledge, as well as the ability for its creative application, while nurturing high ethical standards and sense of responsibility.

(2) Student Profile

The doctoral program of the Graduate School of Engineering welcomes the following students:

- ○ Individuals who agree to the philosophy and objectives of the Graduate School of Engineering and those who achieve these things actively.
- ○ Individuals who have well-cultivated education to pursue the truth and also have outstanding judgment with logical thinking and beyond established concepts in specialized fields and related fields.
- ○ Individuals who have a strong desire and initiative to pioneer new fields of science technology while integrating well-cultivated knowledge and keeping on solving, regarding the science technology and the social issues.
- ○ Individuals with high communication ability who understands other opinions and also express own opinions and assertions in an easy to understand.

Entrance examination will be performed individual academic exam, evaluate and select the applicants including English ability, with emphasis on the basic knowledge of specialized field and those who have logical thinking abilities.

In addition to the above mentioned points of view, by conducting oral exam, we will select applicants with advance on research and explanation ability logically.

For detail of evaluation methods, it is mentioned in the guidelines.

X. Educational Programs in Doctoral Program

As of April 2008, the Graduate School of Engineering instituted a new Integrated Master's-Doctoral Course Program for students who look beyond the master's to doctoral degree.

For further details, please refer to the following website:
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69

XI. Program for Leading Graduate Schools

This program was started in 2012 in order to develop talented students into future leaders globally active across wide range of sectors in industry, academia and government, with a broad perspective and creativity.

For further details, please refer to the following website:
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/programs#hakase

XII. Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education

Kyoto University's new Doctoral program for World-leading Innovative & Smart Education was launched in 2019 in order to create new 5-year doctoral programs that bring together world-class educational and research capabilities while incorporating with other universities, research institutes, and private companies in Japan and/or abroad through systematic collaboration.

For further details, please refer to the following website:
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/programs#takuetsu

XIII. Top Global Course

The Japan Gateway: Kyoto University Top Global Program was launched in 2014 as a "Top Type" model university in Japan to foster global talent that will take active roles around the world with strategic vision, creativity, ability to develop ideas, and continuity.

Currently the Department of Chemical Science and Engineering from the Graduate School of Engineering participate in this program and have established "Top Global Course" in 2015. The members are selected from the students who pass the entrance examination of one of the Department of Chemical Science and Engineering. The selected students will belong to the Department of Chemical Science and Engineering in the Advanced Engineering Course.

For further details, please refer to the following website:
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/programs#sgu

XIV. Table: Educational Program and Department

Educational Program			Department
Integrated Master's-Doctoral Course Program	Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Education Center	
		a Postgraduate Integrated Course Program of Applied Mechanics	Civil and Earth Resources Engineering Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Aeronautics and Astronautics, Nuclear Engineering, Chemical Science and Engineering
		b Postgraduate Integrated Course Program of Engineering for Life Science and Medicine	Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Aeronautics and Astronautics, Nuclear Engineering, Chemical Science and Engineering
		c Postgraduate Integrated Course Program of Interdisciplinary Photonics and Electronics Science	Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
		d Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering	Civil and Earth Resources Engineering, Urban Management, Environmental Engineering
		e Postgraduate Integrated Course Program of Design Science	Architecture and Architectural Engineering, Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Aeronautics and Astronautics
	Advanced Engineering Course	Department of Civil and Earth Resources Engineering	Civil and Earth Resources Engineering, Urban Management
		Department of Urban Management	
		Department of Environmental Engineering	Environmental Engineering
		Department of Architecture and Architectural Engineering	Architecture and Architectural Engineering
		Department of Mechanical Engineering and Science	Mechanical Engineering and Science
		Department of Micro Engineering	Micro Engineering
		Department of Aeronautics and Astronautics	Aeronautics and Astronautics
		Department of Nuclear Engineering	Nuclear Engineering
		Department of Materials Science and Engineering	Materials Science and Engineering
		Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
		Department of Chemical Science and Engineering	Chemical Science and Engineering

※ Each research laboratory at each department does not necessarily provide all educational programs listed on the table above. For detailed information, please refer to “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department” to check whether your preferred educational program is available at each laboratory.

※ The Interdisciplinary Engineering Course "d. Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering" offers a Special Program for University Recommendation for MEXT Scholarship.
Applicants should consult in advance with their prospective supervisor, check the "Each Division / Department Part : Details and Designated Form" on the application guidelines page on the Graduate School of Engineering website, and submit the required documents by the indicated deadline.
To be recommended for the MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT.
Please note that 75% of the nominations will be allocated to applicants from priority regions, so it may be difficult to recommend an applicant depending on their nationality.

XV. List of Examination Schedule (Doctoral Program)

For further information, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department".

Department	Course	February 9 (Tue)		February 10 (Wed)	
		Time	Subject	Time	subject
Department of Civil and Earth Resources Engineering Department of Urban Management	General Academic Selection	9:00～	Oral Exam I, II	9:00～	Oral Exam I, II
	Special Selection of Career-Track Working Students	13:00 ～ 15:00	Essay	9:00～	Oral Exam
	Selection on the Basis of Thesis Draft	—		9:00～	Oral Exam
Department of Environmental Engineering	General Academic Selection, Special Selection of Career-Track Working Students and Selection on the Basis of Thesis Draft	9:00～	Oral Exam	9:00～17:00	Oral Exam
Department of Architecture and Architectural Engineering	(Including Special Selection of Career-Track Working Students)	9:00～	Oral Exam	—	
Department of Mechanical Engineering and Science	(Including Special Selection of Career-Track Working Students)	13:30～	Oral Exam	—	
Department of Micro Engineering	(Including Special Selection of Career-Track Working Students)	13:30～	Oral Exam	—	
Department of Aeronautics and Astronautics	(Including Special Selection of Career-Track Working Students)	9:00～11:00 13:30～	Specialized Subjects Oral Exam	—	
Department of Nuclear Engineering	General Selection (Including Foreign Students)	10:00～	Oral Exam	—	
	Special Selection of Career-Track Working Students	10:00～	Oral Exam		
Department of Materials Science and Engineering	(Including Special Selection of Career-Track Working Students)	—		10:00～	Oral Exam
Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	(Including Special Selection of Career-Track Working Students)	13:00～ 16:30～	Oral Exam Interview	—	
Department of Chemical Science and Engineering (TEL 075-383-2077)	Examination category B	13:00～ 15:30	Specialized subject	9:00～	Oral Exam
	Examination category A	—			

※ Applicants to Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering will be separately notified of their examination dates.

Part B: 専攻別入学試験詳細

Details of Entrance Examinations of Each Division/Department

- 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻） ····· 27
  Division of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management
  (Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management)
- 都市環境工学専攻　Department of Environmental Engineering ····· 47
- 建築学専攻　Department of Architecture and Architectural Engineering ····· 59
- 機械理工学専攻　Department of Mechanical Engineering and Science ····· 64
- マイクロエンジニアリング専攻　Department of Micro Engineering ····· 74
- 航空宇宙工学専攻　Department of Aeronautics and Astronautics ····· 84
- 原子核工学専攻　Department of Nuclear Engineering ····· 92
- 材料工学専攻　Department of Materials Science and Engineering ····· 96
- 電気電子デジタル理工学専攻 ····· 104
  Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
- 化学化学理工学専攻　Department of Chemical Science and Engineering ····· 121

※専攻・系によっては、出願書類以外にこの「専攻別入学試験詳細」により提出書類を指示している場合があるので、注意してください。なお、「専攻別入学試験詳細」で指示された提出書類については、出願書類とは別に、志望する専攻の事務室（クラスター事務区教務掛）に直接提出してください。

※Depending on Divisions/Departments, applicants are requested to submit other documents besides application documents above. For details, please refer to page onward. Please be noted that other documents required by each division/department must be submitted to the cluster office in each division/department.

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

Ⅰ．専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、受験する選考方法および研究計画等について相談した上で、オンラインアプリケーションシステムの志望情報入力画面で第 1 志望の志望区分を選択すること。なお、各志望区分の教員の連絡先については、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系　入試担当）に問い合わせること。

(1) 社会基盤工学専攻

志望区分	研　究　内　容（**担当教員**）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム	
		連携プログラム（融合工学コース）	連携プログラム（高度工学コース）
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（**西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授**）	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます。
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、設計法・シナリオデザイン（**山本貴士教授・高谷哲准教授**）		
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価、鋼構造物の維持管理と耐久性向上（**北根安雄教授**）	応用力学分野、人間安全保障工学分野	
4	橋梁工学：構造物の空気力学、空力不安定現象、流体関連振動、耐風安定化対策、耐風設計法、着雪、耐雪設計法、飛来塩分の輸送・付着機構、風災害の防止と安全性評価（**八木知己教授・松宮央登准教授**）		
5	構造ダイナミクス：構造物の動的応答と制御（免震・制振）、耐震設計法、構造デザイン、構造物の更新技術（**高橋良和教授**）		
6	水理環境ダイナミクス：移動床水理学、混相流の力学、群集挙動の力学、開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、破堤の水理（**原田英治教授・音田慎一郎准教授**）	人間安全保障工学分野	
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（**市川温教授・金善玟准教授**）		
8	地盤力学：地盤や岩盤の静的・動的挙動の解明、計算地盤力学、土と流体の相互作用、土と建設機械の相互作用，岩盤斜面の安定性評価、歴史的地盤構造物の保全（**肥後陽介教授・橋本涼太准教授・Zhu, Fan 准教授**）		
9	社会基盤創造工学：車両–橋梁連成系の構造動力学，橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスモニタリング、移動橋梁点検，スマートセンシングシステム，走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（**金哲佑教授・張凱淳准教授**）		
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市空間の 3 次元データの生成と時空間解析（**須崎純一教授**）		
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチュア、風土・景域環境、地域計画、都市形成史（**川﨑雅史教授・山口敬太准教授**）		
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のミクロモデル（**後藤仁志教授・五十里洋行准教授**）		
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（**福山英一教授・武川順一准教授**）		

志望区分	研　究　内　容 （**担当教員**）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム 連携プログラム（融合工学コース）	対応する教育プログラム 連携プログラム（高度工学コース）
14	地殻開発工学：二酸化炭素地中貯留、放射性廃棄物処分、エネルギー資源開発等の岩盤工学プロジェクトへの貢献を目的とした岩石の力学・水理特性の研究（**奈良禎太准教授・保田尚俊准教授**）	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます。
15	流体資源エネルギー学：石油、天然ガス、天然水素、地熱などのエネルギー資源および鉱物資源の環境調和型開発技術、CCS、CCUS、水素の地下貯蔵などのカーボンニュートラルに貢献する技術（**村田澄彦教授**）		
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明（**中谷加奈教授・山野井一輝准教授・高山翔揮准教授**）		
17	防災水工学：洪水流と河床変動の 3 次元構造、土砂生産と洪水への影響予測、土砂移動現象の観測と実験、河川堤防決壊のメカニズム、都市の内外水氾濫の水理、河川環境保全（**川池健司教授**）		
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明（**渦岡良介教授・上田恭平准教授**）		
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程（**山口弘誠教授**）		
20	海岸防災工学：極端な高潮・高波・津波のモデリング、ハザード・リスク評価および観測、気候変動による沿岸部への影響評価と適応策、巨大津波リスクの長期評価（**森信人教授・馬場康之准教授・志村智也准教授**）		
21	防災技術政策：リアルタイム洪水予測、地球温暖化・土地利用変化が及ぼす流域水循環への影響評価、降雨流出・洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定（**佐山敬洋教授・田中智大准教授・Lahournat, Florence 講師**）		
22	水際地盤学：河海の水災害メカニズム、水際域の土砂動態、河川・沿岸環境の保全技術、水理流体力学、先進実験水理学（**山上路生教授**）		
23	計算科学：地盤の変形・破壊のシミュレーション、土壌汚染・浄化のシミュレーション、地盤と構造物の相互作用、大規模・高速科学技術計算、AI・機械学習を用いた計測技術の開発、解析検証のための各種試験（**菊本統教授**）		

(2) **都市社会工学専攻**

志望区分	研　究　内　容 （**担当教員**）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム 連携プログラム（融合工学コース）	対応する教育プログラム 連携プログラム（高度工学コース）
26	構造物マネジメント工学：構造物の劣化メカニズム、状態診断と機能回復、高性能材料・低環境負荷材料の物性値及び部材の耐荷性能と耐久性能 **※今年度，本区分は募集無し**	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます.
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学（**古川愛子教授**）		
28	河川流域マネジメント工学：流域水動態の理解と予測、水災害リスク管理、土地利用と住まい方を含めた河川流域マネジメント（**市川温教授**）		
29	土木施工システム工学：地下空間の開発・利活用および防災知能システム、不連続性岩盤における力学・水理・熱・化学連成問題、地盤と構造物の動的・静的相互作用、UAV・ロボティクス・大規模言語モデル（LLMs）を活用したインフラ分野への AI 応用（**岸田潔教授・澤村康生准教授・Zhang, Yuxin 准教授**）		

志望区分	研　究　内　容 （担当教員）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム 連携プログラム（融合工学コース）	対応する教育プログラム 連携プログラム（高度工学コース）
30	ジオフロントシステム工学：岩盤を対象とした熱・水理・力学・化学連成現象のモデル化、バイオグラウト開発、斜面防災モニタリング・センシング、海底地すべり－津波励起メカニズム、海底地盤工学（**安原英明教授・岩井裕正准教授**）	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます。
31	地球資源システム：深部掘削における原位置応力状態の解明とその計測技術、高温高圧条件下における岩石の物理的性質の評価、石油・天然ガスの掘削坑壁安定性、地熱システムの数理モデリング、地表変動を用いた地下のモニタリング（**林為人教授・石塚師也講師**）		
32	計画マネジメント論：社会資本政策、民営化や公共調達制度などのインフラ産業論、リスク・ガバナンス、プロジェクト・マネジメント、災害レジリエンス政策、ソーシャル・キャピタル（**大西正光教授・中尾聡史**）		
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論、都市交通計画（**宇野伸宏教授・松中亮治准教授**）		
34	都市基盤システム工学：国土計画，都市論，都市再生・保全，都市強靭化，地理空間情報やデジタル都市基盤の利活用，都市解析・調査分析論（**大庭哲治教授**）		
35	交通情報工学：交通・物流システムの最適化、ビッグデータを利用した交通マネジメント、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ（**山田忠史教授・Qureshi, Ali Gul 准教授**）		
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、公共政策のための計量経済学、実践的社会科学研究、公共交通とシェアードモビリティシステム、クラウドソースデータを用いた交通・観光需要モデリング（**藤井聡教授・Schmöcker, Jan-Dirk 准教授・川端祐一郎准教授**）		
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数理地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術（**小池克明教授・柏谷公希准教授**）		
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造（**後藤浩之教授**）		
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価（**田中賢治教授・萬和明准教授**）		
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減（**堀智晴教授**）		
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、住民参加型地域防災、災害リスクコミュニケーション（**松田曜子准教授**）		
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理（瀧健太郎教授・Kantoush, Sameh Ahmed **教授・小林草平准教授**）		
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災（**五十嵐晃教授・米山望准教授**）		

Ⅱ. 募集人員

2027 年度 4 月期入学：
社会基盤工学専攻　7 名
都市社会工学専攻　12 名
2027 年度 10 月期入学：
社会基盤工学専攻　若干名
都市社会工学専攻　若干名

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考へ出願する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができる。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。該当者はオンラインアプリケーションシステム上で、4 月期入学と 10 月期入学のいずれかを選択すること。また、融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）への推薦を希望する場合には、10 月入学を選択すること。

特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要がある。推薦基準を満たしていない場合、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生等として入学できる。推薦希望者は、特別プログラムへの推薦書類を出願時に提出する必要がある。ただし、推薦書類の受理は推薦を保証するものではなく、入学試験の合格を保証するものでもない。また、出願締切後の入学検定料払い戻しはできない。

Ⅲ. 出願資格

(1) 一般学力選考
- 本募集要項の Part A: Ⅱから始まる各専攻に共通の要項（以下「募集要項」と略す）「Ⅱ－i　出願資格」に定められた出願資格を有する者。

(2) 社会人特別選考
- 募集要項「Ⅱ－i　出願資格」および「Ⅱ－v　社会人特別選抜について」に定められた出願資格を有する者。

(3) 論文草稿選考
- 大学院の修士課程を修了した者、あるいは募集要項「Ⅱ－i 出願資格（6)」に該当する者を対象とする、博士学位論文草稿及び研究業績の審査による選考試験。社会人も対象とする。博士学位論文草稿は、研究がある程度完成しており 1 年程度で学位論文が提出可能なものとする。

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考
- 募集要項「Ⅱ－i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望する者。

【注 1】連携プログラム（高度工学コース、融合工学コース）の 5 年型在学生を対象とした学力審査の詳細については別途指示する。

【注 2】融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者のうち 10 月期入学希望者を対象として、国費外国人留学生大学推薦特別プログラムを設置している。推薦希望者は受け入れ希望教員とあらかじめ相談のうえ、工学研究科ホームページの募集要項掲載ページより「専攻別詳細・専攻別提出書類様式」を確認し、必要書類を指示された期限までに提出すること。なお、国費外国人留学生制度（大学推薦）への推薦には、文部科学省の基準に基づき、一定の英語スコアならびに学業成績が求められる。また、推薦者の 75%が重点地域からの学生に割り当てられるため、国籍によって推薦が難しい場合がある。

Ⅳ. 学力検査日程

選考方法により下記のとおり実施する。口頭試問の詳細な試験日時および試験室については別途通知する。

(1) 一般学力選考

月日	時間　試験科目	試験室
2 月 9 日（火）	9:00～　口頭試問Ⅰ、Ⅱ	桂 C1 棟 171 号室（1 階）など
2 月 10 日（水）	9:00～　口頭試問Ⅰ、Ⅱ	桂 C1 棟 171 号室（1 階）など

(2) 社会人特別選考

月日	時間　試験科目	試験室
2 月 9 日（火）	13:00～15:00　小論文	桂 C1 棟 117 号室（1 階）
2 月 10 日（水）	9:00～　口頭試問	桂 C1 棟 171 号室（1 階）など

(3) 論文草稿選考

月日	時間 試験科目	試験室
2 月 10 日（水）	9:00～　口頭試問	桂 C1 棟 171 号室（1 階）など

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問の試験日時および試験室については別途通知する。

〇学力検査に関する注意事項

- 試験開始時刻 15 分前までに指定された場所に集合すること。
- 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- 小論文の試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。なお、必要に応じて試験時間内に全員に電卓を貸与することがある。
- 口頭試問における口頭発表では、コンピュータと接続可能な液晶プロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。ただし、プレゼンテーション目的以外の電子機器の使用は一切認めない。
- 口頭試問のスケジュールを変更する場合、該当者に事前に通知する。

Ⅴ. 入学試験詳細

(1) 一般学力選考

英語、口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱにより合否を判定する。

(a) 英語（200 点/1000 点）: TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。英語を母国語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母国語とする旨の宣誓書」（様式－D4）を提出してもよい。「英語を母国語とする旨の宣誓書」が提出された場合、口頭試問Ⅱにおいて英語力の判

定を行う。

(b) 口頭試問Ⅰ（400 点/1000 点）

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について 30 分程度の口頭試問を行う。

(c) 口頭試問Ⅱ（400 点/1000 点）

修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(2) 社会人特別選考

小論文と口頭試問により合否を判定する。

(a) 小論文（500 点/1000 点）

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について問う。

(b) 口頭試問（500 点/1000 点）

これまでの研究内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(3) 論文草稿選考

博士学位論文の草稿の審査と口頭試問により合否を判定する。

(a) 草稿審査

2 名の審査委員が選考試験実施日までに博士学位論文の草稿の審査を行う。

(b) 口頭試問（1000 点）

博士学位論文の草稿、研究経過およびこれまでの研究業績に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱにより合否を判定する。

(a) 口頭試問Ⅰ（500 点/1000 点）

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について 30 分程度の口頭試問を行う。

(b) 口頭試問Ⅱ（500 点/1000 点）

修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(5) 社会基盤工学専攻または都市社会工学専攻修了見込み者の試験科目免除について

社会基盤工学専攻または都市社会工学専攻を修了見込みの者の内、成績が優秀な者は口頭試問Ⅰを免除する。

連携プログラム（高度工学コース、融合工学コース）の 5 年コース在学の者は、英語と口頭試問Ⅰを免除する。

(6) 有資格者及び合格者決定法

(a) 一般学力選考
口頭試問Ⅰが 240 点以上、かつ口頭試問Ⅱが 240 点以上、かつ総得点が 600 点以上の者を有資格者とする。
(b) 社会人特別選考
小論文が 300 点以上で、かつ口頭試問が 300 点以上の者を有資格者とする。
(c) 論文草稿選考
草稿審査に合格し、かつ口頭試問が 800 点以上の者を有資格者とする。
(d) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考
口頭試問Ⅰが 300 点以上で、かつ口頭試問Ⅱが 300 点以上の者を有資格者とする。
(e) 有資格者の中から合格者を決定する。

Ⅵ. 出願要領

(1) 別途提出書類について

(1-1)論文草稿選考以外の受験者

全ての受験生（論文草稿選考の受験者を除く）は、工学研究科に提出する出願書類以外に、下記の書類を郵送（書留便）または窓口で提出すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

(a) 書類提出期限
2027 年 1 月 14 日（木）午後 5 時（必着）

(b) 提出先
〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
（社会基盤・都市社会系　入試担当）　TEL：075-383-2967

(c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）
○ 希望選考届・別途提出書類届（様式－D1）
○ 日本語あるいは英語で記述した研究経過・計画書 1 部（A4 紙 10 頁以内。様式－D2 に必要事項を記入し表紙とすること。希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）
○ 一般学力選考受験者は、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書（TOEFL の場合、紙媒体の成績証明書は必要なく、電子的送付のみ）。あるいは、英語を母国語とする旨の宣誓書（様式－D4）。何らかの理由で、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、「入試別途書類（博士・英語）」と朱書した封筒で、2027 年 1 月 26 日（火）午後 4 時必着で、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系　入試担当）に提出しなければならない。郵送の場合は書留便とすること。
○ 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－D5）（希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）
○ 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者のうち、10 月期入学希望で、国費外国人留学生大学推薦特別プログラムへの推薦を希望する者は、推薦に必要な書類（工学研究科ホームページで案内する）を提出すること。

○英語の学力評価について

・ TOEIC、IELTS、TOEFL の成績により英語の学力を評価する（ただし、2025 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る）。下記の指定されたいずれかの提出物を、期日までに提出または郵送（書留便）すること。2027 年 1 月 26 日（火）午後 4 時以後は受け付けないので注意されたい。

＜TOEIC＞

・公式認定証（Official Score Certificate）の原本のほかにデジタル公式認定証（Digital Official Score

Certificate）を印刷したものも認める。ただし、いずれの場合も紙媒体として提出すること。TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。・なお、国費外国人留学生大学推薦特別プログラムでは、Listening & Reading だけでなく Speaking & Writing テストのスコアの提出も求められる。必ず工学研究科ホームページで案内されている文科省のサイトからダウンロードできる書類を参照すること。

＜IELTS＞

・追加成績証明書（紙媒体）が期日までに社会基盤・都市社会系 入試担当に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。IELTS（Academic Module）のみ受け付ける。Paper-based IELTS と Computer-delivered IELTS のいずれも認めるが、IELTS Online のスコアは認められないので留意すること。

＜TOEFL＞

・Institutional Score Report が期日までに社会基盤・都市社会系に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。送付依頼手続きに必要な、社会基盤・都市社会系の Institution Code（DI コード）は「C092」である。また、Institutional Score Report の社会基盤・都市社会系への到着に関する問い合わせには回答しない。

・TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ受け付ける。TOEFL iBT Paper Edition および TOEFL iBT Home Edition のスコアは認められないので留意すること。また、TOEFL-iBT テストの MyBest スコアも認めない。TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。

(1-2) 論文草稿選考の受験者

論文草稿選考試験を受験する者は、下記の書類を提出すること。

(a) 書類提出期限：Ⅵ．(1-1) と同じ。

(b) 提出先：Ⅵ．(1-1) と同じ。

(c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

○ 博士学位論文草稿審査願（様式－D3）
○ 博士学位論文の草稿 2 冊
○ 研究歴書 1 通
○ 研究業績リスト 1 通
○ 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－D5）

(2) 事前コンタクトについて

事前コンタクトにおいては、希望指導教員が志願者の希望する学習・研究内容と、希望指導教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と希望指導教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

(3) 口頭試問の発表指導について

志願者が口頭試問の発表指導を希望指導教員から受けることを妨げない。発表指導においては、口頭試問において志願者が説明しようとしている研究計画が、事前コンタクトで確認した内容と一致するように指導する。

Ⅶ．入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には 2 種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。なお、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考により合格した場合には、選択できる

プログラムは、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）「人間安全保障工学分野」に限られる。

○ 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
応用力学分野、人間安全保障工学分野

○ 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻

なお、10 月期入学を希望する者が入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは,「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野」に限られる。

Ⅷ．教育プログラムの内容について

【融合工学コース】

募集要項「Ｘ．**博士後期課程入学後の教育プログラムについて**」を参照すること。

【高度工学コース】

○社会基盤工学専攻

新たな産業と文明を開き、環境と調和して、安心・安全で活力ある持続可能な社会を創造するためには、人類が活動する領域とその中にある社会基盤構築物を対象とした技術革新が欠かせません。社会基盤工学専攻では、最先端技術の開発、安全・安心で環境と調和した潤いのある社会基盤整備の実現、地下資源の持続的な利用に重点を置き、社会基盤整備を支援する科学技術の発展に貢献します。

そのために、地球規模の環境問題とエネルギー問題を深く理解し、国際的かつ多角的な視野から新たな技術を開拓する工学基礎力、さらに実社会の問題を解決する応用力を有する人材を育成します。すなわち、１）工学基礎に基づく最先端科学技術の高度化、２）自然災害のメカニズム解明と減災技術の高度化、３）社会インフラの統合的計画・設計技術とマネジメント技術の高度化、４）発展的持続性社会における地下資源エネルギーの利用、５）低炭素社会実現に向けた諸問題解決に対し､高度かつ先端的な基盤研究､実社会の諸課題に即応する応用技術研究を通して、深い工学基礎力を有する国際的な研究者・技術者を育成します。

○都市社会工学専攻

高度な生活の質を保証し、持続可能で国際競争力のある都市システムを実現するためには、都市システムの総合的なマネジメントが欠かせません。都市社会工学専攻では、地球・地域の環境保全を制約条件として、マネジメント技術、高度情報技術、社会基盤技術、エネルギー基盤技術などの工学技術を統合しながら、社会科学、人文科学の分野を包含する学際的な視点から、都市システムの総合的マネジメントの方法論と技術体系の構築を目指します。

そのために、社会科学、人文科学の分野を含む総合的かつ高度な素養を身につけた、高い問題解決能力を有する人材を育成します。すなわち、１）都市情報通信技術の革新による社会基盤の高度化、２）高度情報社会における災害リスクのマネジメント、３）都市基盤の効率的で総合的なマネジメント、４）国際化時代に対応した社会基盤整備、５）有限エネルギー資源論に立脚した都市マネジメントに対し、実践的かつ学際的な研究を通して、都市システムの総合的マネジメント能力を身につけた、国際的リーダーとなる研究者・技術者を育成します。

Ⅸ．その他

○社会情勢の変化への対応について

社会情勢の変化に関連して、募集要項公表後に入試に関する変更が生じる可能性がある。変更する場合には工学研究科および専攻のウェブサイトに掲載するので、定期的に最新の情報を確認す

ること。

〇問い合わせ先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
（社会基盤・都市社会系　入試担当）　TEL：075-383-2967

参考 URL：

・社会基盤工学専攻：https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/
・都市社会工学専攻：https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management

(Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management)

Entrance examinations for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and Department of Urban Management will be jointly conducted, and applicants can select the preferred department and professors from either department.

I. Study Areas

Applicants can refer to the list of study areas below, choose an area for special study during their doctoral research and indicate the first choice on the screen of Kyoto University Online Application. Prior to application, applicants should have contacted the preferred supervisor to discuss the research plan, and select the first choice of study area.

(1) Department of Civil and Earth Resources Engineering

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs	
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
1	Applied Mechanics: Particle-based computational fluid dynamics, fluid-structure interaction, turbulence modeling, mechanical stabilization of undersea tunnels, development and application of the rigid plastic finite element method (Assoc. Prof. Abbas Khayyer, Assoc. Prof. Jun Saito)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
2	Structural Materials Engineering: Properties of structural materials including concrete, durability, maintenance, scenario design of civil infrastructures including concrete structures (Prof. Takashi Yamamoto, Assoc. Prof. Satoshi Takaya)		
3	Structural Mechanics: Structural behavior of steel/composite structures and their rational design, nondestructive evaluation of residual performance of structures, maintenance and durability improvement of steel structures (Prof. Yasuo Kitane)	Applied Mechanics, Human Security Engineering	
4	Bridge Engineering: Bridge aerodynamics, wind-induced instabilities, flow-induced vibrations, aerodynamic countermeasures, wind resistant design, snow accretion, snow resistant design, transportation and adhesion of airborne salt particles, wind-induced disasters (Prof. Tomomi Yagi, Assoc. Prof. Hisato Matsumiya)		
5	Structural Dynamics: Dynamic response of structures and their control, base isolation, seismic resistant design, structural design, metabolism of structure (Prof. Yoshikazu Takahashi)		
6	Environmental Hydrodynamics: Sediment transport, multiphase flow dynamics, crowd dynamics, fundamental theory of open channel flows, river bed deformation and river channel processes, hydraulics on dike breaching (Prof. Eiji Harada, Assoc. Prof. Shinichiro Onda)	Human Security Engineering	
7	Hydrology and Water Resources Research: The hydrologic cycle, hydrologic prediction, real-time hydrologic forecasting, hydrologic design, water resources management (Prof. Yutaka Ichikawa, Assoc. Prof. Sunmin Kim)		
8	Geomechanics: Investigation of static and dynamic behaviors of geomaterials, computational geomechanics, soil-fluid interaction, soil-construction machinery interaction, stability evaluation of rock slopes, conservation of historic earth structures (Prof. Yosuke Higo, Assoc. Prof. Ryota Hashimoto, Assoc. Prof. Fan Zhu)		
9	Infrastructure Innovation Engineering: Structural dynamics on vehicle-bridge interaction, environmental vibrations caused by bridge vibrations, bridge health monitoring, drive-by bridge inspection, smart sensing system, seismic performance of viaduct under traffic (Prof. Chul-Woo Kim, Assoc. Prof. Kai-Chun Chang)		
10	Geoinformatics: Remote sensing, geographic information systems, digital photogrammetry, generation of 3D data in urban areas and spatial-temporal analysis (Prof. Junichi Susaki)		

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs	
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
11	Urban and Landscape Design: Landscape design, urban design, architecture of infrastructure and environment, cultural climate and environment, regional planning, urban history (Prof. Masashi Kawasaki, Assoc. Prof. Keita Yamaguchi)		
12	Urban Coast Design: Design and planning of urban coastal structures, particle method, computational wave dynamics, computational fluid dynamics, computational mechanics of sediment transport, computational mechanics for multiphase flow, crowd and multi-agent simulation in urban areas (Prof. Hitoshi Gotoh, Assoc. Prof. Hiroyuki Ikari)		
13	Geophysics: Geophysical exploration of shallow to deep crustal structures, geophysical modeling of geological phenomena that influence human activities, visualization of subsurface geophysical properties (Prof. Eiichi Fukuyama, Assoc. Prof. Junichi Takekawa)		
14	Earth Crust Engineering: Mechanical property and fluid flow in rock to contribute to various rock engineering projects such as carbon capture & storage (CCS), radioactive waste disposal, and development of energy and mineral resources (Assoc. Prof. Yoshitaka Nara, Assoc. Prof. Naotoshi Yasuda)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
15	Fluid Resources and Energy Science: Environmentally friendly development technologies for energy resources such as oil, natural gas, natural hydrogen, and geothermal energy, as well as mineral resources. Technologies contributing to carbon neutrality, such as CCS, CCUS, and underground hydrogen storage (Prof. Sumihiko Murata)		
16	Sediment Control Engineering: Controlling sediment in mountain-river-coast systems, prediction and monitoring of sediment dynamic states in mountainous areas, developing methods to decrease damage from sedimentation disasters, evaluating the impact of sediment transport on the ecosystem (Prof. Kana Nakatani, Assoc. Prof. Kazuki Yamanoi, Assoc. Prof. Shoki Takayama)		
17	Hydroscience and Hydraulic Engineering: Three dimensional structure of flood flow and bed form, prediction of sediment yield and its influence on flood, observations and experiments on sediment transport phenomena, mechanism of river dyke breach, simulation of urban inundation and stormwater drainage, interdisciplinary hydraulics-ecology and hydrodynamics (Prof. Kenji Kawaike)		
18	Geotechnics for Hazard Mitigation: Damage estimation of geotechnical structures after large earthquakes, combined geo-disaster induced by rainfall and earthquake, behavior of geotechnical structures made of composite materials (Prof. Ryosuke Uzuoka, Assoc. Prof. Kyohei Ueda)		
19	Hydrometeorological Disasters Engineering: Global climate change impact assessment on precipitation field, precipitation forecasting, radar hydrology, remote sensing by spaceborne precipitation radar, analysis and forecast of water and heat circulation in urban area, formation process of river basin (Prof. Kosei Yamaguchi)		
20	Coastal Disaster Engineering: Modeling, hazard and risk assessment, and observation of extreme storm surges, storm waves and tsunamis, Climate change impacts and adaptation on coastal hazards, Interaction between atmospheric, ocean and waves (Prof. Nobuhito Mori, Assoc. Prof. Yasuyuki Baba, Assoc. Prof. Tomoya Shimura)		
21	Innovative Disaster Prevention Technology and Policy Research: Realtime Flood Prediction, Impact assessment of climate and land use changes on hydrologic cycle, rainfall-runoff and flood inundation analysis, development of strategic approaches to prevent water-related disasters (Prof. Takahiro Sayama, Assoc. Prof. Tomohiro Tanaka, Jr. Assoc. Prof. Lahournat, Florence)		
22	Waterfront and Marine Geohazards: Hydro-hazards, sediment transport in waterfront, coastal and riverine environmental protection, hydraulics and fluid mechanics, advanced experimental hydraulics (Prof. Michio Sanjou)		
23	Computational science: Simulation of ground deformation and failure, simulation of soil contamination and remediation, soil-structure interaction analysis, large-scale and high-speed scientific computing, development of measurement technologies utilizing AI and machine learning, and various experiments for analysis validation (Prof. Mamoru Kikumoto)		

(2) Department of Urban Management

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs	
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
26	Structures Management Engineering: Deterioration mechanism of structures, condition diagnosis and functional recovery, mechanical properties of high-performance steels and environment-friendly concrete *No admissions for this category, this year	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
27	Earthquake and Lifeline Engineering: Earthquake engineering, disaster prevention engineering, seismic risk management (Prof. Aiko Furukawa)		

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs	
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
28	River System Engineering and Management: Understanding and forecasting of catchment water dynamics, flood risk control, watershed land use management (Prof. Yutaka Ichikawa)		
29	Construction Engineering Systems: Development and utilization of underground space and intelligent disaster prevention and mitigation systems, coupled mechanical-hydraulic-thermal-chemical processes in fractured rock, dynamic and static soil–structure interaction, and AI applications to infrastructure using UAVs, robotics, and large language models (LLMs) (Prof. Kiyoshi Kishida, Assoc. Prof. Yasuo Sawamura, Assoc. Prof. Yuxin Zhang)		
30	Geofront-System Engineering: Modeling of coupled thermal-hydraulic-mechanical-chemical-chemical phenomena for rocks, development of biogrout, monitoring and sensing of slope disaster prevention, tsunami generation mechanism caused by submarine landslide, offshore geotechnical engineering (Prof. Hideaki Yasuhara, Assoc. Prof. Hiromasa Iwai)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
31	Earth and Resource System: Determination of in situ stress in ocean and continental deep drillings, measurements of rock physical properties under high pressure and high temperature conditions, wellbore stability for oil and gas developments, mathematical modeling of a geothermal system, visualization of subsurface phenomenon by InSAR (Prof. Weiren Lin, Jr. Assoc. Prof. Kazuya Ishitsuka)		
32	Infrastructure Planning and Management Theory: Planning and management systems: Infrastructure policy, infrastructure industry including privatization and public procurement systems, risk governance, project management, disaster resilience policy, social capital (Prof. Masamitsu Onishi, Assoc. Prof. Satoshi Nakao)		
33	Urban and Regional Planning: Urban planning, urban policy, public transportation policy, urban transportation planning (Prof. Nobuhiro Uno, Assoc.Prof. Ryoji Matsunaka)		
34	Urban Management Systems: National land planning and infrastructure management, urban studies, urban regeneration and conservation, urban resilience, utilization of geospatial information and digital urban infrastructure, urban analysis and survey research (Prof. Tetsuharu Oba)		
35	Intelligent Transport Systems: Optimization of transport and logistics systems, traffic and transport management using big data and integrated transport, reliability analysis of transport network, experimental approach to traffic engineering (Prof. Tadashi Yamada, Assoc. Prof. Ali Gul Qureshi)		
36	Travel Behavior Analysis: Public psychology, social dilemmas, econometrics for public policy, practical social science research, public transport and shared mobility systems, transportation and tourism demand modelling with crowdsourced data (Prof. Satoshi Fujii, Assoc. Prof. Jan-Dirk Schmöcker, Assoc. Prof. Yuichiro Kawabata)		
37	Environmental Geosphere Engineering: Distribution analyses of mineral, water, and energy resources using remote sensing and mathematical geology; reservoir evaluation for storage properties of crustal gases and fluids; and assessment and spatio-temporal modeling of crustal environments from shallow to deep depths (Prof. Katsuaki Koike, Assoc. Prof. Koki Kashiwaya)		
38	Dynamics of Foundation Structures: Earthquake engineering, engineering seismology, seismic design, soil-structure interaction, seismic performance of structures, innovative structure to resist seismic vibrations (Prof. Hiroyuki Goto)		
39	Regional Water Environment System: Comprehensive environmental dynamics model, integrated water resources management, assessing the impact of climate change on flood and drought (Prof. Kenji Tanaka, Assoc. Prof. Kazuaki Yorozu)		
40	Water Resources Engineering: Water resources systems management, global water dynamics, modeling of human response to water hazards, prevention and mitigation of water-related disasters (Prof. Tomoharu Hori)		
41	Disaster Risk Management: Methodology of disaster risk analysis and assessment, community-based and participatory disaster management, and disaster risk communication (Assoc. Prof. Yoko Matsuda)		
42	Environmental Disaster Mitigation Management: Risk management of water resources, integrated management of sediment routing systems, biodiversity conservation, ecosystem management in river basins (Prof. Kentaro Taki, Prof. Sameh Ahmed Kantoush, Assoc. Prof. Sohei Kobayashi)		
43	Urban Flood Control: Compound urban disasters, dynamics of fluid-structure coupled systems, structural design for extreme events, dynamic response control, assessment and maintenance of deteriorating urban facilities, urban flood disaster, hydraulics of water-related disasters, water disaster prevention for underground space, tsunami disaster prevention (Prof. Akira Igarashi, Assoc. Prof. Nozomu Yoneyama)		

II. Enrollment Capacity

April 2027 Admission:

Department of Civil and Earth Resources Engineering:	7 persons
Department of Urban Management:	12 persons

October 2027 Admission:

Department of Civil and Earth Resources Engineering:	A few
Department of Urban Management:	A few

*Those who apply to Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering” can choose their admission date from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their preferred supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application. In addition, applicants who wish to be recommended for MEXT Scholarship Program (University Recommendation) in this Integrated Engineering Course must select October enrollment.

To be recommended for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT. If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a Privately financed international student, etc. Applicants who wish to be recommended must additionally submit recommendation documents for MEXT Scholarship Program when applying for the entrance examination. However, acceptance of the additional documents does not guarantee a recommendation or passing the entrance examination. Please note that the examination fee cannot be refunded after the application deadline.

III. Eligibility requirements for applicants

(1) General academic selection
- Refer to “II-i Eligibility", common requirements in all departments, in the Guideline for Applicants.

(2) Special selection of career-track working students
- Refer to “II-i Eligibility” and “II-v Special Selection of Career-Track Working Applicants” in the Guideline for Applicants.

(3) Selection by draft doctoral dissertation
- This selection will examine the draft of a doctoral dissertation or research results for those who have completed a master's program at graduate schools or those who fall under the conditions set in “II-i Eligibility (6)” of the Guidelines for Applicants. Nonstudents (working applicants) may also apply. The draft of a doctoral dissertation should be in a state where research has been mostly completed and ready to be submitted as a thesis within around 1 year.

(4) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”
- Applicants who qualify for “II-i Eligibility” in the Guideline for Applicants, are deemed international students, and wish to choose only the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”

[Note 1] Details regarding academic evaluation for the students of the integrated master’s-doctoral course program (Advanced Engineering Course, Interdisciplinary Engineering Course) will be notified separately.

[Note 2] The Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering" offers a special university-recommended program for MEXT Scholarship for applicants to the Special Selection of International Students who select October enrollment. Applicants should consult in advance with their preferred supervisor, check the "Each Division / Department Part : Details and Designated Form" on the application guidelines page on the Graduate School of Engineering website, and submit the required documents by the indicated deadline. To be recommended for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT. Please note that 75% of the nominations will be allocated to applicants from priority regions, so it may be difficult to recommend an applicant depending on their nationality.

IV. Examination Schedule

The following are the schedules for each selection method. The detailed date and room for the oral examination will be notified separately.

(1) General academic selection

Month Date	Time, Examination subjects	Examination Room
Tuesday, February 9	9:00 AM, Oral Exam I, II	Room 171 (1F), C1 Bldg., Katsura and others
Wednesday, February 10	9:00 AM, Oral Exam I, II	Room 171 (1F), C1 Bldg., Katsura and others

(2) Special selection of career-track working students

Month Date	Time, Examination subjects	Examination Room
Tuesday, February 9	1:00 to 3:00 PM, Short essay	Room 117 (1F), C1 Bldg., Katsura
Wednesday, February 10	9:00 AM, Oral Exam	Room 171 (1F), C1 Bldg., Katsura and others

(3) Selection by draft doctoral dissertation

Month Date	Time, Examination subjects	Examination Room
Wednesday, February 10	9:00 AM, Oral Exam	Room 171 (1F), C1 Bldg., Katsura and others

(4) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”

The date and the room for the oral examination will be notified separately.

○ Examination Instructions

- Be sure to come to the examination room no later than 15 minutes before the examination starts. For oral examinations, be sure to come to the waiting room for applicants.
- Be sure to bring your examination voucher with you and follow the instructions of the proctor and other staff.
- Refrain from taking your mobile phone or other electronic devices into the room. If you take those electronic devices into the room, turn off the power, keep the devices in your bag and put your bag in the designated place. If you carry those electronic devices with you, you could be deemed to conduct fraudulent act.
- Be sure to turn off the alarm functions of watches.
- Writing tools for short essays are limited to pencils, fountain pens, ball-point pens, mechanical pencils, pencil sharpeners, and erasers. Calculators may be lent to all during the examination hours, as necessary.
- Only a projector to be connected to PCs is provided for the oral presentations of the oral examinations. Since we do not provide PCs, please bring your own PC. However, we do not allow any use of electronic devices for purposes other than presentations.
- When changing schedules for oral examinations, we notify relevant parties in advance.

V. Details of entrance examinations

(1) General academic selection

Decisions on passing or failure will be based on English, Oral Exam I and II.

(a) English (score 200/1000):

To be evaluated based on TOEFL, TOEIC, or IELTS. Applicants whose native language is English can submit the "Letter of English Proficiency Statement" (Form-D4) in replacement of Official score certificates. If “Letter of English Proficiency Statement" is submitted, English proficiency will be evaluated at Oral Exam II.

(b) Oral Exam I (score 400/1000):

A 30-minute oral examination will be conducted to examine basic knowledge in related areas including the applicants' master's program research.

(c) Oral Exam II (score 400/1000):
Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their master's program research or their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(2) Special selection of career-track working students
Decisions on passing or failure will be based on the short essay and Oral Exam.

(a) Short essay (score 500/1000):
Basic knowledge in areas related to the applicants' master's program research and others will be examined.

(b) Oral Exam (score 500/1000):
Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(3) Selection by draft doctoral dissertation
Decisions on passing or failure will be based on examination of the draft doctoral dissertation and Oral Exam.

(a) Examination of draft doctoral dissertation:
Two examiners will examine your draft doctoral dissertation by the examination date.

(b) Oral Exam (score 1000):
Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their progress of research and past research achievements. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(4) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering"
Decisions on passing or failure will be based on Oral Exam I and II.

(a) Oral Exam I (score 500 / 1000):
A 30-minute oral examination will be conducted to examine basic knowledge in related areas including the applicants' master's program research.

(b) Oral Exam II (score 500/1000):
Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their master's program research or their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(5) Exemption of examination subjects for students expected to Graduate from the Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management
For applicants who are expected to graduate from the Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management and get good marks, they will be exempt from Oral exam I.
For applicants who are taking Postgraduate Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course/Interdisciplinary Engineering Course), they will be exempt from English proficiency and Oral exam I.

(6) Examination Criteria

(a) General academic selection:
Applicants who score 240 or above for Oral Exam I, 240 or above for Oral Exam II and score a total of 600 points or above will qualify.

(b) Special selection of career-track working students:
Applicants who score 300 or above for the short essay and 300 or above for oral examinations will qualify.

(c) Selection by draft doctoral dissertation:

Applicants who pass the screening of their draft dissertation and score 800 points and above for the oral examination will qualify.

(d) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering,”:
Applicants who score 300 or above for Oral Exam I and 300 or above for Oral Exam II will qualify.

(e) Successful applicants will be decided from among the applicants who satisfy the above criteria.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Additional Required Documents

(1-1) Applicants for selection other than by draft doctoral dissertation

Aside from documents submitted to the Graduate School of Engineering, Katsura Campus, B Cluster, Administration Complex, all applicants (apart from those applying through draft doctoral dissertations) must submit the following documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) or in person to C Cluster, Graduate Student Section. Please be aware that some documents require time for preparation.

(a) Deadline for submission of documents:
No later than 5:00 p.m. on Thursday, January 14, 2027

(b) Submit to:
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto Daigaku-Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540 (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management), TEL: 075-383-2967

(c) Additional Required Documents:
(Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.):

- ○ Selection of the entrance examination classification and checklist of necessary documents (Form-D1)
- ○ One copy of Statement of Research Activity and Study Plan written in Japanese or English (A4-sized paper, within 10 pages) Fill up necessary items on Form-D2 and use it as a cover paper. Stamps or signatures by preferred supervisors are necessary.
- ○ For those applying through general academic selection, submit a paper version of official score certificate of TOEIC or IELTS (In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See “Assessment of English Ability”). For the native speakers of English, “Letter of English Proficiency Statement (Form-D4)” is acceptable. If applicants can’t submit the official score certificate of TOEIC or IELTS by the above-mentioned deadline, they should submit these documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to Cluster C, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management) by 4:00 p.m., January 26, 2027. Envelopes should be marked with “Document for Admission (Doctoral/English)” in red ink.
- ○ Statement of Course Selection (Form-D5)
  (Stamps or signatures by preferred supervisors are necessary)
- ○ Applicants to the Special Selection of International Students for the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering" who select October enrollment and wish to be recommended for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation) must submit the required documents for recommendation (as announced on the Graduate School of Engineering website).

○ Assessment of English Ability

- English ability will be evaluated on the basis of your TOEIC, IELTS or TOEFL scores (these tests must be taken after February 1, 2025). Either of the following specified documents is to be submitted or sent by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to “C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University” by the due date. Please note that no applications will be accepted after 4:00 p.m. on Tuesday, January 26, 2027.

<TOEIC>

- A printed “Digital Official Score Certificate” is acceptable as well as Official Score Certificate. In both cases, these score certificates must be submitted in paper form. We only accept official TOEIC Listening & Reading test. Please note that score certificates for group examinations such as TOEIC IP are invalid.
- Please note that applicants wishing to be recommended for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation) for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”, are required to submit scores for Speaking & Writing in addition to Listening & Reading. Be sure to refer to the documents downloadable from the MEXT website linked on the website of the Graduate School of Engineering.

<IELTS>

- Applicants need to make a request to IELTS Official Test Centre to send your Additional Test Report Form (paper form) directly to our departments no later than the due date. Photocopies will not be accepted. We only accept IELTS (Academic Module). Both Paper-based IELTS and Computer-delivered IELTS are accepted, but IELTS Online is not acceptable.

<TOEFL>

- Applicants need to make a request to ETS (Educational Testing Service in USA) to send your Institutional Score Report to our departments no later than the due date. The Institution Code (DI Code) for our departments is "C092". Note that we do not accept any inquiry concerning arrival of Institutional Score Report.
- We only accept TOEFL-iBT (Internet-Based Test). Either TOEFL iBT Paper Edition or TOEFL-iBT Home Edition are not acceptable. TOEFL MyBest Scores are not accepted. Please note that score certificates for group examinations such as TOEFL-ITP are invalid.

- Successful applicants will be disqualified if submitted documents are later found to be fraudulent.

(1-2) Applicants for selection by draft doctoral dissertation

Those who are applying through draft doctoral dissertations need to submit the following documents.

(a) Submission deadline: Same as VI. (1-1).

(b) Submit to: Same as VI. (1-1).

(c) Other documents to be submitted

(Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.)

- ○ Request for Screening for doctoral draft thesis (Form-D3)
- ○ Two copies of draft doctoral dissertation
- ○ One copy of research history
- ○ One copy of a list of research achievements
- ○ Statement of Course Selection (Form-D5)

(2) Prior Contact

In the prior contact, the preferred supervisor will judge whether or not the learning / research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the preferred supervisor. Furthermore, in order to facilitate learning and research activities after admission to the doctoral program, the research plan will be clarified before application through discussions between the applicant and the preferred supervisor.

(3) Guidance on Presentation for Oral Examination

It does not prevent applicants from receiving the oral examination presentation guidance from their preferred supervisor. In the presentation guidance, the research plan that the applicant will explain in the oral examination will be instructed so that it matches the content confirmed in the prior contact.

VII. Selecting your course after enrollment

Two types of courses are available after entry to the doctoral program. The courses below can be taken upon passing of entrance examinations for category “Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management.” If applicants pass through the special selection for international students for the Interdisciplinary Engineering Course “Human Security Engineering,” only the Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course) “Human Security Engineering" can be selected.

- Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)
  Applied Mechanics, Human Security Engineering
- Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
  Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management

Courses that can be taken upon passing of entrance examinations for category “Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management”, October Admission are limited to the Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course), “Human Security Engineering.”

VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to “X. Educational Programs in Doctoral Program” in the Guidelines for Applicants.

[Advanced Engineering Course]

- Department of Civil and Earth Resources Engineering
  To develop new industries and foster new cultures and to realize safe, secure, and active sustainable urban systems, in harmony with the environment, it is essential to promote technological innovation in areas of human activities, particularly public infrastructure structures. The Department of Civil and Earth Resources Engineering aims at realizing the development of cutting-edge technologies as well as safe and secure enhanced public infrastructures that is in harmony with the environment and sustainable use of underground resources. It aims to contribute to the development of scientific technologies that support building public infrastructures.
  For this, we develop talents with a good understanding of global-scale issues of environment and energy as well as those who have the basic competence in engineering science to develop new technologies from global and multilateral viewpoints and the skills to apply the learnings to solve the real-world problems. The department aims at furthering the students’ capabilities in engineering science and equipping them with sophisticated world-class skills and an ability to apply them to solve the problems of the real world through advanced, leading-edge research on infrastructure and applied-technology research for the real-world problems by identifying and solving key issues in the following five areas: 1. Advancement of leading-edge technologies based on engineering science; 2. Elucidation of natural disaster mechanisms and improvement of disaster-mitigation technologies; 3. Enhancement of integrated planning and design technologies for public infrastructure and its management; 4. Utilization of underground resources energy for the sustainable development of society; and 5. Provision of solutions for the realization of a low-carbon society.

- Department of Urban Management
  Comprehensive urban management is required to guarantee a high-level quality of life and establish sustainable and globally competitive urban systems. The Department of Urban Management aims at developing methodologies and engineering systems for the comprehensive management of urban systems under the condition of protecting global/regional environments. From an interdisciplinary perspective that encompasses social sciences and humanities, it aims to integrate engineering technologies such as management technologies, advanced information technologies, public infrastructure technologies, and energy structure technologies.
  We develop talents with advanced all-round potentials and advanced problem-solving capabilities in areas including social sciences and humanities. To develop international leader researchers/technicians with comprehensive management skills for urban systems through practical and interdisciplinary research in the following areas: 1. Advancement of public infrastructure through the innovation in urban communication and

information technology, 2. Disaster risk management in the advanced information society, 3. Comprehensive and efficient urban infrastructure management, 4. Development of public infrastructure that meets the demand of globalization, and 5. Urban management based on the limited resources theory.

IX. Other

○ Special Measures for Response to Changes in Social Conditions：

Due to changes in social conditions, the entrance examination and test details are subject to change. When change is made, information will be posted on the websites of the Graduate School of Engineering and each department. Be sure to check the latest information.

○ Inquiries:

C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University
(Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management)
Kyoto Daigaku-Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540, JAPAN
TEL: 075-383-2967

Reference URL:
- Department of Civil and Earth Resources Engineering: https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/
- Department of Urban Management: https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/

都市環境工学専攻

Ⅰ．志望区分

以下に示す研究内容を参照し、インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望区分を選択すること。ただし、来年度学生を受け入れることができない志望区分もあるので、予め出願までに志望区分の教員と十分に連絡を取り、受け入れの可否を確認するとともに、受験する選考方法及び研究計画等について相談すること。なお、入学後の教育プログラムとして、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野、博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）のうちから一つを選択できる（**Ⅶ．入学後の教育プログラムの選択**を参照のこと）。

志望区分	研　究　内　容 （**担当教員**） （2026 年 10 月現在）
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 （**高岡昌輝教授・大下和徹准教授**）
2	環境衛生学、環境予防医学、 環境予防工学（環境化学物質・大気汚染物質等の健康リスク評価、評価手法および予防・軽減手法の開発） （**松田知成教授・松田俊准教授・山本浩平講師**）
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 （**藤原拓教授・日高平准教授**）
4	環境リスク工学、環境リスクマネジメント、土壌・地下水汚染制御、汚染物質環境動態モデル解析、 放射能環境汚染対策 （**島田洋子教授・池上麻衣子准教授**）
5	大気・熱環境工学、地球環境シミュレーション、統合評価モデリング、気候変動緩和策分析、 気候変動影響分析、環境政策評価、環境経済分析 （**藤森真一郎教授**）
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、 上水道システムのトータルデザイン （**伊藤禎彦教授・中西智宏講師**）
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、水環境天然有機物の特性解析、 土壌・地下水汚染・浄化 （**松田知成教授・浅田安廣准教授**）
8	環境質予見、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、雨天時排水管理、 水域生態系保全、汚染源の推定と管理 （**西村文武教授**）
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 （**平井康宏教授・矢野順也准教授**）
10	安全衛生・エネルギー管理工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント （**松井康人教授**）
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 （**高宮幸一教授**）
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 （**福谷哲准教授**）

Ⅱ．募集人員

2027 年度 4 月期入学：
　都市環境工学専攻　　９名
2027 年度 10 月期入学：
　都市環境工学専攻　若干名

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考へ出願する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができる。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。該当者はインターネット出願システム上で、4 月期入学と 10 月期入学のいずれかを選択すること。また、融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生推薦特別プログラムへの推薦を希望する場合には、10 月入学を選択すること。特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要があります。ただし、推薦者の 75%が重点地域からの学生に割り当てられるため、国籍によって推薦が難しい場合があるのであらかじめご了承ください。推薦基準を満たしていない場合、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生として入学できます。推薦希望者は、特別プログラムへの推薦書類についてあらかじめ出願時に提出する必要があります。ただし、これは推薦を保証するものではありません。また、入学試験の合格を保証するものでもありません。

Ⅲ．出願資格

選考方法には、①一般学力選考、②社会人特別選考、③論文草稿選考、④融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考、⑤融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）選考がある。①～③の選考方法により合格した場合、入学後の教育プログラムの選択ができる。詳細については、「**Ⅶ．入学後の教育プログラムの選択**及び**Ⅷ．教育プログラムの内容について**」を参照すること。それぞれの選考試験における出願資格は下記のとおりである。

(1)一般学力選考
- 京都大学大学院工学研究科 2027 年度第 2 次博士後期課程学生募集要項（以下「募集要項」と略す）Part A: 全入試区分共通部分、「II.　出願資格と出願資格の審査」「**Ⅱ　出願資格と出願資格の審査**」を参照。

(2)社会人特別選考
- 募集要項 Part A: 全入試区分共通部分、「II.　出願資格と出願資格の審査」「**Ⅱ　出願資格と出願資格の審査**」を参照。

(3)論文草稿選考
- 大学院の修士課程を修了した者、あるいは募集要項 4 ページ「**Ⅱｉ出願資格(6)**」に該当する者を対象とする、博士学位論文草稿及び研究業績の審査による選考試験。社会人も対象とする。博士学位論文草稿は、研究がある程度完成しており 1 年程度で学位論文として提出可能なものとする。

(4)融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考
- 募集要項 Part A: 全入試区分共通部分、「**Ⅱｉ　出願資格**」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望する者で、(5)の特別プログラムを志望しない者。

(5) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生推薦特別プログラム選考
- 募集要項 Part A: 全入試区分共通部分、「**Ⅱｉ　出願資格**」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望し、かつ国費外国人留学生制度（大学推薦）による国費入学を志望する者。

Ⅳ．学力検査日程

選考方法により下記のとおり実施する。なお、口頭試問の時刻など、詳細は事前に、桂キャンパス C クラスターC1 棟 191 号室（1 階、大講義室）西側廊下の専攻掲示板に掲示するので、注意すること。

（1）一般学力選考、社会人特別選考及び論文草稿選考

年月日	時　間 試験科目	試験室
2027 年 2 月 9 日（火）	９：００～ 口頭試問	桂キャンパス C クラスターC1 棟 152 号室(1 階)、他
2027 年 2 月 10 日（水）	９：００ ～１７：００ 口頭試問	桂キャンパス C クラスターC1 棟 152 号室(1 階)、他

(2) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考及び特別プログラム選考

口頭試問の試験日時及び試験室については別途通知する。

【学力検査に関する注意事項】

- 口頭試問の試験日時及び集合時間は別途通知する。
- 別途指示がない場合には、口頭試問開始時刻 10 分前までに、受験者控え室（桂キャンパス C クラスターC1 棟 107 号室(1 階)）に集合すること。
- 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- 口頭試問における研究内容、研究計画などの口頭発表では、コンピュータと接続可能なプロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 一般学力選考

口頭試問により、合否を判定する。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS による英語の得点が下記の口頭試問での評価に算入（1000 点中 100 点）される。

(a)口頭試問（1000 点満点）

- 修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容及びそれに関連する分野の基礎学力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。これまでの研究内容と研究計画に関する口頭発表（25 分以内）の後、試問（口頭発表とあわせて 60 分程度）を行う。
- 連携教育プログラム(高度工学コース、融合工学コース)の 5 年コース 在学生を対象とした学力審査では、口頭試問の時間を 30 分に短縮し、口頭発表（15 分以内）は、博士後期課程での研究計画を中心とするが、修士課程での研究の進捗状況やその成果を含めるものとする。

【注意】 TOEFL については受験者成績書（「Test Taker Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Designated Institution Code：C121 により、期日までに工学研究科都市環境工学専攻に提出されるように手続きするとともに、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report）を提出すること。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。また、TOEIC の場合は公式認定証(Official Score Certificate）原本（紙媒体）そのもの、もしくはデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）(PDF 版)のコピー、IELTS の場合は成績証明書（Test Report Form）（以下、これらを成績証明書と略す）を提出すること。詳細は、Ⅵ. を参照。

(2) 社会人特別選考

口頭試問により、合否を判定する。

(a)口頭試問（1000 点満点）

- 今まで研究した内容、業績及びそれに関連する分野の基礎学力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。研究内容、業績及び研究計画に関する口頭発表（25 分以内）の後、試問（口頭発表とあわせて 60 分程度）を行う。

(3) 論文草稿選考

博士学位論文の草稿の審査と、口頭試問により、合否を判定する。

(a)草稿審査

- 審査委員長及び他の 2 名の審査委員が、選考試験実施日までに博士学位論文草稿の審査を行う。

(b)口頭試問

- 博士学位論文草稿、研究経過及びこれまでの研究業績に関する試問を行う。口頭発表(10 分程度）の後、試問（口頭発表とあわせて 30 分程度）を行う。

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考及び特別プログラム選考

口頭試問により、合否を判定する。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS による英語の得点が下記の口頭試問での評価に算入（1000 点中 100 点）される。

(a)口頭試問（1000 点満点）

- 修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容及びそれに関連する分野の基礎学

力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。これまでの研究内容と研究計画に関する口頭発表（25 分以内）の後、試問（口頭発表とあわせて 60 分程度）を行う。

・ 連携教育プログラム(融合工学コース)の 5 年コース 在学生を対象とした学力審査では、口頭試問の時間を 30 分に短縮し、口頭発表（15 分以内）は、博士後期課程での研究計画を中心とするが、修士課程での研究の進捗状況やその成果を含めるものとする。

【注意】 TOEFL については受験者成績書（「Test Taker Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Designated Institution Code:C121 により、期日までに工学研究科都市環境工学専攻に提出されるように手続きするとともに、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report）を提出すること。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。また、TOEIC の場合は公式認定証（Official Score Certificate）原本（紙媒体）そのもの、もしくはデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）(PDF 版)を印刷したもの、IELTS の場合は成績証明書（Test Report Form）(以下、これらを成績証明書と略す)を提出すること。詳細は、**Ⅵ.** を参照。
特別プログラムにおいては、英語スコアが推薦基準を満たすかどうかの判定にも使用されます。国費外国人留学生制度（大学推薦）の募集要項を確認し、文部科学省が求める語学能力を証明する成績書を提出すること。

(5) 有資格者及び合格者決定法

（ａ）一般学力選考、社会人特別選考、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考及び特別プログラム選考

口頭試問が６００点以上の者を有資格者とする。その中から合格者を決定する。

（ｂ）論文草稿選考

草稿審査に合格し、かつ口頭試問が６００点以上の者を有資格者とする。その中から合格者を決定する。

Ⅵ. 出願要領

募集要項 Part A: 全入試区分共通部分の「**Ⅲ　出願要領**」に記載の出願書類等を工学研究科に提出するとともに、各選考方法に対応した以下に示す別途提出書類を下記の京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻　入試担当）へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

・提　出　先：〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻　入試担当
TEL：075-383-2967

(1) 別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

（ａ）一般学力選考、社会人特別選考、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考及び特別プログラム選考の受験者

下記①～⑥の別途提出書類を、**2027 年 1 月 13 日（水）午後 5 時（必着）**までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻　入試担当）へ提出すること。

① 別途提出書類届（様式-Ｄ１）
② 成績証明書（出身大学学部及び出身大学院修士課程のもの)。ただし、外国人留学生書類審査または別途資格審査に成績証明書を提出している者は不要。
③ これまでに行った研究内容及び博士後期課程での研究計画に関するレポート 4 部（A4 判、本文 5 ページ程度、図面を含めて 10 ページ以内、日本語か英語で記載のこと)。ただし、特別プログラム選考の受験者は、⑦を提出すること。
④ 社会人特別選考の受験者は、③に加えて、これまでの研究業績リスト、及び発表論文コピーを１部提出すること。
⑤ 一般学力選考及び融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者は、TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」）のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report)、TOEIC または IELTS の場合は成績証明書（TOEFL、TOEIC および IELTS について 2025 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る)。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-Ｄ２）を提出してもよい。
特別プログラムにおいては、英語スコアが推薦基準を満たすかどうかの判定にも使用されます。国費外国人留学生制度（大学推薦）の募集要項を確認し、判定に使用する条件を満たした試験の

英語スコアを提出すること。

⑥　次ページ「**Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択**」を参照し、入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－Ｄ３）に、教育プログラムの志望順位を記入し、提出すること。提出にあたっては、予め出願までに志望する指導教員と十分相談しておくこと。

⑦　特別プログラム選考の受験者は、①、②、⑤、⑥に加えて、推薦に必要な書類（工学研究科ホームページで案内する）を提出すること。

【英語成績の提出について（一般学力選考及び融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者)】

・TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Designated Institution Code:C121 により、2027 年 1 月 13 日（水)までに工学研究科都市環境工学専攻に提出されるように手続きしなければならない。
・TOEFL の場合は TOEFL-iBT(internet-Based Test, Special Home Edition, Home Edition を含む)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC 公開テストの成績証明書のみ受け付ける。なお、TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。
・IELTS の場合、追加成績証明書（紙媒体）が 2027 年 1 月 15 日（金)までに都市環境工学専攻入試担当に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。
・英語の評価は口頭試問の評価に算入（1000 点中 100 点）される。英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-Ｄ２)を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語能力を評価する。
・TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL:　ETS Japan 合同会社
TEL: 0120-981-925、https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html
TOEIC:　(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会
TEL: 06-6258-0224、https://www.iibc-global.org/toeic.html
IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター　TEL: 03-3266-6852
(公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター　TEL: 06-6455-6286
https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/

（ｂ）論文草稿選考の受験者

下記①～⑤の別途提出書類を、**2027 年 1 月 13 日（水）午後 5 時（必着）**までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻　入試担当）へ提出すること。

①　博士学位論文草稿４冊
②　研究歴書４通
③　研究業績リスト４通
④　入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－Ｄ３）
⑤　博士学位論文草稿の概要４部（A4 判、本文 5 ページ程度、図面を含めて 10 ページ以内、日本語か英語で記載のこと）

(2) 事前コンタクト

事前コンタクトにおいては、志願者の希望する学習・研究内容と、志望する指導教員の研究活動との整合性の有無を、志望する指導教員が判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と志望する指導教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

(3) 口頭試問の発表指導

志願者が口頭試問の発表指導を指導予定教員から受けることを妨げない。発表指導においては、口頭試問において志願者が説明しようとしている研究計画が、事前コンタクトで確認した内容と一致するように指導する。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には複数の教育プログラムが準備されている。いずれの教育プログラムを履修するかは、志望と入試成績に応じて入学までに決定する。本専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

○　博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）

人間安全保障工学分野

○ 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

都市環境工学専攻

詳細については、募集要項 Part A: 全入試区分共通部分の「**X　博士後期課程入学後の教育プログラムについて**」を参照すること。

なお、10 月期入学を希望する者が「都市環境工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは,「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野」に限られる。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

【融合工学コース】

内容については、工学研究科 HP(「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69)を参照すること。

【高度工学コース】

都市環境工学専攻の高度工学コースでは、「顕在化/潜在化する地域環境問題の解決」、「健康を支援する環境の確保」、「持続可能な地球環境・地域環境の創成」、「新しい環境科学の構築」を理念とし、地球環境問題及び地域固有の環境問題の解決に貢献する幅広い基礎学力、問題設定・解決能力及び高い倫理観を備えたこの分野の次世代のリーダーとなる研究者・技術者を育成します。このコースでは、１年次から論文研究を中心として、最先端の環境研究手法を習得します。また、環境工学/科学の全領域をカバーする体系的なカリキュラムにより、工学はもとより、医学・社会学・経済学から倫理学に及ぶ環境問題に関わる様々な学理について教授します。

Ⅸ. その他

〇問い合わせ先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛

都市環境工学専攻　入試担当

TEL：075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/を参照のこと。

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents,accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Environmental Engineering

I. Research Area Preference

Please refer to the following list of research areas and select the study area of your choice on the information entry screen of the Internet application system. Some research areas may not be able to accept students this year. Please contact the relevant faculty member prior to submitting your application to check if the position is available, as well as the selection method and research plans. After enrollment, you can select either of the Integrated Master's-Doctoral Course Program, Interdisciplinary Engineering Course/Laboratory of Human Security Engineering) or (Advanced Engineering Course, as part of the course program (please refer to **VII. Selecting your course after enrollment**).

Preferred Research Area	Research Subjects (Faculty in Charge) (As of October 2026)
1	Environmental Design Engineering, Urban Metabolism Engineering, Environmental Plant Engineering, Resource Recycling Science, and Toxic Substances Control (Professor Masaki Takaoka, Associate Professor Kazuyuki Oshita)
2	Environmental Health, Environmental Preventive Medicine Environmental Health Engineering (Evaluation of Health Risks posed by Environmental Chemicals and Air Pollutants, Development of Methods for Environmental Health Risk Evaluation, Prevention, and Mitigation) (Professor Tomonari Matsuda, Associate Professor Shun Matsuda, Senior Lecturer Kouhei Yamamoto)
3	Water Quality Engineering, Applied and Environmental Microbiology, Water and Wastewater Treatment Engineering, Water / Resources Recycling Systems, Water Environment Management (Professor Taku Fujiwara, Associate Professor Taira Hidaka)
4	Environmental Risk Analysis, Environmental Risk Management, Soil and Ground Water Pollution Control, Modeling Environmental Dynamics of Pollutants, Measures against Radioactive Environmental Contamination (Professor Yoko Shimada, Associate Professor Maiko Ikegami)
5	Atmospheric and Thermal Environmental Engineering, Global Environmental Simulation, Integrated Assessment Modeling, Climate Change Mitigation Assessment, Climate Change Impacts Assessment, Environmental Policy Assessment, Environmental Economic Analysis (Professor Shinichiro Fujimori)
6	Urban Sanitary Engineering, Environmental Health Risk Control Engineering, Advanced Water Purification Engineering, Risk Management of Drinking Water Quality, and Total Design of Water and Sewerage Systems (Professor Sadahiko Itoh, Senior Lecturer Tomohiro Nakanishi)
7	Environmental Quality Management, Integrated Watershed Management, Detection / Fate / Assessment of Toxicity Evaluation / Emission Control of Environmental Micro-Pollutants, Characterization of Natural Organic Matter in Aquatic Environment, Contamination in Soil /Groundwater and Remediation (Professor Tomonari Matsuda, Associate Professor Yasuhiro Asada)
8	Environmental Quality Prediction, Monitoring / Control / Impact Evaluation of Micropollutants and Pathogens in Wastewater and Receiving Waters, Water Reclamation and Reuse, Management of Urban Stormy Wastewater, Conservation of Aquatic Ecosystem, Contamination Sources Identification, Tracking and Management (Professor Fumitake Nishimura)
9	Environmental Preservation Engineering, Recycling Systems and Waste Management, Recycling Social Systems, and Environmental Safety Management of Educational Research Institutions (Professor Yasuhiro Hirai, Associate Professor Junya Yano)
10	Safety and Occupational Health Engineering･Energy Management Engineering, Occupational Health, Assessment of Exposure of Particulate Matter and Chemical Substances, Safety Engineering, and Occupational Safety and Health Management Systems (Professor Yasuto Matsui)
11	Environment Radionuclide Science and Engineering, Research on Distribution and Behavior of Radioisotope and Stable Isotope in the Environment (Professor Koichi Takamiya)
12	Radioactive Waste Management, Research on Nuclear Technology Safety, and Transition/Behavior of Toxic Materials in the Environment (Associate Professor Satoshi Fukutani)

II. Enrollment capacity

April 2027 Admission:

Department of Environmental Engineering:9persons

October 2027 Admission:

Department of Environmental Engineering: A few

*Those who apply to Special selection of international students for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program." can choose their admission date from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application. In addition, applicants who wish to be recommended for MEXT Scholarship Program (university recommendation) in this Integrated Engineering Course must select October enrollment. To be recommended for the MEXT Scholarship Program (university recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT. Please note that 75% of the nominations will be allocated to applicants from priority regions, so it may be difficult to recommend an applicant depending on their nationality. If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a Privately financed international student. Applicants who wish to be recommended must submit recommendation documents for MEXT Scholarship Students in advance when applying for the entrance examination. However, this does not guarantee a recommendation. Please note that the examination fee cannot be refunded after the application deadline.

III. Eligibility requirements for applicants

The selection methods are 1. General academic selection, 2. Special selection for career-track working students, 3. Selection by draft thesis, 4. Special selection of international students who apply for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program, and 5. MEXT Scholarship Program (university recommendation) for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course. Those who pass either of the 1–3 selection procedures can choose the educational program available after enrollment. Please see details at "**VII. Selecting your course after enrollment** and **VIII. Course details**." The following are the eligibility requirements for applicants for the selection exam.

(1) General academic selection
- Please see "**II. Eligibility and Its Screening**" in the Guidelines for Applicants to the 2027 Doctoral Course Program (Second Recruitment), Graduate School of Engineering, Kyoto University (Guidelines for applicants hereafter).

(2) Special selection for career-track working students
- Please see "**II. Eligibility and Its Screening** " in the Guidelines for applicants.

(3) Selection by draft doctoral dissertation
- This selection will examine the draft of a doctoral dissertation or research result, available for those who have completed the master's program at graduate school or those who fall into the conditions set in "**II-i Eligibility (6)**" of the Guidelines for applicants. Nonstudents (working applicants) may also apply. The draft of a doctoral dissertation should be in a state where research has been mostly completed and ready to be submitted as a thesis within around 1 year.

(4) Special selection of international students who apply for the Laboratory of Human Security Engineering, Integrated Master's-Doctoral Course Program of the Interdisciplinary Engineering Course Program.
- Among those who are eligible to apply as international students in accordance with "**II-i, Eligibility**" in the Guidelines for applicants and wish to apply only for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course and **do not** intend to apply for the MEXT Scholarship Program described in (5).

(5) MEXT Scholarship Program (university recommendation) for the Laboratory of Human Security Engineering Integrated Master's-Doctoral Course Program of the Interdisciplinary Engineering Course Program.
- Among those who are eligible to apply as international students in accordance with "**II-i, Eligibility**" in the Guidelines for applicants and wish to apply only for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course and intend to apply for the MEXT Scholarship Program.

IV. Examination Schedule

The following are the schedules for each selection method. Please be aware that information such as timing of oral examinations will be posted in advance on the department board located at the west corridor of Room 191 (1st floor, main

auditorium) C1 bldg., C cluster, Katsura Campus.

(1) General academic selection, special selection for career-track working students and Selection by draft doctoral dissertation

Date	Time Examination Subjects	Room
Tuesday, February 9, 2027	9:00 AM- Oral examination	Room 152 (1st floor), C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus (Subject to change)
Wednesday, February 10, 2027	9:00 AM to 5:00 PM Oral examination	Room 152 (1st floor), C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus (Subject to change)

(2) Special selection of international students for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program.
The date and the room for the oral examination will be notified separately.

[Instructions on academic examination]
- The date and time for the oral examination will be notified separately.
- Please gather in the waiting room for candidates (Room 107 (1st Floor), C1 Bldg, C Cluster, Katsura Campus unless notified separately) 10 minutes before the oral examination.
- Applicants must bring their examination vouchers to the examination room and follow the instructions given by the attendant.
- Applicants are advised, preferably, to not bring electronic devices, including mobile phones, in the examination room. If you do bring them into the examination room, turn them off, put them in your bag, and place the bag at the specified place. Note that carrying them with you may be considered to be an act of cheating.
- Only a projector to be connected to a PC is provided for the oral presentation of research and research plans in the oral examination. Please bring your own PC.

V. Details of Entrance Examinations

(1) General academic selection
Decisions on pass or fail are made on the basis of an oral examination. The score of English tests, including TOEFL, TOEIC, or IELTS, will be added to the score of the oral examination (100 out of 1000).
(a) Oral examination (full mark: 1000).
- The oral examination will relate to your current research in a master's program or research conducted in the past and basic academic ability related to these as well as on research plans in the doctoral program. The oral examination will be conducted after the oral presentation (within 25 minutes) on past research and future research plans (a total of 60 minutes. including oral presentation).
- In the case of a student of 5 years course of the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course / Advanced Engineering Course), the oral examination time will be 30 minutes. The research plans in the doctoral program with your master's research progress and results must be presented within 15 minutes.

[Note] TOEFL score: Please submit your official score record (“Test Taker Score Report”) by the due date to the Department of Environmental Engineering of the Graduate School of Engineering according to Designated Institution Code C121 designated by the Department of Environmental Engineering. Please also submit a copy of the above official score record (a print out of the downloaded PDF of the Test Taker Score Report). MyBest ™ score is not accepted as TOEFL score. Please submit the original papers of Official Score Certificate or the printouts of Digital Official Score Certificate (PDF version) for TOEIC and Test Report Form (hereafter academic transcripts) for IELTS. Please see 6. for details.

(2) Special selection of career-track working students
Decisions on pass or fail are made on the basis of an oral examination.
(a) Oral examination (full mark: 1000).
- The oral examination will relate to your past research and achievements and basic academic ability related to these as well as on your research plans in the doctoral program. The oral examination will be conducted after the oral presentation (within 25 minutes) on research contents, achievements, and future research plans (a total of 60 minutes, including oral presentation).

(3) Selection by draft doctoral dissertation
Decisions on pass or fail are made on the basis of an oral examination and examination of draft doctoral dissertation.
(a) Examination of draft doctoral dissertation
- The chair examiner and 2 other examiners will examine your draft doctoral dissertation by the selection date.

(b) Oral Examination
- The oral examination will relate to your draft doctoral dissertation, process of research, and past research achievements. The oral examination (a total of 30 minutes, including oral presentation) will be conducted after the oral presentation (around 10 minutes).

(4) Special selection of international students and MEXT Scholarship Program (university recommendation) for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program.

Decisions on pass or fail are made on the basis of an oral examination. The score of English tests, including TOEFL, TOEIC, or IELTS, will be added to the score of the oral examination (100 out of 1000).

(a) Oral examination (full mark: 1000).

- The oral examination will relate to your current research in a master's program or research conducted in the past and basic academic ability related to these as well as on research plans in the doctoral program. The oral examination will be conducted after the oral presentation (within 25 minutes) on research contents, achievements, and future research plans (a total of 60 minutes, including oral presentation).
- In the case of a student of 5 years course of the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course / Advanced Engineering Course), the oral examination time will be 30 minutes. The research plans in the doctoral program with your master's research progress and results must be presented within 15 minutes.

[Note] TOEFL score: Please submit your official score record ("Test Taker Score Report") by the due date to the Department of Environmental Engineering of the Graduate School of Engineering according to Designated Institution Code C121 designated by the Department of Environmental Engineering. Please submit a copy of the above official score record (a print out of the downloaded PDF of the Test Taker Score Report). MyBest ™ score is not accepted as TOEFL. Please submit the original papers of Official Score Certificate or the printouts of Digital Official Score Certificate (PDF version) of TOEIC and Test Report Form (hereafter academic transcripts) of IELTS. Please see **VI.** for details.
In the MEXT Scholarship Program (university recommendation), applicants must review the application guidelines for the MEXT Scholarship (university recommendation) and submit a transcript that meets the conditions required for the university's recommendation under the MEXT program.

(5) Selection of Those Who Qualify and Pass

(a) General academic selection, special selection of career-track working students, and special selection of international students and MEXT Scholarship Program (university recommendation) for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program.
Those who earn 600 points and over in their oral examination are eligible qualifiers. Successful candidates will be selected from the qualifiers.

(b) Selection by draft doctoral dissertation
Those who pass the screening of their draft dissertation and earn 600 points and over in oral examination are eligible qualifiers. Successful candidates will be selected from the qualifiers.

VI. Instructions on Application for Admission

Please submit application forms for admission described in "**III. Application Documents**" in Part.Athe Guidelines for applicants to the Graduate School of Engineering, submitting the following documents separately according to the each selection method by hand or by post to the Entrance exam officer/Department of Environmental Engineering, C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University. Please be aware that some documents require time for preparation.

- Send to: Kyoto daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8540
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Entrance exam officer, Department of Environmental Engineering
TEL: 075-383-2967

(1) Documents to be submitted separately
(please download the forms from the website of the Graduate School of Engineering).

(a) Applicants for the general academic selection, special selection of career-track working students, and special selection of international students and MEXT Scholarship Program (university recommendation) for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program. Please submit the following (i)–(vi) documents to Entrance exam officer/ Department of Environmental Engineering, C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University no later than **5:00 PM on Wednesday, January 13, 2027.**

(i) Checklist of Necessary Documents (Form D1)
(ii) Academic transcripts (from the faculty of the university or from the master's program of the graduate school) Applicants who have submitted academic transcripts for document-based selection for international students or other eligibility screening processes separately are exempted.
(iii) Applicants must submit 4 copies of reports (A4 size, around 5 pages for text, within 10 pages including figures and tables, in Japanese or in English) describing past/current research and research plan for the doctoral program. However, applicants who apply for the MEXT Scholarship Program (university recommendation) must submit Form (vii) below.
(iv) Those who apply for special selection for career-track working students are required to submit a copy of each of a list of past research achievements and published papers in addition to the above reports described in (iii).
(v) Applicants for general academic selection or special selection of international students for the Laboratory of Human Security Engineering of the Interdisciplinary Engineering Course Program may submit a copy

of their official score record ("Test Taker Score Report") (a print out of the downloaded PDF of the Test Taker Score Report) of TOEFL or an academic transcript of TOEIC or IELTS (all academic transcripts of TOEFL, TOEIC, and IELTS should be from exams taken after February 1, 2024). Applicants whose native language is English can submit the "Letter of English Proficiency Statement" (Form D2) instead of academic transcripts.
In the MEXT Scholarship Program (university recommendation), applicants must review the application guidelines for the MEXT Scholarship (university recommendation) and submit a transcript that meets the conditions required for the university's recommendation under the MEXT program.

(vi) Please indicate the desired order in Statement of Course Selection (Form D3) and submit it referring to "**VII. Selecting your course after enrollment**." Please consult with the supervisor you wish to study under before the submission of the forms in advance.

(vii) Applicants for the MEXT Scholarship Program (university recommendation) must submit the required documents for recommendation (as announced on the Graduate School of Engineering website).

Submission of academic transcripts for English
(only for applicants for general academic selection or special selection of international students for the Laboratory of Human Security Engineering of Interdisciplinary Engineering Course Program):

- TOEFL score: You can submit your official score record ("Test Taker Score Report") to the Department of Environmental Engineering of the Graduate School of Engineering according to Designated Institution Code C121 designated by the Department of Environmental Engineering by no later than Wednesday, January 13, 2027.
- For TOEFL, we only accept TOEFL-iBT (Internet-based test including Special Home Edition and Home Edition). For TOEIC, we only accept TOEIC Public Testing Program administered in Japan or Korea. Please note that academic transcripts of group exams such as TOEFL-ITP or TOEIC IP are invalid.
- For IELTS, applicants need to make a request to IELTS Official Test Centre to send your Additional Test Report Form (paper form) directly to our departments no later than the due date. Photocopies will not be accepted. We only accept IELTS (Academic Module). Both Paper-based IELTS and Computer-delivered IELTS are accepted, but IELTS Online in not acceptable.
- Your English score will be added to the score of the oral examination (100 points out of 1000). Applicants whose native language is English are exempted from submission of academic transcripts by submitting the "Letter of English Proficiency Statement" (Form D2) to the department in advance. Their English proficiency will be judged in the oral examination.
- The following are the contact details for information of TOEFL, TOIEC, and IELTS.

  TOEFL: ETS Japan
  TEL: 0120-981-925, https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/
  TOEIC: TOEIC Steering Committee, the Institute for International Business Communication
  TEL: 06-6258-0224, https://www.iibc-global.org/english.html
  IELTS: Eiken Foundation of Japan IELTS Official Tokyo Test Centre TEL: 03-3266-6852
  Eiken Foundation of Japan IELTS Official Osaka Test Centre TEL: 06-6455-6286
  https://www.eiken.or.jp/ielts/en/contact/

(b) Applicants for selection by draft doctoral dissertation
Please submit the following (i)–(v) documents to Entrance exam officer/Department of Environmental Engineering, C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University no later than **5:00 PM on Wednesday, January 13, 2027.**

(i) 4 copies of draft doctoral dissertation
(ii) 4 copies of research history
(iii) 4 copies of a list of research achievements
(iv) Statement of Course Selection (Form D3)
(v) Applicants must submit 4 copies of a summary of your draft doctoral dissertation
(A4 size, around 5 pages of text, under 10 pages including diagram either in Japanese or English).

(2) Prior contact
In prior contact, the professor who the applicant wants to be supervised will check the consistency of the applicant's research content and own research topics. Furthermore, in order to facilitate learning and research activities after admission to the doctoral program, the research plan will be clarified before application through discussions between applicants and the professor.

(3) Guidance for presentation of oral examination
Applicant can receive guidance for the presentation of oral examinations from the professor who the applicant wants to be supervised. In the presentation guidance, the professor will instruct the applicant to match the research content which the applicant will explain in the oral examination to the content confirmed in the prior contact.

VII. Selecting your course after enrollment

The following two course programs will be offered after enrollment in the doctoral program. The program you register to

is decided before enrollment depending on application and entrance exam results. For those who passed the department's examination, the following course programs are available.

- Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)
  Human Security Engineering field
- Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
  Department of Environmental Engineering

Please see details at "**X. Educational Programs in Doctoral Program**" in Part.Aof the Guidelines for applicants.
Courses that can be taken upon passing of entrance examinations for the Department of Environmental Engineering, October Admission are limited to the Laboratory of Human Security Engineering, Integrated Master's-Doctoral Course Program of the Interdisciplinary Engineering Course Program."

VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69) for the details of Interdisciplinary Engineering.

[Advanced Engineering Course]

In the Advanced Engineering Course of the Department of Environmental Engineering, our philosophies are "solving surfaced/latent environmental problems," "securing environment to support health," "creating sustainable global and regional environment," and "creating a new environmental science." We aim to develop next-generation leaders of researchers and technicians with wide general academic abilities that can contribute to resolve the global/regional environmental problems, capabilities in problem identification/solving skills, and high levels of ethics. In this course, students will learn cutting edge research methods for environmental problems, focusing on research for dissertation from the first year. Students will learn not only engineering, but also various theories surrounding environmental problems such as medicine/sociology/economics/ethics through systematic curriculum covering entire areas of environmental engineering and science.

IX. Other

- Inquiries:
  C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University
  Entrance exam officer, Department of Environmental Engineering
  TEL: 075-383-2967

  Please see http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/ for details of the Department.

建築学専攻

2027 年 4 月期入学志願者用（第 2 次試験）

Ⅰ．志望区分

系	主要研究内容	指導教員
構 造 系	建築構造力学　構造解析学　構造安定論　建築構造最適化 構造形態創生　建築情報学　コンピュテーショナルデザイン	荒木　慶一 張　　景耀 林　　和希
	鉄筋コンクリート構造学　プレストレスト・コンクリート構造学 構造材料学　複合構造学　耐震設計学　耐火設計	谷　　昌典
	鉄骨構造学　合成構造学　高性能材料工学　空間構造計画学 溶接・接合工学　建築施工システム	聲高　裕治 稲益　博行
	建築・都市保全再生　地震工学　災害リスクマネジメント 構造デザイン論　伝統木造	杉野　未奈
	建築設計力学　構造最適設計・逆問題　システム同定　建築動力学 制振・免震構造　耐震設計法　建築地盤工学	五十子幸樹 藤田　皓平
	建築材料学　耐久設計・維持管理　非破壊・微破壊診断 反応速度論　材料力学	寺本　篤史
	地震環境工学　地盤震動論　地震ハザード解析　地震荷重論 地盤–建物系非線形応答解析	松島　信一 長嶋　史明
	建築風工学　耐風構造工学　数値流体解析　工学的意思決定論 強風災害軽減	西嶋　一欽 髙舘　祐貴
	鋼構造耐震学　極限解析学　建築防災工学	倉田　真宏
	建築安全制御学	＊
計 画 系	建築計画・設計　設計方法・プロセス論　環境行動・心理 医療福祉建築　建築情報学	三浦　　研 酒谷　粋将
	日本建築史　日本都市史	冨島　義幸 岩本　　馨
	国際建築批評学　現代建築史　現代建築論　建築設計	トーマス　ダニエル

計 画 系	建築意匠　空間設計　環境造形論	平田　晃久
	建築生産　建築プロジェクト･マネジメント　生産設計 建築経済　建築社会システム　生産管理	金多　　隆 西野佐弥香
	生活空間設計学　建築論	田路　貴浩 猪股　圭佑
	居住空間学　都市・地域計画　環境再生・共生 環境・景観設計　住居・住環境計画　居住空間の再編・再生	神吉紀世子 柳沢　　究
	人間生活環境学　建築設計　建築構法計画　建築構法技術史	小見山陽介
	災害と都市・建築　防災・復興計画論 災害建築・都市のデザイン　危機管理論	牧　　紀男
環 境 系	温熱環境制御　建築と設備の省エネルギー　文化財保存	小椋　大輔 伊庭千恵美
	人間生活環境学	＊
	都市と建築空間の温熱環境　建築火災安全工学	仁井　大策
	音環境　騒音・振動制御　建築音響　環境心理 音とコミュニケーション	大谷　　真
	都市防火　自然災害起因の大規模火災　地震火災　津波火災　都市 複合災害リスク評価　広域避難計画　レジリエンス解析	西野　智研

＊印は、指導教員が未定であることを示す。＊印の分野についての研究内容及び指導教員等に関する質問がある場合、建築学専攻長に問い合わせること。

メールでの問い合わせは kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp で受け付ける。

Ⅱ．募集人員

建築学専攻　１９名

Ⅲ．出願資格

募集要項 Part A: 全入試区分共通部分、「Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

Ⅳ．入学試験日程

入学試験は口頭試問によって行う。

日　時：2月9日（火）午前9時から開始する。午前8時50分までに桂キャンパスCクラスターC2棟1階ロビーに集合すること。

場　所：京都大学桂キャンパスC2棟

試験室、時刻等の詳細については、桂キャンパスCクラスターC2棟1階ロビーに掲示し、集合の際にも指示する。試験室には必ず受験票を持参すること。

ただし、国費またはそれと同等の奨学金により入学を希望する留学生等で、自国からオンラインでの受験を希望する者は、出願前に専攻長に相談すること。

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 試験内容

(a) 修士課程修了者は修士論文あるいはその後の研究実績について、修了見込者は修士論文あるいは試験日までの研究経過について、その他の研究経歴を有する志願者はその研究実績について説明する（10分以内）。

(b) 博士後期課程における研究計画を、3分以内で説明する。

(c) 上記(a)項およびそれに関連する分野の学識、(b)項の博士後期課程における研究計画について口頭試問を行う。

(2) 出願要領

工学研究科に提出する出願書類の他に、以下の書類を提出すること。出願書類とは提出先が異なるので注意すること。

(a) 提出書類

(a-1) 修士論文、または修士論文原稿（試験実施日までの成果）1部

(a-2) 修士論文概要、または修士課程の研究経過概要、あるいはその他の研究実績概要（A4判用紙2ページ以内。日本語または英語で書くこと。）20部

(b) 提出先・期限

提出先　：〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　Cクラスター事務区教務掛（建築系）

提出期限：2027年1月15日（金）午後5時必着

郵送の際も上記期限に必着すること。また、書留とすること。

(c) 事前コンタクト

入学後の研究内容のマッチングを行うため、出願に先立って志望する指導教員に連絡し、研究内容について相談すること。教員の連絡先は建築学専攻のホームページで確認すること。

https://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/ja

(d) 口頭試問の発表指導

志望する指導教員が口頭試問の発表指導を行う場合がある。口頭試問の発表指導は、原則として出願後から試験日の1週間前までに行う。

(3) 入学試験当日に持参すべきもの

入学試験当日には、Ⅴの（1）項の説明のために、Ⅴの(2)(a)の(a-2)項の梗概の写し、および必要に応じてⅤの(1)の(b)項のための資料、その他図表などの資料を持参すること。なお、説明においてはPCプロジェクタを使用できるが、PCは各自持参すること。また、トラブルに備えてスライドの内容を印刷したものを1部用意すること。

(4) 入学試験結果の通知

募集要項Part Aの「V 合格者発表」参照。

Ⅵ. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「建築学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。詳細については、募集要項 Part A の『XIV. 表 博士後期課程入学後の教育プログラムと志望専攻』を参照すること。また、教育プログラムの内容については、Part Aの『X. 博士後期課程入学後の教育プログラムについて』を参照すること。

○ 前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

・建築学専攻

○ 前後期連携教育プログラム（融合工学コース）

・デザイン学分野

入学後に履修を志望する教育プログラムについては、合格決定後の適切な時期に志望を調査する。合格決定後の指示に従うこと。

Ⅶ. その他

訂正や追加指示などが工学研究科または建築学専攻のホームページに掲載される場合があるので、適宜チェックすること。

＜工学研究科ホームページ内の入学試験のページ＞

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1

＜建築学専攻ホームページ内の入学試験のページ＞

https://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

問合せ先･連絡先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛（建築系）

電話： 075-383-2967

E-mail：kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp
参照　http://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/

機械理工学専攻

Ⅰ．志望区分

専攻	志望区分	研　究　内　容	前後期連携教育プログラム	
			融合工学コース*	高度工学コース
機械理工学専攻	1	**機械システム創成学**（ヒューマンマシンシステム設計、ソーシャルロボティクス、サイバネティック・アバター、システム工学）	a，f	任意の志望区分を選択できる
	2	**適応材料力学**（適応材料力学、先進材料強度学、複合材料工学、マイクロメカニクス）	a，b	
	3	**固体力学**（ナノ・マイクロ材料力学、微小材料強度学、ナノ構造体・薄膜、マルチフィジックス）	a，b	
	4	**環境熱流体工学**（環境流体力学、空気力学、大気乱流、混合・拡散、圧縮／非圧縮乱流、衝撃波）	a，c	
	5	**熱システム工学**（熱工学、エネルギー変換、反応を伴う熱・物質・電荷輸送、可視化と計測、数値解析）	a	
	6	**光工学**（分光計測学、プラズマ診断、レーザー計測）	a，b，c，d，f	
	7	**材料物性学**（材料力学、環境発電/AI/量子機械デバイスの材料機能設計、計算物理学、データサイエンス）	a，b	
	8	**熱物理工学**（熱力学、伝熱学、熱流体力学、燃焼工学、環境工学）	a，d	
	9	**機構運動工学**（乗り物、搭乗型モビリティ、ロボット用メカニズム、ヒトの動作特性、ハプティクス、ロボット操作、能力マイニング）	a，f	
	１０	**ロボティクス**（ロボット工学、制御工学、ソフトロボティクス、生物規範ロボティクス、生体力学）	a，c，f	
	１１	**機械機能要素工学**（機械機能要素工学、トライボロジー、表面・界面創成、粒状体の界面物理、電磁粒体力学、宇宙探査技術）	a，b，f	
	１２	**量子ビーム物質解析学**（量子ビーム応用、結晶・非晶質材料、高温高圧、宇宙地球物質の合成、中性子回折装置の設計）	a，b	

＊前後期連携教育プログラム（融合工学コース）の対応

a．応用力学分野　　b．物質機能・変換科学分野　　c．生命・医工融合分野

d．融合光・電子科学創成分野　　e．人間安全保障工学分野

以下の分野は、「博士課程教育リーディングプログラム」に関連する「融合工学コース５年型」の分野のため、原則として修士課程時から選択していた進学者のみが対象となる。ただし、分野によっては、所定の条件を満たせば、修士課程時の選択の有無にかかわらず、博士後期課程からの編入学が可能である。

f．デザイン学分野

※各分野の詳細は、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」 https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）参照

Ⅱ．募集人員

機械理工学専攻　９名

Ⅲ．出願資格

本募集要項「Part A: Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

Ⅳ．学力検査日程

２月９日（火）	１３：３０～ 口頭試問

※ 試験場は桂キャンパスＣクラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

（1）英語

筆記試験は行わず、TOEFL または TOEIC の成績で代用する。ただし、TOEIC のスコアが提出された場合、その TOEIC のスコアを TOEFL のスコアに換算して使用する。以下に記す方法でスコアが提出されない場合には英語の得点は 0 点となる。英語を母国語とする受験者は、スコア提出を免除することがある。不明な点は予めⅣ．（4）に問い合わせること。

TOEFL の成績：

試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEFL-iBT（Home Edition は除く）の ETS アカウント（My TOEFL Home）からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷したものを提出すること。2026 年 1 月 21 日以降実施分のスコアが提出された場合には 0-120 のスコアスケールでの素点を用いる。

TOEIC の成績：

TOEIC のスコアを提出する場合は、試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEIC L&R（Listening & Reading Test）公開テストの Official Score Certificate（公式認定証）の原本（コピー不可）を提出すること。

＜参考＞各試験に関するホームページ：

TOEFL	https://www.toefl-ibt.jp/index.html
	https://www.ets.org/toefl
TOEIC	https://www.iibc-global.org/toeic.html

（2）口頭試問

これまでの研究の内容および博士後期課程における研究計画について 15 分程度の発表の後、その内容やそれらに関連した分野の学識について口頭試問を行う。試問室にはプロジェクタが設置されている。パソコンは各自持参すること。それ以外の映像機器を使用する場合は事前に問い合わせること。受験者が研究計画を指導予定教員と打ち合わせすることを妨げない。

試験室については桂キャンパスＣクラスターC3 棟 1 階（b 棟）掲示板に 2027 年 2 月 1 日(月)より掲示する。

Ⅵ．出願要領

（1）志望区分の申請

志望する研究分野の区分番号を、「Ⅰ．志望区分」より一つ選び、インターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。本専攻出願にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。

事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と指導予定教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

(2) 入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書

※様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD）を

2027 年 1 月 14 日（木）午後 5 時までに

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（機械理工学専攻）宛に提出すること。

※出願書類とは提出・問い合わせ先が異なるので注意すること。

(3) TOEFL または TOEIC スコア

2027 年 1 月 26 日（火）午後 5 時までに

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（機械理工学専攻）宛に提出すること。

※出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

(4) 問合せ先

不明なことがあれば下記に問い合わせること。

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（機械理工学専攻）

電話 075-383-3521　E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参照：https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

本専攻の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは以下の2種類である。

(1)　博士課程前後期連携教育プログラム「融合工学コース（「Ⅰ. 志望区分」に記載の分野）」

プログラムの詳細及び各融合工学コースの内容については、工学研究科HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）を参照すること。

(2)　博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（機械理工学専攻）」

詳細は次項を参照すること。

いずれのプログラムを履修するかは、「入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD）」に基づき、受験者の志望と入試成績に応じて決定される。教育プログラムの志望にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記Ⅵ. (4) まで問い合わせること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

本専攻における博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（機械理工学専攻）」の内容は以下のとおりである。

「機械工学の対象はミクロからマクロにわたる広範囲な物理系であり、現象解析・システム設計から製品の利用・保守・廃棄・再利用を含めたライフサイクル全般にわたります。本専攻は、それらの科学技術の中核となる材料・熱・流体等に関する力学（物理）現象の解析および機械システムの設計論に関する教育・研究を行います。未知の局面において、従来の固定観念や偏見にとらわれない自由で柔軟な発想とダイナミックな行動力を有するとともに、機械工学の基礎となる幅広い学問とその要素を系統的に結びつけるシステム設計技術を融合させることができ、かつ、新しい技術分野に果敢に挑戦する、研究者・技術者群のリーダーを育成します。」

Ⅸ．その他

本専攻の教員および研究内容は下表のとおりである。

機　械　理　工　学　専　攻	
研　究　内　容	区分
機械システム創成学研究室　（塩見教授・中西講師） （1）人と機械システムの相互作用・インタラクションデザイン （2）ソーシャルロボティクス・ソーシャルタッチ・ヒューマンインタフェース （3）サイバネティック・アバターの研究開発と社会実装 （4）仮想現実感・拡張現実感・人工知能技術を活用した機械システムの研究開発 （5）物理エージェント・マルチエージェント	1
適応材料力学研究室　（西川准教授） （1）材料力学と異分野の融合による先進複合材料のメゾスケール構造制御と高性能化 （2）先進複合材料の固体力学と破壊力学 （3）航空機用高靭化複合材の破壊力学特性発現機構のメゾメカニクス （4）先進複合材構造の設計・製造と最適成形法に関する基礎科学 （5）複合材料の破壊機構解明や構造健全性評価のための理論の展開	2
固体力学研究室　（平方教授・松永助教） （1）ナノ・マイクロスケールの材料強度と材料力学 （2）電子を介した材料強度制御の基礎物理の確立 （3）ナノ構造体・二次元材料・薄膜の機械的特性および物性評価手法の開発 （4）高強度・高機能ナノ構造材料の創製 （5）力学と他の物理現象のマルチフィジックス	3
環境熱流体工学研究室　（長田教授・渡邉准教授） （1）乱流構造とエネルギー輸送現象 （2）乱流と衝撃波の干渉 （3）空気力学（翼周りの流れと揚力／抗力など） （4）高速流中の乱流現象 （5）環境内の乱流拡散現象	4
熱システム工学研究室　（岩井教授・岸本准教授・栗山准教授・郭助教） （1）熱流動場の先端計測・可視化・数値シミュレーション技術の開発究 （2）燃料電池・二次電池・触媒反応器内の輸送・反応連成現象に関する研究 （3）ナノ・マイクロ空間および界面における輸送現象の光学計測 （4）複雑３次元構造の詳細解析および機械学習に基づく機能性多孔質体の最適設計 （5）エネルギーの変換・貯蔵に関する新コンセプトの創出と検証	5
光工学研究室　（四竈准教授） （1）分光手法・レーザー計測法の開発 （2）各種プラズマの分光診断・計測 （3）金属膜プラズマ駆動水素透過の分光診断 （4）吸収・発光・散乱スペクトルを利用したセンサー開発 （5）位相制御を用いた波面補償光学	6
材料物性学研究室　（嶋田教授・見波助教） （1）材料力学・計算物理学・データ科学に基づく先端デバイス材料機能の研究開発 （2）宇宙・極限環境での材料強度デザイン （3）再生可能エネルギー応用への環境発電材料設計 （4）人工知能(AI)・量子駆動デバイスに向けた量子物質科学：“一億分の１”世界の機械へ （5）機械学習とスーパーコンピュータによるデータ駆動型材料研究技術の開発	7
熱物理工学研究室　（黒瀬教授・ピライ准教授・若林助教） （1）乱流燃焼機構の解明とモデリング （2）混相流に関する運動量・熱・物質の移動現象の解明とモデリング （3）AIを駆使した燃焼モデルと高性能コンピューティング手法の確立 （4）スーパーコンピュータを用いた超大規模数値シミュレーションの実現 （5）電源用ガスタービンやロケット・航空機等エンジンの最適設計に関する研究	8

研　究　内　容	区分
機構運動工学研究室　（小森教授・寺川准教授・アマル講師） （1）ビークル／乗り物、搭乗型ロボット、搭乗型モビリティ、ライディングロボティクス （2）ロボット用メカニズム(機構)の開発・設計、移動ロボット、自動車用メカニズム （3）ヒトの動作特性の不思議を知る、ハプティクス(触覚・力覚)、ロボット操作、インタフェース開発 （4）ヒトの未知の能力を発見する、能力マイニング、足・脚による操作 （5）動きとアート／デザイン	9
ロボティクス研究室　（細田教授・川節准教授） （1）人工筋駆動ロボットによるマニピュレーション （2）イオンゲル・イオン流体を用いたソフトセンサ （3）ソフトハンドによる物体の識別とマニピュレーション （4）インソールセンサの開発と応用 （5）生物規範ロボット	１０
機械機能要素工学研究室　（平山教授・安達准教授） （1）機械要素の高効率化・高機能化に向けた最適設計指針の提示 （2）低摩擦摺動を可能とする材料／潤滑油／摺動面形状の開発と評価 （3）ナノ／メゾ／マクロを繋ぐ表面・界面のトライボロジー特性計測 （4）粒状体界面現象の解明と制御を目指した機器表面設計指針の構築 （5）電磁粒体力学と粒状体ハンドリングおよび月・火星探査技術への応用	１１
量子ビーム物質解析学研究室（複合原子力科学研究所）　（奥地教授・有馬准教授・梅田助教） （1）中性子線・X線・電子線による物質材料の構造解析技術の研究開発 （2）高温高圧力環境における物質材料の合成とマルチスケールでの構造解析 （3）宇宙空間・地球深部に存在する結晶・非晶質物質の人工合成と解析 （4）高温・高圧力・高ひずみ状態の発生・制御・時間進展計測技術の研究開発 （5）中性子回折装置の設計と工学利用の研究	１２

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Mechanical Engineering and Science

I. Research Area Preference

Department	Preferred Research Area	Research Subjects	Postgraduate Integrated Course Program	
			Interdisciplinary Engineering Course*	Advanced Engineering Course
Department of Mechanical Engineering and Science	1	Mechanical Systems Design (Human-machine system design, social robotics, cybernetic avatar, and system engineering)	a, f	Applicants can select any of these research areas.
	2	Mechanics of Adaptive Materials and Structures (Mechanics of adaptive materials and structures, strength of advanced materials, composite materials engineering, and micromechanics)	a, b	
	3	Solid Mechanics (Strength and mechanics of nano/micro materials, creep-fatigue, nanostructures and thin films, and multiphysics)	a, b	
	4	Environmental Fluids and Thermal Engineering (Fluid Dynamics, aerodynamics, turbulence, shockwave, and wind-tunnel experiments)	a, c	
	5	Thermal System Engineering (Thermal engineering, energy conversion, heat-, mass- and charge-transfer with reactions, visualization and measurement, and numerical analysis)	a	
	6	Optical Engineering (Spectrometry, plasma diagnostics, and laser measurement)	a, b, c, d, f	
	7	Materials Science (Mechanics of materials, functional design for energy harvesting/AI/quantum device materials, computational physics, and data science)	a, b	
	8	Thermal Science and Engineering (Thermodynamics, heat transfer engineering, thermal fluid dynamics, combustion engineering, and environmental engineering)	a, d	
	9	Mechanism and Motion Engineering (Vehicles, manned mobilities, robot mechanism, human motion characteristics, haptics, robot operation/manipulation, and ability mining)	a, f	
	10	Robotics (Robotics, control engineering, soft robotics, bio-inspired robotics, and biomechanics)	a, c, f	
	11	Machine Element and Functional Device Engineering (Machine elements, optimum design, tribology, surface modification, granular interfacial physics, electromagnetic granular dynamics, and space exploration applications)	a, b, f	
	12	Quantum Beam Materiallography (Quantum-beam application engineering, crystalline and amorphous materials, high pressure and temperature, synthesis of cosmic and earth materials, and design of neutron diffraction instruments)	a, b	

* Corresponding educational program for the Interdisciplinary Engineering Course:

a. Applied Mechanics b. Materials Engineering and Chemistry c. Engineering for Life Science and Medicine

d. Interdisciplinary Photonics and Electronics e. Human Security Engineering

For the following educational programs, as a general rule, only students who selected them for their master's program are eligible for selecting them when they proceed to their doctoral program because these educational programs are under our "5-Year Interdisciplinary Engineering Course" relevant to the "Program for Leading Graduate Schools." However, provided that prescribed

requirements are met, depending on their field of study, transferring applicants may be accepted into these educational programs regardless of the course they selected for their master's program.

f. Design Science

* The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described in our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69).

II. Enrollment Capacity

Mechanical Engineering and Science:9

III. Eligibility requirements for applicants

Please refer to “Part A: II-i. Eligibility” of this guideline.

IV. Examination Schedule

Tuesday, February 9	1:30 PM– Oral examination

*The examination room is located in the C Cluster on the Katsura Campus. Details will be notified when sending an examination voucher.

V. Details of Entrance Examinations

(1) English:

We accept either TOEFL or TOEIC score, conducted within two years prior to the date of this examination. TOEIC score is converted to TOEFL score. If the score is not submitted properly, English score will be zero. Applicants whose native language is English may be considered for exemption from submitting the score. If you have any questions or concerns, please contact **VI.**(4).

The scores must be either (1) a printed copy of the TOEFL iBT Test Taker Score Report downloaded from your ETS account (My TOEFL Home) or (2) TOEIC L&R (Listening & Reading Test） Official Score Certificate (original). Note that scores of TOEFL-iBT Home Edition are not accepted.

(2) Oral examination:

Applicants will first give a presentation (for about 15 minutes) on research they have worked on and future research plans for their doctoral program and will be asked about their presentation and academic knowledge in related fields. The examination room is equipped with a projector. Applicants must bring their own computers. If you need any other video equipment for your presentation, please contact us beforehand.

It does not prevent applicants from receiving guidance for the presentation of the research plan from the prospective supervisor.

The location of the examination room will be posted on the bulletin board located on the first floor of C3 Building (Tower b) in the C Cluster of the Katsura Campus for a period from Monday, February 1 , 2027.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Indicating your research area preference:

Applicants must select one research area from “I. Research Area Preference” and indicate their selected research area on the preference entry screen of our Internet application system. Before applying for this department, applicants must contact a prospective supervisor for their preferred research area in advance.

In advance contact, the prospective supervisor will determine whether the study and research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the prospective supervisor. Furthermore, in order to facilitate studying and research activities after admission to the doctoral program, the research plan will be clarified before application through discussions between applicants and the prospective supervisor.

(2) Course Preference Survey:

*Please download the form from the website of the Graduate School of Engineering.

Applicants must submit their Course Preference Survey (Form MD) to the following address by no later than 5:00

PM on Thursday, January 14, 2027:

Educational Affairs (Department of Mechanical Engineering and Science), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
*Please note that the address and contact for general inquiries for submitting these documents are different from those for your Application Form for Admission.

(3) TOEFL or TOEIC score:
Applicants must submit their TOEFL or TOEIC score to the following address by no later than 5:00 PM on Tuesday, January 26, 2027:

Educational Affairs (Department of Mechanical Engineering and Science), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
*Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting TOEFL/TOEIC score are different from those for your Application Form for Admission.

(4) Contact for general inquires:
If you have any questions or concerns, please contact the following:
Educational Affairs (Department of Mechanical Engineering and Science), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
Phone: +81 75-383-3521 E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Reference: https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/en/admission/exam

VII. Selecting your course after enrollment

Successful applicants who passed the entrance examination for this department can pursue the two following courses after enrollment.

(1) Integrated Master's-Doctoral Program - Interdisciplinary Engineering Course
(educational programs listed in "I. Research Area Preference")
The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described in our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69).

(2) Integrated Master's-Doctoral Program - Advanced Engineering Course
(Department of Mechanical Engineering and Science)
For details, please refer to the following section.

Successful applicants' course assignment is determined based on their examination results and preference as indicated in the "Course Preference Survey Form (Form MD)." Before applying for this course, applicants must contact the prospective supervisor for their preferred research area in advance. If you are not sure who your supervisor is or have any other questions, please contact us at the contact information provided in Section VI. (4) above.

VIII. Course details

This department offers the following in our "Advanced Engineering Course (Department of Mechanical Engineering and Science)" under the Integrated Master's-Doctoral Program.

"Mechanical engineering deals with a wide range of physical systems from microscopic to macroscopic, covering products' entire lifecycle from phenomenon analysis and system design to their usage, maintenance, disposal, and recycling. This Department offers education and research in the field of mechanical (physical) analysis of material, heat, and fluid and the design of mechanical systems, which are at the core of science and technology. We nurture leading researchers and engineers who, in the face of unknown situations, can think freely and flexibly outside the box, have the ability to actively take actions, are capable of integrating their broad range of academic knowledge that serves as the foundation of mechanical engineering and system design technologies that systematically unite various elements of such knowledge, and are willing to outface new fields of technology."

IX. Other

Listed below are this department's faculty members and their respective research areas.

Department of Mechanical Engineering and Science	
Research Descriptions	Area number
Mechanical Systems Design (Professor Shiomi and Junior Assistant Professor Nakanishi) (1) Human-machine interaction and interaction design (2) Social robotics, social touch, and human interface (3) Development and social implementation of cybernetic avatars (4) Development of mechanical systems using virtual reality, augmented reality, and artificial intelligence technologies (5) Physical agents and multi-agent systems	1
Mechanics of Adaptive Materials and Structures (Associate Professor Nishikawa) (1) Research on high-performance advanced composite materials with controlled mesoscale structures through interdisciplinary efforts between mechanics of materials and other fields of research (2) Solid mechanics and fracture mechanics of advanced composite materials (3) Mesoscale mechanism of fracture mechanics characteristics for toughened composite materials for aircrafts (4) Fundamental science on optimal design and manufacturing methods for advanced composite material structures (5) Development of the theory to better understand fracture mechanisms and assess structural integrity for composite materials	2
Solid Mechanics (Professor Hirakata and Assistant Professor Matsunaga) (1) Material strength and mechanics at the nano- and micro-scales (2) Fundamental physics for controlling material strength via electrons (3) Development of methods for evaluating the mechanical properties and physical characteristics of nanostructures, two-dimensional materials, and thin films (4) Creation of high-strength, high-functionality nanostructured materials (5) Multiphysics integration of mechanics with other physical phenomena	3
Environmental Fluids and Thermal Engineering (Professor Nagata and Associate Professor Watanabe) (1) Turbulent structure and energy transfer mechanism (2) Turbulence/shockwave interactions (3) Aerodynamics (e.g., a flow around an airfoil and lift/drag forces) (4) High-speed turbulent flows (5) Turbulent diffusion in the environment	4
Thermal System Engineering (Professor Iwai, Associate Professor Kishimoto, Associate Professor Kuriyama, and Assistant Professor Guo) (1) Advanced measurement, visualization, and numerical simulation techniques for thermo-fluid fields (2) Coupled transport and reaction phenomena in fuel cells, batteries, and catalytic reactors (3) Optical measurements of transport phenomena in nano- and micro-scale spaces and at interfaces (4) Optimal structure designing of functional porous materials based on three-dimensional structure analysis and machine learning (5) Creation and validation of new concepts for energy conversion and storage	5
Optical Engineering (Associate Professor Shikama) (1) Development of spectroscopic and laser measurement methods (2) Plasma spectroscopy and measurements (3) Spectroscopic diagnosis of plasma driven hydrogen permeation through metal membranes (4) Development of sensors using light absorption, emission, and scattering spectra (5) Adaptive optics based on phase control	6
Materials Science (Professor Shimada and Assistant Professor Minami) (1) Mechanics, computational physics, and data science of advanced materials (2) Strength of materials in space/extreme environments (3) Energy harvesting materials for renewable energy applications (4) Quantum materials science for AI and quantum device technologies: Quantum machine (5) Data-driven materials research using supercomputers and machine learning	7

Research Descriptions	Area number
Thermal Science and Engineering (Professor Kurose, Associate Professor Pillai, and Assistant Professor Wakabayashi) (1) Elucidation and modeling of turbulent combustion mechanisms (2) Elucidation and modeling of momentum, heat, and mass transfer phenomena in multiphase flows (3) Development of combustion models and high-performance computing (HPC) methods utilizing AI (4) Realization of extreme-scale numerical simulations using supercomputers (5) Research on optimal design of power-generation gas turbines and engines for rockets and aircraft	8
Mechanism and Motion Engineering (Professor Komori, Associate Professor Terakawa, and Junior Associate Professor Amar) (1) Vehicles, manned robots, manned mobilities, and riding robotics (2) Development and design of robotic mechanisms, mobile robots, and automotive mechanisms (3) Human motion characteristics, haptics, robot operation/manipulation, and interface development (4) Unknown human abilities, ability mining, and foot/leg control (5) Motion and art/design	9
Robotics (Professor Hosoda and Junior Associate Professor Kawasetsu) (1) Manipulation by artificial muscle driven robots (2) Ion-gel/ion-liquid based soft sensors (3) Object categorization and manipulation by soft robotic hand (4) Soft insole sensor: development and application (5) Bio-inspired robots	10
Machine Element and Functional Device Engineering (Professor Hirayama and Associate Professor Adachi) (1) Optimum design of machine elements for high performance and multi-function (2) Development and evaluation of materials/lubricants/surface shapes for friction reduction (3) Measurement of tribological performance of surfaces and interfaces on nano/meso/macro scales (4) Granular interfacial phenomena for advanced machine surface design (5) Electromagnetic granular dynamics and powder handling applications for lunar and Martian exploration	11
Quantum Beam Materiallography (Institute for Integrated Radiation and Nuclear Science) (Professor Okuchi, Associate Professor Arima, and Assistant Professor Umeda) (1) Research on structural analysis schemes for engineering materials by neutron, X-ray, and electron beams (2) Synthesis of crystalline and amorphous materials in high-pressure and high-temperature environments (3) Synthesis and analysis of crystalline and amorphous materials occurring in cosmic and deep-Earth environments (4) Generation, control, and time evolution measurements of high pressure, high temperature, and high strain states (5) Research on the instrumental design of neutron diffraction and its engineering applications	12

マイクロエンジニアリング専攻

Ⅰ．志望区分

専攻	志望区分	研　究　内　容	前後期連携教育プログラム	
			融合工学コース*	高度工学コース
マイクロエンジニアリング専攻	1	**構造材料強度学**（最適システム設計、生産システム、コンピュータ援用設計・生産・解析）	a，f	任意の志望区分を選択できる
	2	**マイクロバイオシステム**（生体模倣システム、機械学習、ナノ・マイクロ加工、マイクロ流体力学、細胞・分子生物学）	a，c，f	
	3	**ナノ・マイクロシステム工学**（ナノ・マイクロシステム、半導体微細加工・デバイス、センサ、アクチュエータ、ナノ構造物理）	a，c，f	
	4	**ナノ物性工学**（量子ビーム工学、表面・界面物性）	a，b	
	5	**生命数理科学**（複雑適応システム、アクティブマター、生物物理学、計算力学）	a，b，c	
	6	**マイクロ加工システム**（ナノ形態制御、ナノ粒子、ナノワイヤ、光機能デバイス、マイクロ熱流体工学）	a，b，d	
	7	**精密計測加工学**（計測工学、精密加工学、加工の知能化、制御理論応用）	a，f	
	8	**バイオメカニクス**（生体組織・細胞力学、メカノバイオロジー、計算力学、分子力学計測）	a，c，f	
	9	**ナノ生物工学**（バイオエンジニアリング、マイクロ流体工学、1 細胞生物学、オミクス、遺伝子制御）	a，c	

＊前後期連携教育プログラム（融合工学コース）の対応

a．応用力学分野　　b．物質機能・変換科学分野　　c．生命・医工融合分野

d．融合光・電子科学創成分野　　e．人間安全保障工学分野

以下の分野は、「博士課程教育リーディングプログラム」に関連する「融合工学コース 5 年型」の分野のため、原則として修士課程時から選択していた進学者のみが対象となる。ただし、分野によっては、所定の条件を満たせば、修士課程時の選択の有無にかかわらず、博士後期課程からの編入学が可能である。

f．デザイン学分野

※各分野の詳細は、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」 https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）参照

Ⅱ．募集人員

マイクロエンジニアリング専攻　　若干名

Ⅲ．出願資格

本募集要項「Part A: Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

Ⅳ．学力検査日程

２月９日（火）	１３：３０～ 口頭試問

※ 試験場は桂キャンパスＣクラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

（1）英語

筆記試験は行わず、TOEFL または TOEIC の成績で代用する。ただし、TOEIC のスコアが提出された場合、その TOEIC のスコアを TOEFL のスコアに換算して使用する。以下に記す方法でスコアが提出されない場合には英語の得点は 0 点となる。英語を母国語とする受験者は、スコア提出を免除することがある。不明な点は予めⅣ．（4）に問い合わせること。

TOEFL の成績：

試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEFL-iBT（Home Edition は除く）の ETS アカウント（My TOEFL Home）からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷したものを提出すること。2026 年 1 月 21 日以降実施分のスコアが提出された場合には 0-120 のスコアスケールでの素点を用いる。

TOEIC の成績：

TOEIC のスコアを提出する場合は、試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEIC L&R（Listening & Reading Test）公開テストの Official Score Certificate（公式認定証）の原本（コピー不可）を提出すること。

＜参考＞各試験に関するホームページ：

TOEFL	https://www.toefl-ibt.jp/index.html
	https://www.ets.org/toefl
TOEIC	https://www.iibc-global.org/toeic.html

（2）口頭試問

これまでの研究の内容および博士後期課程における研究計画について 15 分程度の発表の後、その内容やそれらに関連した分野の学識について口頭試問を行う。試問室にはプロジェクタが設置されている。パソコンは各自持参すること。それ以外の映像機器を使用する場合は事前に問い合わせること。受験者が研究計画を指導予定教員と打ち合わせすることを妨げない。

試験室については桂キャンパスＣクラスターC3 棟 1 階（b 棟）掲示板に 2027 年 2 月 1 日(月)より掲示する。

Ⅵ．出願要領

（1）志望区分の申請

志望する研究分野の区分番号を、「Ⅰ．志望区分」より一つ選び、インターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。本専攻出願にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。

事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と指導予定教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

(2) 入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書

※様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD）を

2027 年 1 月 14 日（木）午後 5 時までに

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（マイクロエンジニアリング専攻）宛に提出すること。

※出願書類とは提出・問い合わせ先が異なるので注意すること。

(3) TOEFL または TOEIC スコア

2027 年 1 月 26 日（火）午後 5 時までに

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（マイクロエンジニアリング専攻）宛に提出すること。

※出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

(4) 問合せ先

不明なことがあれば下記に問い合わせること。

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（マイクロエンジニアリング専攻）

電話 075-383-3521　　E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参照：https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

本専攻の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは以下の2種類である。

(1)　博士課程前後期連携教育プログラム「融合工学コース（「Ⅰ. 志望区分」に記載の分野)」
プログラムの詳細及び各融合工学コースの内容については、工学研究科HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）を参照すること。

(2)　博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（マイクロエンジニアリング専攻)」
詳細は次項を参照すること。

いずれのプログラムを履修するかは、「入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD)」に基づき、受験者の志望と入試成績に応じて決定される。教育プログラムの志望にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記Ⅵ. (4) まで問い合わせること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

本専攻における博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（マイクロエンジニアリング専攻)」の内容は以下のとおりである。

「微小な機械システムは21世紀における人間社会・生活に大きな変革をもたらす原動力です。また、生体は最精密な微小機械の集合です。本専攻は、それらのシステム開発の基礎となる微小領域特有の物理現象の研究をはじめ、微小機械に特有の設計・制御論に関する研究・教育を行います。ナノ・マイクロエンジニアリングのみならず医学・生命科学分野をはじめとする多くの分野に関連することから、本専攻では、機械工学を取り巻く異分野との融合領域における研究者・技術者を育成します。」

Ⅸ. その他

本専攻の教員および研究内容は下表のとおりである。

マ イ ク ロ エ ン ジ ニ ア リ ン グ 専 攻	
研　究　内　容	区分
構造材料強度学研究室　（泉井教授・林講師・石田助教） （1）複合領域および複合物理問題の最適システム設計 （2）形状・トポロジー最適化 （3）機械製品・生産システムの構想設計法 （4）ユニバーサルデザイン （5）サステナブルエンジニアリング	1
マイクロバイオシステム研究室　（横川教授・藤本准教授・松本助教） （1）生体分子・細胞計測のためのマイクロ・ナノシステムの設計と加工に関する研究 （2）オンチップ血管網を用いた腫瘍微小環境形成過程の再現と解明 （3）ヒトiPS細胞由来オルガノイドを用いた脳・腎臓の臓器モデル創製と創薬応用 （4）ウイルス感染モデルを用いた組織間相互作用の解明 （5）機械学習を用いた血管網をはじめとする3次元培養組織の形態および形成過程の解明	2
ナノ・マイクロシステム工学研究室　（土屋教授・廣谷准教授・霜降助教） （1）ナノ・マイクロスケールの材料創成・加工・プロセス・デバイス・システム （2）マイクロセンサ・アクチュエータ（慣性センサ、共振子、光学素子） （3）ナノ・マイクロスケールにおけるエネルギー輸送・変換の計測と制御 （4）ナノ・マイクロ機械デバイスを用いた機械学習システム （5）IoTや生体情報計測のためのフレキシブル・ストレッチャブルデバイス	3
ナノ物性工学研究室　（中嶋准教授） （1）量子ビームと固体表面の相互作用に関する研究 （2）高分解能イオン散乱分光法の開発と応用に関する研究 （3）高速クラスターイオンと物質の相互作用およびその応用に関する研究 （4）透過型二次イオン質量分析を用いた新しいイメージング質量分析法の開発 （5）高速重イオンを用いた高感度二次イオン質量分析法の開発	4
生命数理科学研究室　（井上教授・瀬波講師・森川助教） （1）生きものらしさが現れるダイナミクスの解明 （2）複雑適応システムの構造と発展の理論 （3）生命システムの制御機構の解明 （4）生物の形態形成の数理モデリングと工学応用 （5）生物の潜在的な適応戦略の解明と工学応用	5
マイクロ加工システム研究室　（名村准教授） （1）物理的な自己組織化法によるナノ形態の制御に関する研究 （2）形態を制御したナノ粒子・ナノワイヤの形成と応用に関する研究 （3）ナノ形態を制御した多層膜による光機能性の創出とその応用に関する研究 （4）ナノ形態制御表面を利用したふく射・吸収の制御に関する研究 （5）光熱変換薄膜を利用したマイクロ熱流体現象に関する研究	6
精密計測加工学研究室　（河野准教授） （1）工作機械の運動誤差の計測と補正 （2）サステナブルな計測・加工システムの開発 （3）切削加工プロセスのモデル化とデザイン （4）工作機械の動的・熱的モデルの構築とその応用 （5）Additive Manufacturingの生産加工プロセスへの応用	7
バイオメカニクス研究室（医生物学研究所）（安達教授・牧准教授・竹田助教） （1）力学環境に応じた生体システムの構造･機能適応のメカニズム （2）多細胞組織の発生・形態形成の多階層力学モデリングとシミュレーション （3）骨細胞の力刺激感知と細胞間コミュニケーションによる骨リモデリング （4）ゲノム DNA の力学動態を介した細胞運命決定メカニズム （5）細胞内構造の力学制御に基づくマイクロ・ナノマシナリー創製	8

研　究　内　容	区分
ナノ生物工学研究室（医生物学研究所）（新宅教授・金子助教・峯岸助教） （1）1細胞生物学のためのナノ・マイクロ流体工学 （2）細胞力学と遺伝子制御 （3）細胞動態と遺伝子発現の時系列計測による遺伝子制御ネットワーク解析 （4）細胞周辺微小環境のin vitro再構築のためのナノ・マイクロ工学 （5）細胞動態と遺伝子発現制御を接続する機械学習プラットフォームの構築	9

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Micro Engineering

I. Research Area Preference

Department	Preferred Research Area	Research Subjects	Integrated Master's-Doctoral Course Program	
			Interdisciplinary Engineering Course*	Advanced Engineering Course
Department of Micro Engineering	1	Strength of Materials and Structures (Optimal system design, production system, and computer-aided design/production/analysis)	a, f	Applicants can select any of these research areas.
	2	Micro Biosystems (Microphysiological systems (MPS), machine learning, nano/micro fabrications, microfluidics, and cell and molecular biology)	a, c, f	
	3	Nano/Micro System Engineering (Nano/micro-system, semiconductor microfabrication and device, sensor, actuator, and nanostructure physics)	a, c, f	
	4	Nanomaterials Engineering (Quantum beam engineering and surface/interface properties)	a, b	
	5	Life and Mathematical Sciences (Complex adaptive systems, active matters, biophysics, and computational mechanics)	a, b, c	
	6	Micro Process Engineering (Nanostructure control, nanoparticles, nanowires, optical functional devices, and thermal microfluidics)	a, b, d	
	7	Precision Measurement and Machining (Instrumentation engineering, precision machining, intelligent processing, and control theory applications)	a, f	
	8	Biomechanics (Biological tissue and cellular mechanics, mechanobiology, computational mechanics, and molecular mechanical measurement)	a, c, f	
	9	Nano Bioengineering (Bioengineering, microfluidics, single-cell biology, omics, and gene regulation)	a, c	

* Corresponding educational programs for the Interdisciplinary Engineering Course:

a. Applied Mechanics b. Materials Engineering and Chemistry c. Engineering for Life Science and Medicine

d. Interdisciplinary Photonics and Electronics e. Human Security Engineering

For the following educational programs, as a general rule, only students who selected them for their master's program are eligible for selecting them when they proceed to their doctoral program because these educational programs are under our "5-Year Interdisciplinary Engineering Course" relevant to the "Program for Leading Graduate Schools." However, provided that prescribed requirements are met, depending on their field of study, transferring applicants may be accepted into these educational programs regardless of the course they selected for their master's program.

f. Design Science

* The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described in our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69).

II. Enrollment Capacity

Department of Micro Engineering: A few

III. Eligibility requirements for applicants

Please refer to “Part A: II-i. Eligibility” of this guideline.

IV. Examination Schedule

Tuesday, February 9	1:30 PM– Oral examination

*The examination room is located in the C Cluster on the Katsura Campus. Details will be notified when sending an examination voucher.

V. Details of Entrance Examinations

(1) English:

We accept either TOEFL or TOEIC score, conducted within two years prior to the date of this examination. TOEIC score is converted to TOEFL score. If the score is not submitted properly, English score will be zero. Applicants whose native language is English may be considered for exemption from submitting the score. If you have any questions or concerns, please contact **VI.**(4).

The scores must be either (1) a printed copy of the TOEFL iBT Test Taker Score Report downloaded from your ETS account (My TOEFL Home) or (2) TOEIC L&R (Listening & Reading Test） Official Score Certificate (original). Note that scores of TOEFL-iBT Home Edition are not accepted.

(2) Oral examination:

Applicants will first give a presentation (for about 15 minutes) on research they have worked on and future research plans for their doctoral program and will be asked about their presentation and academic knowledge in related fields. The examination room is equipped with a projector. Applicants must bring their own computers. If you need any other video equipment for your presentation, please contact us beforehand.

It does not prevent applicants from receiving guidance for the presentation of the research plan from the prospective supervisor.

The location of the examination room will be posted on the bulletin board located on the first floor of C3 Building (Tower b) in the C Cluster of the Katsura Campus for a period from Monday, February 1, 2027.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Indicating your research area preference:

Applicants must select one research area from “I. Research Area Preference” and indicate their selected research area on the preference entry screen of our Internet application system. Before applying for this department, applicants must contact a prospective supervisor for their preferred research area in advance.

In advance contact, the prospective supervisor will determine whether the study and research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the prospective supervisor. Furthermore, in order to facilitate studying and research activities after admission to the doctoral program, the research plan will be clarified before application through discussions between applicants and the prospective supervisor.

(2) Course Preference Survey:

*Please download the form from the website of the Graduate School of Engineering.

Applicants must submit their Course Preference Survey (Form MD) to the following address by no later than 5:00 PM on Thursday, January 14, 2027:

Educational Affairs (Department of Micro Engineering), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540

*Please note that the address and contact for general inquiries for submitting these documents are different from those for your Application Form for Admission.

(3) TOEFL or TOEIC score:
Applicants must submit their TOEFL or TOEIC score to the following address by no later than 5:00 PM on Tuesday, January 26, 2027:

Educational Affairs (Department of Micro Engineering), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
*Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting TOEFL/TOEIC score are different from those for your Application Form for Admission.

(4) Contact for general inquires:
If you have any questions or concerns, please contact the following:
Educational Affairs (Department of Micro Engineering), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
Phone: +81 75-383-3521 E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Reference: https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/en/admission/exam

VII. Selecting your course after enrollment

Successful applicants who passed the entrance examination for this department can pursue the two following courses after enrollment.

(1) Integrated Master's-Doctoral Program - Interdisciplinary Engineering Course
(educational programs listed in "I. Research Area Preference")
The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described in our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69).

(2) Integrated Master's-Doctoral Program - Advanced Engineering Course
(Department of Micro Engineering)
For details, please refer to the following section.

Successful applicants' course assignment is determined based on their examination results and preference as indicated in the "Course Preference Survey Form (Form MD)." Before applying for this course, applicants must contact the prospective supervisor for their preferred research area in advance. If you are not sure who your supervisor is or have any other questions, please contact us at the contact information provided in Section VI. (4) above.

VIII. Course details

This department offers the following in our "Advanced Engineering Course (Department of Micro Engineering)" under the Integrated Master's-Doctoral Program.

"Micromechanical systems are the driving force of a major transformation in human society and our lives in the 21st century. And organisms are a collection of highest-precision micro machines. This Department offers education and research in the field of design and control theories unique to micro machines, including researches into physical phenomena specific to minute regions that serve as the foundation for developing the above mentioned systems. As this involves not only nano/micro engineering but also many other fields, including medicine and life science, we nurture researchers and engineers specializing in interdisciplinary areas with other fields of study surrounding mechanical engineering."

IX. Other

Listed below are this department's faculty members and their respective research areas.

Department of Micro Engineering	
Research Descriptions	Area number
Strength of Materials and Structures (Professor Izui, Junior Associate Professor Lim, and Assistant Professor Ishida) (1) Optimal system design methodology for multi-disciplinary and multi-physics problems (2) Shape and topology optimization (3) Conceptual design methodology for mechanical products and manufacturing systems (4) Universal design (5) Sustainable engineering	1
Micro Biosystems (Professor Yokokawa, Associate Professor Fujimoto, and Assistant Professor Matsumoto) (1) Design and fabrication of micro/nano systems for biomolecules and cells (2) Development of in vitro tumor micro-environment model for understanding of their formation process (3) Brain and kidney-on-a-chip using human iPS cell-derived organoids and their application to drug discovery (4) Development of in vitro virus infection model to understand inter-tissue interactions (5) Machine learning for understanding morphologies and development of 3D cultured tissue such as vascular network	2
Nano/Micro System Engineering (Professor Tsuchiya, Associate Professor Hirotani, and Assistant Professor Shimofuri) (1) Nano/micro scale material, fabrication process, device and system (2) Micro sensors and actuators (Inertia sensors, resonators and optical devices) (3) Measurement and control of energy carrier transport and conversion in nano/microscale (4) Machine learning system using nano/micro mechanical devices (5) Flexible and stretchable device for IoT and biological information measurement	3
Nanomaterials Engineering (Associate Professor Nakajima) (1) Researches into interactions of quantum beams with solid surfaces (2) Researches into development and application of high-resolution ion scattering spectroscopy (3) Researches into interactions and application of fast cluster ions and materials (4) Development of a novel imaging mass spectrometry using transmission secondary ion spectrometry (5) Development of sensitive secondary ion mass spectrometry with energetic heavy ions	4
Life and Mathematical Sciences (Professor Inoue, Junior Associate Professor Senami, and Assistant Professor Morikawa) (1) Emergent dynamics of life systems (2) Structure and evolution of complex adaptive systems (3) Regulatory mechanism of living systems (4) Mathematical modeling of morphogenesis and its engineering application (5) Elucidation of latent adaptive strategies in organisms and its engineering application	5
Micro Process Engineering (Associate Professor Namura) (1) Researches into nanostructure control using physical self-organization methods (2) Researches into formation and application of structure-controlled nanoparticles and nanowires (3) Researches into creation and application of optical functionalities using nanostructure-controlled multilayer films (4) Researches into control of radiation and absorption using nanostructure-controlled surfaces (5) Researches into thermal microfluidic phenomena using photothermal converting thin films	6
Precision Measurement and Machining (Associate Professor Kono) (1) Measurement and compensation of motion errors in machine tools (2) Development of sustainable measurement and machining systems (3) Modeling and design of cutting and machining processes (4) Dynamic and thermal models of machine tools (5) Application of additive manufacturing processes	7
Biomechanics (Institute for Life and Medical Sciences) (Professor Adachi, Associate Professor Maki, and Assistant Professor Takeda) (1) Functional adaptation of living systems in response to mechanical environment (2) Multiscale modeling and simulation of multicellular tissue development and morphogenesis (3) Mechanosensing and intercellular communication of osteocytes in bone adaptive remodeling (4) Structural-functional dynamics of genomic DNA in cell fate determination (5) Biomechanical regulation of cellular components to engineer micro-nano machineries	8

Research Descriptions	Area number
Nano Bioengineering (Institute for Life and Medical Sciences) (Professor Shintaku, Assistant Professor Kaneko, and Assistant Professor Minegishi) (1) Nano/microfluidics for single-cell biology (2) Gene regulation on cellular mechanics (3) Temporal measurement of cellular dynamics and gene expressions to interrogate the gene regulatory network (4) Nano/micro-bioengineering to recapitulate a cellular micro-environment (5) Machine learning to uncover the interconnection between cellular dynamics and gene regulation	9

航空宇宙工学専攻

Ⅰ．志望区分

専攻	志望区分	研　究　内　容	前後期連携教育プログラム	
			融合工学コース*	高度工学コース
航空宇宙工学専攻	1	**航空宇宙力学**（航空宇宙システム、力学・制御・設計、運動知能、羽ばたき飛翔、宇宙ロボティクス）	a，f	任意の志望区分を選択できる
	2	**流体数理学**（非平衡流体力学、希薄気体力学）	a	
	3	**推進工学**（電離気体・反応性気体工学、プラズマ理工学、プラズマプロセス工学、宇宙推進工学）	a，b	
	4	**制御工学**（システム制御理論、最適制御、非線形制御、システム同定、統計的学習、航空宇宙システム）	a，f	
	5	**機能構造力学**（弾性波動、非破壊評価工学、複合材料・構造、動的破壊力学）	a	

＊前後期連携教育プログラム（融合工学コース）の対応

a．応用力学分野

b．物質機能・変換科学分野　　c．生命・医工融合分野

d．融合光・電子科学創成分野　e．人間安全保障工学分野

以下の分野は、「博士課程教育リーディングプログラム」に関連する「融合工学コース 5 年型」の分野のため、原則として修士課程時から選択していた進学者のみが対象となる。ただし、分野によっては、所定の条件を満たせば、修士課程時の選択の有無にかかわらず、博士後期課程からの編入学が可能である。

f．デザイン学分野

※各分野の詳細は、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）参照

Ⅱ．募集人員

航空宇宙工学専攻　　６名

Ⅲ．出願資格

本募集要項 Part A: 全入試区分共通部分「Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

Ⅳ．学力検査日程

２月９日（火）	９：００～１１：００ 専門科目	１３：３０～ 口頭試問

試験場は桂キャンパス C クラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 英語

筆記試験は行わず、TOEFL または TOEIC の成績で代用する。以下に記す方法でスコアが提出されない場合には英語の得点は 0 点となる。なお、英語を母国語とする受験者は、スコア提出を免除することがある。また、本学工学研究科機械工学群修士課程の修了（見込み）者で成績が優秀な者（修士課程の成績表において単位を取得した科目の平均点が 80 点以上である場合を目安とする。なお成績が段階評価されている場合は、各段階の素点の範囲の中央値を評点とみなして計算するものとし、合否だけが示されている科目は計算から除外する。）に対しては、英語のスコア提出を免除することがある。免除を受けようとする場合および不明な点がある場合には、予め下記のⅥ. (6)に詳細を問い合わせること。

TOEFL の成績：

試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEFL-iBT（Home Edition は除く）の ETS アカウント（My TOEFL Home）からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷したものを提出すること。2026 年 1 月 21 日以降実施分のスコアが提出された場合には 0-120 のスコアスケールでの素点を用いる。

TOEIC の成績：

試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEIC L&R（Listening & Reading Test）公開テストの Official Score Certificate（公式認定証）の原本（コピー不可）を提出すること。

＜参考＞各試験に関するホームページ：

TOEFL	https://www.toefl-ibt.jp/index.html
	https://www.ets.org/toefl
TOEIC	https://www.iibc-global.org/toeic.html

(2) 専門科目

志望する研究分野（区分）について「Ⅰ．志望区分」に記載している研究内容に関連する基礎的事項から 3 問程度を出題する。なお、出願が受理された後に出題範囲等について専攻から連絡する。また、本学工学研究科機械工学群修士課程の修了（見込み）者で成績が優秀な者（修士課程の成績表において単位を取得した科目の平均点が 80 点以上である場合を目安とする。なお成績が段階評価されている場合は、各段階の素点の範囲の中央値を評点とみなして計算するものとし、合否だけが示されている科目は計算から除外する。）に対しては、筆記試験を免除し口頭試問により判定を行うことがある。免除の可否について事前に確認したい場合には、下記のⅥ. (6)に問い合わせてもよい。

(3) 口頭試問

これまでの研究の内容および博士後期課程における研究計画について 15 分程度の発表の後、その内容やそれらに関連した分野の学識について口頭試問を行う。試問室にはプロジェクタが設置されている。パソコンは各自持参すること。それ以外の映像機器を使用する場合は事前に問い合わせること。

(4) 学力検査に関する注意事項

（ⅰ）試験室については桂キャンパス C クラスターC3 棟 1 階（b 棟）掲示板に 2027 年 2 月 1 日(月)より掲示する。

（ⅱ）試験開始 10 分前までに試験室に入室すること。

（ⅲ）試験開始後 30 分以上遅刻した者の入室は認めない。

（ⅳ）試験開始後の途中退室は認めない（用便等、一時退室を特別に認める場合を除く）。

（ⅴ）時計を持ち込んでよいが、計時機能のみを有するものに限る。

（ⅵ）辞書、電卓、およびこれらに類するものの使用は認めない。

（ⅶ）携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。

（ⅷ）その他の注意は試験室にて与える。

Ⅵ. 出願要領

(1) 志望区分の申請

志望する研究分野の区分番号を、「Ⅰ．志望区分」より一つ選び、インターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。

(2) 事前コンタクト

本専攻出願にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取り、博士後期課程で計画する研究が遂行可能であることを確認しておくこと。

(3) 口頭試問の発表指導

口頭試問において発表する博士後期課程での研究計画等について指導予定教員が事前に確認し、指導を行うことがある。

(4) 志望理由書、入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書

（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

別紙　志望理由書、及び入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD）を

2027 年 1 月 14 日（木）午後 5 時までに

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（航空宇宙工学専攻）宛て提出すること。出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

(5) TOEFL または TOEIC スコア

2027 年 1 月 26 日(火)午後 5 時までに

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛(航空宇宙工学専攻）宛に提出すること。出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

(6) 問合せ先

不明なことがあれば下記に問い合わせること。

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛（航空宇宙工学専攻）
電話：075-383-3521　　E-mail：090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
参照：https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

本専攻の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは以下の2種類である。

(1)　博士課程前後期連携教育プログラム「融合工学コース（「Ⅰ. 志望区分」に記載の分野)」
プログラムの詳細及び各融合工学コースの内容については、工学研究科HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）を参照すること。

(2)　博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（航空宇宙工学専攻)」
詳細は次項を参照すること。

いずれのプログラムを履修するかは、「入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD)」に基づき、受験者の志望と入試成績に応じて決定される。教育プログラムの志望にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記Ⅵ. (6)まで問い合わせること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

本専攻における博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（航空宇宙工学専攻)」の内容は以下のとおりである。

「宇宙は21世紀における最大のフロンティアであり、自由な飛行は時代を超えた人類の夢です。その開発と実現を担う航空宇宙工学は、未知なる過酷な環境に対峙する極限的工学分野であり、機械系工学の先端知識を総合した革新的アイデアを必要とします。本専攻は、革新的極限工学としての航空宇宙工学に関する研究とその基礎となる教育を行ないます。近年の先端工学の発展には、その高度化・複雑化に伴い、従来の工学分野の融合と新分野の創成が不断に求められています。機械工学群として提供されるより広く多彩な科目およびセミナー科目においてさらに研鑽を深め、より広い視野とより自在で積極的な思考力・応用力をあわせもつ航空宇宙工学分野の高レベルの研究者・技術者を育成します。」

Ⅸ. その他

本専攻の教員および研究内容は下表のとおりである。

航　空　宇　宙　工　学　専　攻	
研　究　内　容	区分
航空宇宙力学研究室　（泉田教授） （1）航空宇宙システムのダイナミクス，制御，システム設計 （2）力学的理解と動物の運動知能理解に基づく制御・運動生成・知能化 （3）羽ばたき飛翔の観測・数値計算による運動知能の解明，実現，設計 （4）宇宙ロボット，歩行ローバ・ロボットのダイナミクスと知的制御と知能や技能の自律的な学習 （5）将来航空宇宙機（ソーラーセイル等の大型構造も含む）のダイナミクスとシステム設計	1
流体数理学研究室　（髙田教授・辻准教授・初鳥助教） （1）運動論方程式に基づく流体中の非平衡現象の数理解析とシミュレーション （2）非平衡流体における相反性の理論とその応用 （3）すべり流（希薄気体効果）の理論とその応用 （4）相変化の非平衡動力学とそれによる気体力学の拡張 （5）多孔体内気体輸送の運動論モデリング	2
推進工学研究室　（江利口教授・占部准教授） （1）プラズマと固体表面との物理的・化学的相互作用に関する基礎研究 （2）固体表面及び微細構造内におけるプラズマからの粒子・エネルギー輸送に関する研究 （3）プラズマプロセスおよび高信頼性デバイス作製技術に関する研究 （4）宇宙推進工学、特に電気推進器の高信頼性化に関する基礎研究 （5）宇宙マイクロ・ナノ工学の創成（超小型推進、機能材料・デバイスなど）に関する研究	3
制御工学研究室　（藤本教授・丸田准教授・鹿田助教） （1）最適制御・非線形制御などのシステム制御理論 （2）宇宙機の姿勢制御・最適設計 （3）統計的学習・確率システム制御 （4）制御系設計のためのシステム同定 （5）データ駆動型制御系設計	4
機能構造力学研究室　（琵琶教授・石井助教） （1）複雑な微視構造・界面を有する固体における弾性波伝搬挙動の解析 （2）フォノニック結晶・音響メタマテリアルによる弾性波機能構造の解析 （3）非線形超音波特性に着目した欠陥・損傷の非破壊評価 （4）超音波スペクトロスコピーによる航空機構造用複合材料の特性評価 （5）高速き裂進展における動的不安定性の解析	5

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Aeronautics and Astronautics

I. Research Area Preference

Department	Preferred Research Area	Research Subjects	Integrated Master's-Doctoral Course Program	
			Interdisciplinary Engineering Course*	Advanced Engineering Course
Department of Aeronautics and Astronautics	1	Dynamics Related to Aeronautics and Astronautics (Aerospace systems, dynamics/control/design, motion intelligence, flapping flight, and space robotics)	a, f	Applicants can select any of these research areas.
	2	Mathematical Fluid Mechanics (Nonequilibrium fluid dynamics, rarefied gas dynamics)	a	
	3	Propulsion Engineering (Ionized and reactive gas dynamics, plasma science and engineering, plasma processing engineering, and in-space propulsion engineering)	a, b	
	4	Systems and Control (System control theory, optimal control, nonlinear control, system identification, statistical learning, and aerospace systems)	a, f	
	5	Mechanics of Functional Solids and Structures (Elastic waves, nondestructive evaluation, composite materials and structures, and dynamics of fracture)	a	

* Corresponding educational programs for the Interdisciplinary Engineering Course:

a. Applied Mechanics b. Materials Engineering and Chemistry c. Engineering for Life Science and Medicine

d. Interdisciplinary Photonics and Electronics e. Human Security Engineering

For the following educational programs, as a general rule, only students who selected them for their master's program are eligible for selecting them when they proceed to their doctoral program because these educational programs are under our "5-Year Interdisciplinary Engineering Course" relevant to the "Program for Leading Graduate Schools." However, provided that prescribed requirements are met, depending on their field of study, transferring applicants may be accepted into these educational programs regardless of the course they selected for their master's program.

f. Design Science

* The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described on our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69).

II. Enrollment Capacity

Department of Aeronautics and Astronautics: 6

III. Eligibility requirements for applicants

Please refer to "Part A: II-i. Eligibility" of this guideline.

IV. Examination Schedule

Tuesday, February 9	9:00 AM–11:00 AM Specialized subjects	1:30 PM– Oral examination

The examination room is located in the C Cluster in the Katsura Campus.

Details will be notified when sending an examination voucher.

V. Details of Entrance Examinations

(1) English:

We accept either TOEFL or TOEIC score, conducted within two years prior to the date of this examination. TOEIC score is converted to TOEFL score. If the score is not submitted properly, English score will be zero. The scores can be (1) a printed copy of the TOEFL iBT Test Taker Score Report downloaded from your ETS account (My TOEFL Home) or (2) TOEIC L&R (Listening & Reading Test) Official Score Certificate (original). Note that scores of

TOEFL-iBT Home Edition are not accepted. Applicants whose native language is English may be exempt from submitting the scores. For those seeking exemption, please inquire for details in advance specified in the following section VI (6).

(2) Specialized subjects:
The test questions cover basic subjects related to applicants' preferred research areas in "I. Research Area Preference." Approximately three questions will be given. The department will notify applicants of information including the exam coverage after receipt of their applications.

(3) Oral examination:
Applicants will first give a presentation (for about 15 minutes) on research they have worked on and future research plans for their doctoral program and will be asked about their presentation and academic knowledge in related fields. The examination room is equipped with a projector. Applicants must bring their computers. If you need any other video equipment for your presentation, please contact us beforehand.

(4) Examination instructions:
(i) The location of examination room will be posted on the bulletin board located on the first floor of C3 Building (Tower b) in the C Cluster of the Katsura Campus for a period from Monday, February 1, 2027.
(ii) Please arrive at the examination room no later than 10 minutes before your examination.
(iii) Any applicants who are 30 minutes or later from the examination start time will not be allowed to enter the examination room.
(iv) Applicants are not allowed to leave the room during the examination (except for special cases where an applicant is allowed to leave the room temporarily to use the restroom).
(v) Applicants may bring their watch, but it must not have any function other than timekeeping.
(vi) Applicants are not allowed to use dictionaries, calculators, or other items with similar functionality.
(vii) Applicants are advised, preferably, not to bring any electronic devices, such as mobile phones, to the examination room. If you do bring them into the examination room, turn them off, put them in your bag, and place the bag at the specified place. Note that carrying them with you may be considered to be an act of cheating.
(viii) Other instructions will be given once you are in the examination room.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Indicating your research area preference:
Applicants must select one research area from "I. Research Area Preference" and indicate their selected research area on the preference entry screen of our Internet application system.

(2) Preliminary contact prior to application:
Before applying for this department, applicants must contact a prospective supervisor for their preferred research area in advance to confirm whether the research plan for the doctoral program can be accomplished under the supervision.

(3) Guidance for the presentation of the oral examination:
The prospective supervisor may checkup the research plan to be presented in the oral examination, and give guidance.

(4) Statement of Purpose and Course Preference Survey:
(Please download the form from the website of the Graduate School of Engineering.)
Applicants must submit their Statement of Purpose and Course Preference Survey (Form MD) to the following address by no later than 5:00 PM on Thursday, January 14, 2027:

Educational Affairs (Department of Aeronautics and Astronautics),
C Cluster Office, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540

Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting these documents are different from those for your Application Form for Admission.

(5) TOEFL or TOEIC score:
Applicants must submit their TOEFL or TOEIC score to the following address by no later than 5:00 PM on Tuesday, January 26, 2027.

Educational Affairs (Department of Aeronautics and Astronautics),

C Cluster Office, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540

Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting these documents are different from those for your Application Form for Admission.

(6) Contact for general inquiries:

If you have any questions or concerns, please contact the following:

Educational Affairs (Department of Aeronautics and Astronautics), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
Phone: +81 75-383-3521 E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Reference: https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/en/admission/exam

VII. Selecting your course after enrollment

Successful applicants who passed the entrance examination for this department can pursue the two following courses after enrollment.

(1) Integrated Master's-Doctoral Program - Interdisciplinary Engineering Course
(educational programs listed in "I. Research Area Preference")
The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described on our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69).

(2) Integrated Master's-Doctoral Program - Advanced Engineering Course
(Department of Aeronautics and Astronautics)
For details, please refer to the following section.

Successful applicants' course assignment is determined based on their examination results and preference as indicated in the "Course Preference Survey Form (Form MD)." Before applying for this course, applicants must contact the prospective supervisor for their preferred research area in advance. If you are not sure who your supervisor is or have any other questions, please contact us at the contact information provided in Section VI. (6) above.

VIII. Course details

This department offers the following in our "Advanced Engineering Course (Department of Aeronautics and Astronautics)" under the Integrated Master's-Doctoral Program.

"Space is the largest frontier of the 21st century, and flying freely through space has been humanity's dream for centuries. Aeronautics and astronautics take on a role to develop and realize this dream. It is a field of extreme engineering that stands face to face with unknown and harsh environments, and requires innovative ideas that combine leading-edge expertise in different mechanical engineering fields. This department offers research in the field of aeronautics and astronautics as innovative extreme engineering as well as education to build a foundation for such research. The advancement of leading-edge engineering in recent years, owing to its increased sophistication and complexity, does not cease to require integration with traditional engineering fields and the creation of new fields. We nurture high-level researchers and engineers who devote themselves to their studies in a wider variety of subjects and seminars offered by the Group of Mechanical Engineering Departments and who have a broadened perspective and the ability to think and apply their ideas more freely and actively."

IX. Other

Listed below are this department's faculty members and their respective research areas.

Department of Aeronautics and Astronautics	
Research Descriptions	Area number
Dynamics Related to Aeronautics and Astronautics (Professor Senda) (1) Dynamics, control, and system designs of aerospace systems (2) Control, motion generation, and intelligence based on understanding of dynamics and animal's motion intelligence (3) Understanding, realizing, and designing of motion intelligence through observations and numerical simulations of flapping flights (4) Autonomous learning of motion intelligence and skills for space robots and legged rovers or robots (5) Dynamics and systems design of future aerospace systems (large space structures, e.g. solar sails)	1
Mathematical Fluid Mechanics (Professor Takata, Associate Professor Tsuji, and Assistant Professor Hattori) (1) Mathematical analysis and simulations for non-equilibrium phenomena in fluids based on kinetic equations (2) Theory of reciprocity in non-equilibrium fluids and its application (3) Slip flow theory and its application (rarefied gas effects) (4) Dynamics of phase transition and extension of gas dynamics (5) Modeling of gas transport in porous media	2
Propulsion Engineering (Professor Eriguchi and Associate Professor Urabe) (1) Physical and chemical interactions between plasmas and solid surface (2) Particle and energy transport from plasmas to solid surface and microstructures (3) Advanced plasma processes and design of high-reliability devices (4) In-space propulsion engineering, in particular, reliability engineering of electrical propulsion systems (5) Establishing micro/nano space engineering (micro-propulsion systems, functional materials and devices, etc.)	3
Systems and Control (Professor Fujimoto, Associate Professor Maruta, and Assistant Professor Shikada) (1) System control theories including optimal control and nonlinear control (2) Spacecraft attitude control and trajectory generation (3) Statistical learning and probabilistic control theory (4) System identification for control system design (5) Data-driven control system design	4
Mechanics of Functional Solids and Structures (Professor Biwa and Assistant Professor Ishii) (1) Analysis of elastic wave propagation in solids with complex microstructures and interfaces (2) Analysis of elastodynamic functional structures using phononic crystals and acoustic metamaterials (3) Nondestructive evaluation of defects and damage based on nonlinear ultrasonic wave propagation characteristics (4) Characterization of composite materials for aircraft structures using ultrasonic spectroscopy (5) Analysis of dynamic instability in rapid crack propagation	5

原子核工学専攻

Ⅰ．志望区分

研究グループ	志望区分	研 究 内 容	対応する教育プログラム	
			連携教育プログラム（融合工学コース）	連携教育プログラム（高度工学コース）
第 1 グループ 量子エネルギー 物理工学	1-1	**エネルギー変換工学** 混相流体科学、環境流体輸送現象、分子熱流体、新型炉・核融合炉エネルギー変換、原子炉システム安全、核融合炉に関連する数値計算モデリング 横峯教授、帆足准教授、成田准教授	応用力学分野	任意の志望区分を選択することができます。
	1-2	**プラズマ物理工学** 核融合プラズマ中の輸送現象、波動によるプラズマ制御、高速イオンとプラズマの相互作用、先進的閉じこめ配位 村上教授、森下助教	応用力学分野	
第 2 グループ 量子エネルギー 物理化学	2-1	**燃材料工学** 原子炉燃料・材料、放射性廃棄物の処理処分、分子モダリティを利用した核医工学、生命科学・医療応用 佐々木教授、淵上教授、小林准教授、 面川助教		
	2-2	**重元素物性化学【本区分は今年度募集しない】** 原子炉燃料サイクルの化学、重元素・アルファ放射体の物性化学・医薬応用 山村教授		
第 3 グループ 量子システム 工学	3-1	**量子ビーム科学** 量子ビームによるナノ科学、高速量子現象の物理工学、原子衝突物理学、クラスター粒子応用工学 斉藤教授、間嶋教授、土田准教授、 瀬木講師、今井助教、中尾助教	生命・医工融合分野　先端医学量子物理領域	
	3-2	**粒子線医学物理学** 中性子捕捉療法の物理工学、原子炉および加速器システムの医学応用 田中教授、櫻井准教授、高田助教、柿野助教	生命・医工融合分野　先端医学量子物理領域	
第 4 グループ 量子物質工学	4-1	**量子物理学※** 深層学習による自然科学の理解 小暮助教		
	4-2	**中性子工学** 原子炉・核融合炉材料の中性子照射効果、耐環境セラミック複合材料、中性子スピン干渉・光学現象の研究と応用 檜木教授、田崎准教授		
	4-3	**中性子源工学** 原子力・加速器科学・医学応用のための加速器・研究炉中性子源の研究、加速器物理学、核反応・核変換工学、原子力施設の安全性評価研究 堀教授、石准教授、高橋准教授、 山本准教授、上杉助教、寺田助教、浦野助教		
	4-4	**中性子応用光学** 中性子スピン光学応用、中性子位相イメージング、超冷中性子を用いた素粒子原子核実験、新試験研究炉へ向けた分光器・検出器開発 日野教授、中村助教、樋口助教		

詳しい研究内容については、専攻ウェブサイト https://www.ne.t.kyoto-u.ac.jp/ を参照。

※4-2 に配属

Ⅱ. 募集人員

原子核工学専攻　若干名

Ⅲ. 出願資格

本募集要項の Part A: II-i を参照のこと。

※（試験免除）本学工学研究科連携教育プログラム在籍者に対しては、試験科目（英語）を免除して 100 点を与える。

Ⅳ. 学力検査日程

月　日	コース	時　間	科　目
2 月 9 日 （火）	一般選抜 （外国人留学生を含む）	10：00*～	口頭試問
2 月 9 日 （火）	社会人特別選抜	10：00*～	口頭試問

＊ 開始時間は変更することがある。

※　試験場は桂キャンパス C クラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。
口頭試問は原則として対面で行う。ただし、日本国外に居住する外国人出願者について、適切と判断される場合に限り、リモートで行うことがある。

Ⅴ. 入学試験詳細

(1)試験科目[一般選抜，社会人特別選抜]

・英語（配点 100 点）

筆記試験は行なわず、TOEIC あるいは TOEFL テストの成績の提出で代用する。ただし、後日に書類の改ざんや不正が認められた場合には合格を取り消す。100 点満点への換算方法および成績の提出方法は以下に記す。

(a) TOEIC の場合

- TOEIC の点数×0.12 を得点とする。ただし、100 点を上限とする。
- 試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEIC L&R 公開テストを有効とする。IP など団体向けテスト、SW、Bridge は認めない。
- デジタル公式認定証を印刷したものを、項目Ⅵ-(4)に従い事前に提出すること。

(b) TOEFL の場合

- TOEFL の点数×1.2 を得点とする。ただし、100 点を上限とする。TOEFL の点数は 0～120 のスコアスケールのものを使用する。
- 試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEFL iBT テスト(Home Edition を含む)を有効とする。ITP など団体向けテストおよび MyBest スコアの利用は認めない。
- 試験実施日の前日までに Institutional Score Report が当専攻に届くように、Designated Institution code「C323」を指定して TOEFL 実施機関に送付依頼の手続きを取ること。
- さらに、Test Taker Score Report の PDF 版を印刷したものを試験当日に提出すること。提出先および提出方法は項目 VI-(5)を参照すること。

(2)試験科目[一般選抜]

・口頭試問（配点 200 点）

(a) 出願者はこれまでの研究内容および博士後期課程における研究計画について 15 分程度説明する。これらの説明は採点対象としない。

(b) 口頭試問では項目Ⅴ-(2)-(a)の内容やそれらに関連した分野の学識について 30 分程度質疑を行い、専門分野や関連分野に関する知識、研究内容に関する理解、研究計画の妥当性等に

ついて採点する。

(3) 試験科目[社会人特別選抜]

・口頭試問（配点 200 点）

(a) 出願者はこれまでの研究、開発内容およびそれに関する分野について 15 分程度、博士後期課程に入学した場合の研究計画について 15 分程度説明する。これらの説明は採点対象としない。

(b) 口頭試問では項目Ⅴ-(3)-(a)の内容やそれらに関連した分野の学識について 30 分程度試問を行い、専門分野や関連分野に関する知識、研究内容に関する理解、研究計画の妥当性等について採点する。

(4)有資格者・合格者決定法および志望区分への配属

(a)試験科目（英語、口頭試問）の総得点が 200 点以上の者を有資格者とする。

(b)有資格者の中から総得点順に募集人員の範囲内で合格者を決定する。

(c)総得点で同得点者があるときは、口頭試問の得点が高い方を上位者とする。

(d)合格者を志望する区分に配属する。

(5)試験の注意事項

・口頭試問の説明に用いる資料のコピーを 5 部持参すること。

・試験室にはプロジェクタが設置されている。

・試験室および口頭試問控室については、桂キャンパス C クラスターC3 棟 1 階（b 棟および c 棟）掲示板に 2 月 8 日（月）より掲示する。

Ⅵ. 出願要領

(1)志望区分の申請

本専攻出願にあたっては、出願者の希望する研究テーマが志望区分の研究内容に合致していることを、出願者と志望区分の教員（指導予定教員）の双方によって出願までに確認（事前コンタクト）すること。事前コンタクトは原則として対面で行うこととするが、指導予定教員が適切と判断した場合はリモートで行うこともある。

インターネット出願システムの入力画面で、履修を志望する教育プログラムと志望区分を登録し、項目「指導予定教員に連絡を取った」を選択すること。

教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、項目Ⅸの入試担当に問い合わせること。

(2)口頭試問の発表指導

発表指導は行わない。

(3)別途提出書類

工学研究科に提出する出願書類の他に、以下の書類を提出すること。出願書類とは提出先が異なるので注意されたい。

(a)一般選抜

口頭試問の資料として、項目Ⅴ-(2)-(a)の要旨を A4 判用紙 4 枚程度に記述したものを 5 部作成してあらかじめ提出すること。出願者の氏名を記載しておくこと。

(b)社会人特別選抜

口頭試問の資料として、項目Ⅴ-(3)-(a)の要旨を A4 判用紙 4 枚程度に記述したものを 5 部作成してあらかじめ提出すること。出願者の氏名を記載しておくこと。

別途提出書類

提出先　：〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛
原子核工学専攻 入試担当

提出期限：1 月 15 日（金） 17 時必着

提出方法：上記の提出書類を封筒に入れ、表に「入試別途提出書類（博士）」と朱書きすること。郵送の場合は簡易書留便とすること。

(4)TOEIC 成績の提出

英語試験に TOEIC の成績を提出する者は、TOEIC のデジタル公式認定証を印刷したものを下記のとおり提出すること。

提出先　：　〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛
原子核工学専攻　入試担当
提出期限：　2 月 1 日（月）17 時必着
提出方法：デジタル公式認定証を印刷したものを封筒に入れ、表に「TOEIC デジタル公式認定証」と朱書きすること。郵送する場合は簡易書留便とすること。

(5)TOEFL 成績の提出

英語試験に TOEFL の成績を提出する者は、口頭試問に先立って試験室で、Test Taker Score Report の PDF 版を印刷したものを提出すること。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

原子核工学専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。
(a)連携教育プログラム （高度工学コース）原子核工学専攻
(b)連携教育プログラム （融合工学コース）応用力学分野
(c)連携教育プログラム （融合工学コース）生命・医工融合分野 先端医学量子物理領域
詳細については、項目 I を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、以下の項目Ⅷを参照すること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

【高度工学コース】

原子核工学専攻では、素粒子、原子核、原子や分子、プラズマなど、量子の科学に立脚したミクロな観点から、量子ビーム、ナノテクノロジー、アトムテクノロジーなど最先端科学を切り開く量子技術を追究するとともに、新素材創製・探求をはじめとする物質開発分野、地球社会の持続的発展を目指すエネルギー・環境分野、より健やかな生活を支える生命科学分野等への工学的応用を展開しています。

高度工学コースでは、十分な専門基礎学力を有し、明確な目的意識を備えた人材を分野を問わず受け入れ、ミクロな観点からの創造性に富む分析能力とシステムとしての戦略的思考能力を有する先端的研究者の育成を目指します。

入学後は一貫した教育カリキュラムを通して基礎から先端までの幅広い知識を修得させ、自主性を尊重した研究指導、そして国内外の研究機関等との連携を生かした先端的研究教育を通じて国際的視野に立った総合的思考能力と基礎研究から工学的応用までの幅広い展開力を涵養します。

Ⅸ. その他

問合せ先・連絡先

原子核工学専攻 入試担当
電話：C クラスター事務区教務掛 075-383-3521
電子メール：inquiry2027@nucleng.kyoto-u.ac.jp

材料工学専攻

Ⅰ．志望区分

志望区分	研　　究　　内　　容
1	耐食・耐摩耗材料、ポーラス材料、触媒、キラリティ、自己組織化、材料物理化学
2	燃料電池材料、固体イオニクス、チタン製錬、レアメタル製錬、化学熱力学
3	構造材料、塑性変形機構、マイクロスケール力学特性、結晶欠陥、透過電子顕微鏡法
4	バルク・薄膜結晶成長、化合物半導体、太陽電池材料、光物性
5	表面･界面物性、走査トンネル顕微鏡、原子レベル材料物性評価、ナノスケール元素分析
6	計算材料科学、材料情報科学、材料モデリング、材料設計、機械学習、統計熱力学計算
7	耐熱金属間化合物材料、先進電池材料、水素吸蔵・熱電変換材料、結晶格子欠陥、ナノ透過電子顕微鏡法
8	構造用金属材料、塑性加工、熱処理、ナノ・ミクロ組織制御、粒界・界面、機械的性質
9	凝固・結晶成長解析、凝固プロセス、電磁力プロセッシング、リアルタイムイメージング、材料組織解析
１０	磁性物理学、磁性材料、強相関電子系、スピントロニクス、中性子散乱、核磁気共鳴
１１	水溶液プロセス、イオン液体、材料電気化学、湿式非鉄製錬、電池材料、表面機能化
１２	原子間力顕微鏡、溶融金属、界面電気化学、ナノトライボロジー、量子計算科学

Ⅱ．募集人員

材料工学専攻　　若干名

Ⅲ．出願資格

募集要項の「Part A: Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

Ⅳ．学力検査日程

２月１０日（水）	１０：００～ 口頭試問

※試験場は吉田キャンパスである。但し、オンライン開催に変更の可能性もある。
詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

［英語］

2023 年 8 月 1 日以降に実施された TOEFL(TOEFL-ITP などの団体試験を除く)※1, ※2、TOEIC(TOEIC-IP などの団体試験を除く)または IELTS の成績により評価する。「英語を母語とする旨の宣誓書」が提出された場合、専門科目および口頭試問において英語力の判定を行う。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS の成績もしくは「英語を母語とする旨の宣誓書」が提出されない場合は、別途、試験を実施することがあるので、受け入れ予定の教員に必ず出願前に相談すること。

※1 TOEFL iBT Special Home Edition, TOEFL ITP Plus for China の成績提出でも可とする。
※2 My Best スコアの利用を可とする。

［口頭試問］

これまでの研究についての 15 分の発表と 10 分の試問。発表はプロジェクターを用いて行う。また、発表スライドの PDF ファイルを事前に送付すること。詳細は別途指示をする。

［合格者決定法］

各科目の配点は英語 100 点、口頭試問 400 点とする。英語と口頭試問のそれぞれついて、配点の 60%以上を取得した者を有資格者とし、その中から総得点の高い順に合格者を決定する。

Ⅵ．出願要領

(1)志望区分の申請

志望する区分を Ⅰ. 志望区分より一つ選び、インターネット出願システムの志望情報入力画面で

選択すること。本専攻出願にあたっては、あらかじめ志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取ること。志望区分と研究室および担当教員の関係は、下記の教員・研究内容説明書および材料工学専攻のウェブサイトで確認すること。https://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/ja

(2) 事前コンタクト
入学後の研究内容のマッチングを行うため、出願に先立って指導を希望する教員に連絡し、研究内容について相談すること。事前コンタクトは原則として出願前に行い、その方法（対面、電子メール、電話など）は指導希望教員の指示に従うこと。教員の連絡先は材料工学専攻のウェブサイトで確認すること。https://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/ja

(3) 口頭試問の発表指導
口頭試問時に行う入学後の研究内容、研究計画等に関する発表について、指導希望教員が口頭試問の発表指導を行う場合がある。指導希望教員と相談のうえ口頭試問の発表指導を実施する場合は、原則として出願後から試験日の 1 週間前までに行います。

問合せ先･連絡先
〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　　電話 075-383-3521
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛
E-mail：090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
参照　http://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/ja

別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）
英語を母国語としない受験者は、TOEFL の成績書（ETS アカウント（My TOEFL Home）からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷したもの)、TOEIC の成績証明書（デジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したもの)、または IELTS の成績証明書（原本のみ可、コピー不可）を、英語を母語とする受験者は「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式 材工Ｄ）を 2027 年 1 月 7 日（木）午後 5 時（必着）までに大学院工学研究科Ｃクラスター事務区教務掛（材料工学専攻　入試担当）へ提出すること。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS の成績もしくは「英語を母語とする旨の宣誓書」を提出しない場合は､受け入れ予定の教員に必ず出願前に相談の上、その旨を連絡すること。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には 2 種類の教育プログラムが準備されている｡入試区分｢材料工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

(a)連携教育プログラム　融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
(b)連携教育プログラム　高度工学コース（材料工学専攻）

いずれのプログラムを履修するかは、合格決定後、入学までの適切な時期に志望を調査したうえで、その志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。また、教育プログラムの内容については、学生募集要項の「教育プログラムの内容（融合工学コース)」及び、次項の「Ⅷ. 教育プログラムの内容について（高度工学コース)」をそれぞれ参照すること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について（高度工学コース）

材料工学では、地球の「資源」や「物質」を有効に活用し、人類、そして地球の未来に役立つ「材料」に変換するための基礎技術と基礎理論を科学し、環境調和を考慮して人間社会を維持、発展させることに貢献することを目指して、新しい材料の開発・設計・製造プロセスに関する先進の教育と研究を行っています。そのために本専攻では、材料プロセス工学、材料物性学、材料機能学の各分野で、電子・原子レベルの元素の結合状態や結晶構造に関する研究から、ナノスケールのクラスター構造、メゾスケールからマクロスケールでの材料組織、マクロスコピックな結晶粒や加工組織や集合組織まで材料に関わる先進の教育研究を推進し、我が国が抱える緊急かつ重要な課題である環境、エネルギー、資源などの問題に、材料科学的な独自の視点で思考し、課題を設定し解決することができる、高い能力を持った研究者・技術者を育成しています。

Ⅸ. その他

携行品

受験票、筆記用具、発表概要

【注意事項】

携帯電話，スマートウォッチ等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合は、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為とみなされることがあります。

教員・研究内容説明書

研究内容	区分
材料設計工学講座　材料設計工学分野 （１） 耐食・耐摩耗性能を有する多元系合金の湿式コーティング研究 （２） 陽極酸化による半導体材料表面への微細構造形成 （３） 合金や炭素からなる触媒の設計と表面処理への応用 （４） キラリティを有する金属ナノ材料の創製 （５） 金属や半導体の微細構造形成における自己組織化現象	第１
材料プロセス工学講座　表面処理工学分野 （１） 中温型燃料電池の実現に向けた高伝導固体電解質の探査 （２） 固体中のイオン伝導メカニズム （３） 高速チタン製錬法 （４） リチウムイオン電池などの資源循環研究 （５） 銅、ニッケル、希土類などの製錬プロセスの高効率化	第２
材料プロセス工学講座　物質情報工学分野 （１） 硬質結晶性材料の塑性変形機構 （２） 原子分解能走査透過電子顕微鏡法 （３） 硬質結晶性材料を強化相として含む構造用金属材料の塑性変形機構 （４） マイクロスケール機械試験法を用いた変形機構解析 （５） ハイ/ミディアム・エントロピー合金の欠陥構造と力学特性	第３
材料プロセス工学講座　ナノ構造学分野 （１）多元系材料におけるバルク結晶成長 （２）半導体材料における成膜プロセスの開発 （３）化合物半導体における光物性 （４）化合物太陽電池におけるデバイス構造の構築と高効率化	第４
先端材料物性学講座　先端材料機能学分野 （１） 走査トンネル顕微鏡による材料組織評価 （２） 表面・界面物性 （３） ナノスケール元素分析 （４） 新規ナノ計測手法の開発 （５） 走査トンネル顕微鏡を用いた表面反応機構の解明	第５
材料物性学講座　量子材料学分野 （１） 材料モデリング手法の開発 （２） 第一原理計算からの熱統計力学計算手法の開発 （３） 第一原理計算に基づいた材料インフォマティクス （４） 機械学習を活用した構造探索手法の開発 （５） 計算科学に基づいた新材料と機能の探索	第６
材料物性学講座　結晶物性工学分野 （１） 結晶欠陥、転位と力学特性 （２） 次世代耐熱構造用金属間化合物の変形機構 （３） 先進電池材料における固体イオニクス界面の微細構造と電池特性 （４） エキゾチック化合物の水素吸蔵、 熱電変換機能 （５） 結晶欠陥のナノスケール電子顕微鏡法	第７
材料物性学講座　構造物性学分野 （１） ナノ組織制御による強度と延性・靭性を両立させた構造用金属材料の実現 （２） 巨大ひずみ加工など新規プロセスによるバルクナノメタルの創製 （３） バルクナノメタルの相変態・析出・再結晶挙動と力学特性の解明	第８

（４） ヘテロ構造金属材料の変形挙動およびその力学特性発現機構の解明 （５） 金属材料の水素脆性の解明	
先端材料機能学講座　先端材料機能学分野 （１） 凝固・結晶成長機構の実証的解明と材料プロセスへの応用 （２） 固液共存領域における力学特性の発現機構の解明と制御 （３） 外場を利用した材料プロセッシング原理の確立と組織制御への応用 （４） 放射光などを利用した材料構造・組織評価法の開発 （５） 実証データに基づいた物理モデルの構築とシミュレーション	第９
材料機能学講座　磁性物理学分野 （１） 電子相関が強い系での新たな量子現象・新たな機能の探索 （２） フラストレート系・ランダム系・低次元磁性体の物理 （３） スピン流の新たな物理の開拓 （４） 希土類元素を含まない新たな磁性材料の開発 （５） 中性子散乱・核磁気共鳴・メスバウア分光等による微視的磁性評価	第１０
材料機能学講座　材質制御学分野 （１） 酸化還元反応ならびに酸-塩基反応を用いる水溶液系薄膜形成とその熱力学 （２） 自然順応型イオン液体を溶媒とする表面修飾ならびに機能化技術の研究 （３） 電解採取や電解精製をはじめとする湿式非鉄製錬技術の高度化と高効率化 （４） 次世代電池をめざした高容量金属負極材料の設計と開発 （５）多孔質電極の作製とその利用における微小空間の電気化学	第１１
材料機能学講座　機能構築学分野 （１） 液中原子間力顕微鏡法の開発 （２） 溶融金属/固体界面の原子スケール物理化学 （３） 原子間力顕微鏡による界面電気化学 （４） 液中ナノトライボロジー （５） 第一原理統計熱力学に基づく材料設計手法の開発	第１２

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Materials Science and Engineering

I. Research Area Preference

Preferred Research Area	Research Descriptions
1	Wear and corrosion resistant materials, porous materials, catalysis, chirality, self-organization, and physical chemistry of materials
2	Fuel cell materials, solid state ionics, titanium refining, minor metal refining, and chemical thermodynamics
3	Structural materials, plastic deformation mechanisms, microscale mechanical properties, crystal defects, and transmission electron microscopy
4	Bulk and thin film crystal growth, compound semiconductors, materials for solar cells, and optical properties
5	Surface and interface properties, scanning tunneling microscopes, atomic-level material property evaluation, and nanoscale elemental analysis
6	Computational materials science, materials informatics, materials modeling, materials design, machine learning, and statistical thermodynamic calculations
7	Heat-resistant intermetallic compound materials, advanced battery materials, hydrogen-absorbing and thermoelectric conversion materials, crystal lattice defects, and nanotransmission electron microscopy
8	Structural metal materials, deformation processing, heat treatment, nano/microstructure control, grain boundaries and interfaces, and mechanical properties
9	Solidification processes, uses of electromagnetic force, material imaging, diffusion phase transitions, Material structure analysis
10	Magnetism, magnetic materials, strongly correlated electron systems, spintronics, neutron scattering, and nuclear magnetic resonance
11	Aqueous solution process, ionic liquids, material electrochemistry, non-ferrous hydrometallurgy, battery materials, and surface functionalization
12	Atomic force microscopy, molten metal, interfacial electrochemistry, nano-tribology, surface processing on semiconductor, and quantum computational science

II. Enrollment Capacity

Department of Materials Science and Engineering: A Few

III. Eligibility requirements for applicants

Please refer to "Part A: II-i. Eligibility Requirements for Applicants" of the Guidelines for Applicants.

IV. Examination Schedule

Wednesday, February 10	10:00 AM– Oral examination

*The examination room is located on the Yoshida Campus. The examination may be changed to online held.
Details will be notified when sending an examination voucher.

V. Details of Entrance Examinations

[English]

Applicants are evaluated based on their TOEFL (excluding TOEFL ITP)[*1, *2], TOEIC (excluding TOEIC IP), or IELTS test score for a test taken on or after August 1, 2023. For applicants who submitted a "Letter of English Proficiency Statement," their English proficiency will be evaluated through the specialized subject and oral examinations. Please note that applicants who do not submit their TOEFL, TOEIC, or IELTS test score or a "Letter of English Proficiency Statement" may be subject to an additional examination. If applicable, applicants must consult with their prospective supervisor before submitting their application for admission.

*1 It is allowed to submit their results of TOEFL iBT Special Home Edition and TOEFL ITP Plus for China.
*2 The use of MyBest Scores for the TOEFL iBT test is accepted.

[Oral examination]

Applicants will give a presentation on research they have worked on (15 minutes) and then answer questions about it (10 minutes). The presentation must be displayed on a projector located in the examination room. In addition, applicants must send presentation materials as a PDF file by email in advance. Details will be given separately.

[Selection of successful applicants]

Marks allotted for each subject: English - 100 points and oral examination - 400 points. Eligible applicants for consideration are those who scored 60% or more of the full scores for English and for the oral examination. Successful applicants are those who have achieved the highest total scores among eligible applicants.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Indicating your research area preference:

Applicants must select one research area from "I. Preferred Research Area" and indicate their selected research area on the information entry screen of Internet Application System.

(2) Prior contact:

To match the research area, the applicants must contact one of the faculty members you wish to be supervised before completing the application. Prior contact should be completed before application. Contact information for the faculty members can be found on the website of the Department of Materials Engineering. https://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/en/

(3) Guidance on Presentation for Oral Examination:

A prospective supervisor will provide the applicants with guidance on the presentation of their future research plans and contents in advance to Oral Examinations, for the purposes of implementing Oral Examinations in an appropriate manner. Such guidance will be provided at least one week before the examination date in principle.

Contact for General Inquires:

Educational Affairs, C Cluster Office, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8510
Phone: +81 75-383-3521 E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Reference: http://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/en

Additional documents to be submitted:

(Please download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.)

Applicants whose native language is not English must submit either the self-printed copy of their TOEFL Test Taker Score Report downloaded from ETS account (My TOEFL Home), the self-printed copy of TOEIC Digital Official Score Certificate, or the original printed copy of IELTS Test Report Form (photocopies and self-printed copies are not accepted for IELTS). Applicants whose native language is English must submit a "Letter of English Proficiency Statement" (Form ME D). These documents must be submitted to Educational Affairs (Entrance Examination Section - Department of Materials Science and Engineering), C Cluster Office, Graduate School of Engineering by no later than 5:00 PM on Thursday, January 7, 2027. Applicants who do not submit their TOEFL, TOEIC, or IELTS test score or a "Letter of English Proficiency Statement" must consult with their prospective supervisor before submitting their application for admission.

VII. Selecting your course after enrollment

Two courses are available to successful applicants after their enrollment in our doctoral program. Successful applicants who passed the entrance examination for "Materials Science and Engineering" can pursue the following courses.

(a) Integrated Master's-Doctoral Program - Interdisciplinary Engineering Course
(Laboratory of Materials Engineering and Chemistry)
(b) Integrated Master's-Doctoral Program - Advanced Engineering Course
(Department of Materials Science and Engineering)

Successful applicants' course assignment is determined after they pass the entrance examination based on their examination results and preference as surveyed at an appropriate timing before enrollment. For details on the courses, please refer to "Course Details (Interdisciplinary Engineering Course)" of the Guidelines for Applicants and "VIII. Course Details (Advanced Engineering Course)" in the next section.

VIII. Course Details (Advanced Engineering Course)

In the Department of Materials Science and Engineering, we offer leading-edge education and research for the development, design, and manufacturing processes of new materials in efforts to scientifically study fundamental technologies. We offer theories to make effective use of "resources" and "substances" of our planet Earth and turn them into "materials" that support the future of mankind and the Earth and to contribute to sustaining and developing human society in harmony with the environment. To this end, we promote a wide breadth of leading-edge educational research on materials in the areas of materials process engineering, materials science, and properties of materials. These include studies on the neutronic/atomic-level bonding state of elements to nanoscale cluster structures, meso- to macro-scale material structures, and macroscopic crystal grains, deformation textures, and crystal textures. By doing so, we nurture high-quality researchers and engineers who can identify and solve problems as well as apply a unique material scientific viewpoint to urgent and important issues Japan is facing, including the environment, energy, and resources.

IX. Other

On the examination day, please bring the following items:

Examination voucher, writing instruments, and printed copies of your presentation (calculators are not allowed)

[Notes] Applicants are advised, preferably, to not bring electronic devices, including mobile phones and smartwatches, in the examination room. If you do bring them into the examination room, turn them off, put them in your bag, and place the bag at the specified place.
Note that carrying any such devices during the examination may be considered an act of cheating.

List of Faculty Member and Research Descriptions

Research descriptions	Area number
Metallic Materials Design - Metallic Materials Design Laboratory (1) Design of multi-component alloys with high wear and corrosion resistance (2) Nanostructure formation on the surface of semiconductors by anodization (3) Production of catalysts composed of alloys and carbons and their application to surface processing (4) Fabrication of chiral metal nanostructures (5) Self-organization phenomena in the formation of nanostructures of metals and semiconductors	1st
Materials Processing - Design of Sustainable Materials and Processing Laboratory (1) Exploration of High-Conductivity Solid Electrolytes for Realizing Intermediate Temperature Fuel Cells (2) Ion Conduction Mechanisms in Solids (3) High-Speed Titanium Smelting Processes (4) Resource Recycling Research for Lithium-Ion Batteries and Other materials (5) Enhancing Efficiency in Smelting Processes for Copper, Nickel, Rare Earths, and Other Metals	2nd
Materials Processing - Materials Informatics Laboratory (1) Plastic deformation mechanism of hard crystalline materials (2) Atomic-resolution scanning transmission electron microscopy (3) Plastic deformation mechanism of structural metals containing hard crystalline materials as reinforcing phases (4) Deformation mechanism analysis using microscale mechanical testing (5) Defect structure and mechanical properties of high/medium entropy alloys	3rd
Materials Processing - Nanostructural Design of Advanced Materials Laboratory (1) Bulk crystal growth in multicomponent systems (2) Film formation processes for semiconductor materials (3) Optical properties of compound semiconductors (4) Building and improving the device structures for high efficiency in compound solar cells	4th

Research descriptions	Area number
Basic Study of Advanced Materials - Basic Study of Advanced Materials (1) Evaluating material structures using scanning tunneling microscopes (2) Surface and interfacial physical properties (3) Nanoscale element analyses (4) Developing new nano-measurement methods (5) Effectively understanding surface reaction mechanisms using scanning tunneling microscopes	5th
Basic Science of Materials - Materials Design through Quantum Theory Laboratory (1) Development of Materials Modeling Methods (2) Development of Statistical Thermodynamics Methods Based on First-Principles Calculations (3) Materials Informatics Based on First-Principles Calculations (4) Development of Structure Search Methods Using Machine Learning (5) Computational Design and Discovery of Functional Materials	6th
Basic Science of Materials - Property Control of Crystalline Materials Laboratory (1) Defects, dislocations, and mechanical properties of crystals (2) Deformation mechanisms of intermetallic compounds for next-generation heat-resistant structures (3) Microstructures and battery characteristics of solid state ionics interfaces in advanced battery materials (4) Hydrogen storage and thermoelectric conversion functions of exotic compounds (5) Nanoscale electron microscopy for crystal defects	7th
Basic Science of Materials - Structure and Property of Materials Laboratory (1) Realizing metal structural materials that strike a balance between strength and ductility/toughness through nonstructural control (2) Creating bulk nanostructured metals through new processes such as severe plastic deformation (3) Better understanding bulk nanostructured metals in their phase transformation, deposition, and recrystallization behaviors and mechanical properties (4) Better understanding deformation behaviors of heterostructured metal materials and manifestation mechanisms for their mechanical properties (5) Better understanding the hydrogen brittleness in metal materials	8th
Properties of Advanced Materials - Properties of Advanced Materials (1) Better empirically understanding solidification and crystal growth mechanisms and applying them in material processes (2) Establishing materials processing principles using external fields and applying them in structural control (3) Developing evaluation methods for material structures and textures using synchrotron radiations, etc. (4) Better understanding and controlling the process of diffusion phase transformations in non-equilibrium multiphase materials (5) Building and simulating physical models based on empirical data	9th
Materials Properties - Magnetism and Magnetic Materials Laboratory (1) Exploring new quantum phenomena and new functions in systems with strong electron correlations (2) Physics of frustrated systems, random systems, and low‐dimensional magnets (3) Pioneering a new field of physics dealing with spin currents (4) Developing new magnetic materials that do not contain rare-earth elements (5) Microscopic magnetic evaluations using neutron scattering, nuclear magnetic resonance, and Mossbauer spectroscopy.	10th
Materials Properties - Electrochemistry and Hydrometallurgy Laboratory (1) Thin film formation and its thermodynamics in aqueous solution systems that use oxidation reduction and acid-base reactions (2) Studying surface modification and functionalization technologies that use naturally adaptive ionic liquids as a solvent (3) Improving the degree of sophistication and efficiency in nonferrous hydrometallurgical processes, including electrowinning and electrolytic refining (4) Designing and developing high-capacity metal anode materials for next-generation batteries (5) Manufacturing porous electrodes and electrochemistry of minute spaces in their applications	11th
Materials Properties - Nanoscopic Surface Architecture Laboratory (1) Developing atomic force microscopy for liquid environments (2) Atomic-scale physical chemistry on molten-metal/solid interfaces (3) Interfacial electrochemistry by atomic force microscopy (4) Atomic-scale tribology in lubricant (5) Development of material design method based on first-principles statistical thermodynamics	12th

2027 年 2 月実施入試（冬入試）

電気電子デジタル理工学専攻

博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース・高度工学コース）

I. 専攻別志望区分一覧

専攻	領域	志望区分	研 究 内 容	前後期連携教育プログラム	
				融合工学コース	高度工学コース
電気電子デジタル理工学専攻	デジタル・グリーン領域	1	**電気情報システム論** （非線形システム、エネルギーシステム・モビリティ、制御応用・ロボット） 薄教授、グエン講師、持山助教	融合光・電子科学創成分野 任意の志望区分を選択することができます。	光・電子理工学 任意の志望区分を選択することができます。
		2	**時空間センシング** （時空間信号処理、視聴覚環境理解、生体磁気計測、脳機能イメージング、量子磁気センサ、機械学習） 吉井教授、伊藤准教授、上田博助教		
		3	**応用デジタル工学** （制御理論、最適化理論、サイバーフィジカルダイナミカルシステム） 蛯原教授†		
		4	**知的回路設計** （電気電子回路、電気電磁回路、エネルギー回路、機械学習による回路設計、ネットワーク数理） 久門教授†		
		5	**物理情報融合工学** （固体電子工学、光電子工学、光量子電子工学） 浅野教授†、吉田助教		
		6	**光機能デバイス工学** （光電子材料、光応用工学、光物性工学） 船戸教授†、石井助教、松田助教†		
	電気・システム・生体工学領域	7	**自動制御工学** （制御工学、システム・制御理論、数値最適化手法、システム解析） 細江准教授		
		8	**システム創成論** （システム理論の生体計測応用、波動イメージングと逆問題、生体システム信号処理、人体電波センシング） 阪本教授		
		9	**超伝導工学** （超伝導体の電磁現象、超伝導マグネットの電磁特性、超伝導の医療応用、超伝導のエネルギー応用） 雨宮教授、曽我部准教授		
		10	**電磁エネルギー工学** （電磁気学、マイクロ磁気学、電磁界解析、計算工学） 松尾教授、美舩准教授、孔助教		
		11	**電波科学シミュレーション** （電磁力学、プラズマ理工学、計算機シミュレーション、宇宙空間物理学） 海老原教授、謝講師		

		12	**宇宙電波工学** （宇宙電波工学、宇宙プラズマ理工学） 小嶋教授、栗田准教授、上田義助教		
電気電子デジタル理工学専攻		13	**マイクロ波エネルギー伝送** （マイクロ波工学、無線電力伝送、マイクロ波応用工学） 篠原教授、三谷准教授	融合光・電子科学創成分野 任意の志望区分を選択することができます。	光・電子理工学 任意の志望区分を選択することができます。
		14	**優しい地球環境を実現する先端電気機器工学** （電気機器、輸送機器、再生可能エネルギー、超伝導機器） 中村教授†、寺尾准教授†		
	光・電子・量子領域	15	**極限電子機能工学** （超伝導・磁性物性、超伝導・磁性材料、超伝導デバイス工学、テラヘルツ分光、極微真空電子工学） 米澤教授、掛谷准教授、後藤准教授、秋山准教授、池田助教		
		16	**固体量子物性工学** （量子スピントロニクス、純スピン流デバイス物性、トポロジカル物性物理） 白石教授、プエブラ准教授、大島准教授、芳井助教		
		17	**光量子情報工学** （光量子情報、ナノフォトニクス、光量子計測） 竹内教授、岡本准教授、向井助教		
		18	**半導体物性工学** （半導体工学、電子材料、エネルギー変換素子、電子デバイス工学） 木本教授、金子准教授、三上助教		
		19	**電子材料物性工学** （電子材料物性、プローブ顕微鏡、ナノエレクトロニクス、有機・バイオエレクトロニクス） 小林准教授		
		20	**ナノプロセス工学** （ナノ構造における光物性、ナノ構造形成、新機能ナノフォトニックデバイス） ﾃﾞ ｿﾞｲｻ ﾒｰﾅｶ教授、井上准教授		

†：特定教員

※願書提出時に、入学後に履修するコースを、融合工学コース（融合光・電子科学創成分野）、高度工学コース（光・電子理工学）から選択すること。

II. **募集人員**

14 名

III. **出願資格**

(1) 募集要項「Part A: II-i 出願資格」に記載の条件を満たす者。

(2) 受験区分

A	京都大学大学院工学研究科・電気系博士課程前後期連携教育プログラムを出願時点で履修中の者で修士課程修了見込者
B	上記以外の受験者

*学部において所定の成績を修めた者。

**修士課程において所定の成績を修めた者。

※筆記試験免除の有無については、出願後に A クラスター教務掛から各受験者に通知する。

IV. **学力検査日程**

(1) 試験日時・試験科目

期日	受験区分	時間・科目	受験区分	時間・科目
2月9日 （火）	B	13：00～ 口頭試問	A	16:30～ 面接

(2) 試験場

試験場は桂キャンパス A クラスターである。試験は対面で実施する（オンライン試験は非実施）。**試験室等の詳細は受験票送付時に通知**する。

V. **入学試験詳細**

(1) **口頭試問**

・受験区分 B の該当者に対して実施。

・受験者はまず、修士課程における研究内容と進展状況（社会人特別選抜受験者の場合は在職中の研究内容）、ついで博士後期課程における研究計画等について説明する。その後教員から試問が行われる。口頭試問時間は、説明が 8 分、質疑応答を含めて全部でおよそ 20 分とする。

・説明に当たっては、原則として原稿を読み上げるようなことはしないこと。

・説明用資料（パワーポイントのスライド 5 ページ以内、A4 用紙 5 枚以内に印刷できるもの（厳守））を用意し、持参したノート PC を用いて説明すること。

・受験票送付時に連絡する口頭試問開始時刻以降は入室できない。

(2) **面接**

・受験区分 A の該当者に対して実施。

・受験票送付時に連絡する面接開始時刻以降は入室できない。

VI. **合格者決定方法**

学部成績、修士成績、口頭試問（対象者のみ）および面接（対象者のみ）の結果を総合して有資格者を決定し、研究遂行能力等を専攻内で判断のうえ、合否を決定する。

VII. **出願要領**

(1) **志望区分の申請**

・インターネット出願システムの志望情報入力画面で、志望区分を選択すること。

・出願に際しては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと（事前コンタクト）。

・教員が不明の場合や疑問があれば、「VII. (6) 問合せ先」まで問い合わせること。
・詳しい研究内容については、専攻ホームページ (https://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/) を参照すること。

(2) 事前コンタクト

募集要項「Part A: III 出願要領」に記載の通りである。

(3) 口頭試問の発表指導

募集要項「Part A: IV-iii 口頭試問の発表指導」に記載の通りである。

(4) 社会人の受験者について

募集要項「Part A: II-v 社会人特別選抜について」に記載の通り、出願時に官公庁、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、原則、所属長の推薦を受けた者は、社会人特別選抜で出願することができる。当専攻では、在職しながら就学することを予定する者は、社会人特別選抜で出願することを原則とする。ただし、事情により一般選抜で出願することを希望する場合は、事前コンタクトの際に指導希望教員に申し出ること。

(5) 別途提出書類

1 月 14 日（木）16 時必着（厳守）

・様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること
・下記 (a) あるいは (b) の必要書類全てを「VII. (6) 別途書類提出先」へ送付または持参すること。
・工学研究科に提出する出願書類の提出先は異なることに注意すること。
・郵送の場合は「**書留**」又は「**簡易書留**」とすること（学内便不可）。

(a) 受験区分 A の該当者

1. 履歴書・希望事項調査

(b) 受験区分 B の該当者

1. 履歴書・希望事項調査
2. 修士課程における研究内容説明書（※）（社会人特別選抜受験者の場合は在職中の研究内容説明書）
3. 博士課程前後期連携教育プログラムにおける研究計画説明書（※）

4. 学部の成績証明書（京都大学工学部電気電子工学科を卒業した者は不要）
   外国の大学を卒業した者も、可能な限り、和文または英文で提出すること。

※自由様式でも可能だが、A4 用紙 1 枚でまとめること。

(6) 別途書類提出先・問合せ先

〒615-8510 京都市西京区京都大学桂
京都大学桂キャンパス A クラスター事務区教務掛（電気系）
電話：075-383-2077
E-mail：090kakyomudenki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
（問合わせの際は「電気電子デジタル理工学専攻志望」と記載すること）
HP: https://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/ja

VIII. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には 2 種類の教育プログラムが準備されている。本専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

(a) 連携教育プログラム　融合工学コース（融合光・電子科学創成分野）
(b) 連携教育プログラム　高度工学コース（光・電子理工学）

どのプログラムの履修を志望するかは、受験者の希望と受入教員の判断に応じて決定する。詳細については「I. 専攻別志望区分一覧」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）および「IX. 教育プログラムの内容について」を参照すること。

IX. 教育プログラムの内容について

【融合工学コース(融合光・電子科学創成分野)】

21 世紀においては全世界規模で情報処理量とエネルギー消費が爆発的に増大し、既存の材料・概念で構成されるハードウェアの性能限界と地球資源の枯渇が顕著になると予測されています。このような課題を解決し、光・電子科学分野で世界を先導するためには、電気工学、システム工学、電子工学、量子物性工学、材料科学、化学工学、光機能工学、集積システム工学、量子物理工学、デジタル工学など複数分野を融合して新しい学術分野を開拓し、かつ当該分野を牽引する若手研究者、高度技術者を育成することが重要です。

本教育プログラムでは、光・電子科学に関わる融合領域を開拓する教育研究を通じて、新しい学術分野における高い専門的知識・能力に加えて、既存の物理限界を超える概念・機能を創出する革新的創造性を備えた人材の育成を目指します。究極的な光子制御による新機能光学素子や高効率固体照明の実現、極限的な電子制御による耐環境素子や超集積システムの実現、光・スピン・イオンを用いた新機能素子や新規プロセスの開発、強相関電子系物質や分子ナノ物質の創成と物性制御、高密度エネルギーシステムの制御とその基礎理論、新しい物理現象を用いたナノレベル計測とその学理探求、高度なデジタル技術を活用した機能デバイスの設計などの融合分野において、常に世界を意識した教育研究を推進します。様々な分野で世界的に活躍する教員による基盤的および先端的な講義、各学生の目的に応じたテーラーメイドのカリキュラムやインターンシップ等を活用した教育、光・電子理工学教育研究センターの協力を得て行う先端的融合研究を通じて、広い視野と高い独創性、国際性、自立性を涵養し、光・電子科学分野を牽引する人材を育成します。

【高度工学コース(光・電子理工学)】

現実世界と仮想世界が高度に融合した次世代の社会システムを実現するために必要となる、ハードウェアとソフトウェアの基礎から最先端研究レベルまでの学習とともに、デバイスからシステムまで発展する電気電子デジタル理工学分野のフロンティアにおける科学技術の修得を通して、広範な科学知識と豊かで弾力ある創造性を兼ね備えた人材を育成します。このプログラムの推進する教育及び研究は、光においては、任意の波長、強度、方向の、発光及び受光を可能にして光を自在にあやつり、電子においては、これまでの概念を超えるデバイスや量子効果などを通して、光と電子を極限まで制御することとその理解を目的とします。フォトニック結晶やワイドギャップ半導体、分子ナノデバイスや量子凝縮系デバイスなどの新規材料・デバイス創成、パワーデバイス、電子・光・イオンによる革新的ナノプロセスなどに加えて、超伝導、電磁界解析、システム制御、データサイエンスなどの最先端応用である、低環境負荷なエネルギーシステムの構築、機械学習と高度に融合した生体センシングなど、世界でトップクラスの研究成果を挙げている分野で教育と研究を推進することにより、博士号取得の段階で、自立し、幅広い専門知識を有し、国際的に通用する一流の人材を育成します。

X. 教員・研究内容一覧

教　員　名	研　　究　　内　　容	区分
薄　教授 グエン　講師 持山　助教	電気情報システム論研究室 (1) 非線形・多自由度システムの理論とデータ駆動型工学 (2) ソフトウェア工学による複雑システムの制御 (3) エネルギーシステム・モビリティシステムの解析・制御・設計 (4) 環境適応型ロボット歩行、ベストエフォート型モータドライブ	第1

吉井　教授 伊藤　准教授 上田博　助教	時空間センシング研究室 (1) マルチモーダル時空間信号処理（音響・画像・磁場等） (2) 物理拘束付き確率的生成モデル・深層学習 (3) 量子磁気センサによる生体磁気計測 (4) MRI を用いた脳機能イメージング	第2
蛯原　教授†	応用デジタル工学研究室 (1) 凸最適化手法を用いたダイナミカルシステムの解析と設計 (2) AI・ニューラルネットワークの信頼性保証 (3) 大規模錐計画問題の数値解法 (4) 先端制御理論の実システム応用	第3
久門　教授†	知的回路設計研究室 (1) 電磁現象を含む回路システム (2) 高速高周波回路のモデル化とシステム信頼性 (3) 機械学習を用いた回路設計 (4) パワーエレクトロニクス・インタラクティブ制御・電力システムの診断	第4
浅野　教授† 吉田　助教	物理情報融合工学研究室 (1) フォトニック結晶を用いた高ビーム品質・高輝度半導体レーザの開発と応用 (2) フォトニック結晶レーザの高機能化（ビーム偏向制御・短パルス化等）に関する研究 (3) 熱輻射制御による高効率光源およびエネルギー変換に関する研究 (4) 高 Q 値ナノ共振器と極微小光回路による自在な光子制御に関する研究 (5) ワイドギャップ半導体を用いた次世代フォトニック結晶の開発	第5
船戸　教授† 石井　助教 松田　助教†	光機能デバイス工学研究室 (1) 窒化物半導体を用いた可視・紫外域光源の開発に関する研究 (2) 半導体のナノ局在系光物性の解明と制御に関する研究 (3) 高い時間・空間分解能を有する分光マッピング技術に関する研究 (4) 任意の波長合成を可能とするテーラーメイド光源の開発と応用に関する研究	第6
細江　准教授	自動制御工学研究室 (1) ディジタル制御系と周期時変系の解析と設計 (2) ロバスト制御系の解析と設計 (3) 確率的なダイナミクスをもつ系の解析と制御 (4) 機械系、空圧系に対する現代制御理論の応用に関する実験的研究	第7
阪本　教授	システム創成論研究室 (1) システム理論の生体計測応用 (2) 波動イメージングと逆問題 (3) 生体システム信号処理 (4) 人体電波センシング	第8
雨宮　教授 曽我部　准教授	超伝導工学研究室 (1) 超伝導体の電磁現象 (2) 超伝導マグネットの電磁特性 (3) 超電導の医療応用 (4) 超電導のエネルギー応用	第9
松尾　教授 美舩　准教授 孔　助教	電磁エネルギー工学研究室 (1) 電気電子機器に対するモデル縮約法の開発 (2) 磁性材料のマルチフィジクスモデリング (3) 電気電子機器最適設計手法の開発 (4) 高速高精度電磁界計算技術	第10

海老原 教授 謝 講師 （生存圏研究所）	電波科学シミュレーション研究室 (1) 計算機シミュレーションによる宇宙環境変動に関する研究 (2) 計算機シミュレーションを用いた非線形プラズマ波動現象の研究 (3) 宇宙－地球間の電磁気的結合に関する研究	第11
小嶋 教授 栗田 准教授 上田義 助教 （生存圏研究所）	宇宙電波工学研究室 (1) 科学衛星観測による宇宙空間プラズマ環境の研究 (2) 科学衛星搭載観測機器の超小型化に関する研究 (3) 宇宙利用のためのナノバブル水特性に関する研究	第12
篠原 教授 三谷 准教授 （生存圏研究所）	マイクロ波エネルギー伝送研究室 (1) 宇宙太陽発電所 SPS に関する研究 (2) マイクロ波を用いた無線電力伝送に関する研究 (3) マイクロ波を用いた新材料創生に関する研究	第13
中村 教授† 寺尾 准教授† （寄附講座）	優しい地球環境を実現する先端電気機器工学研究室 (1) 回転機を中心とする先端的電気機器の研究 (2) 輸送機器に関する研究 (3) 再生可能エネルギーの利用技術に関する研究 (4) 超伝導機器に関する研究	第14
米澤 教授 掛谷 准教授 後藤 准教授 秋山 准教授 池田 助教	極限電子機能工学研究室 (1) 超伝導体や磁性体の新規物質応答・機能性の研究（超伝導グループ） (2) 新規物質機能性の次世代測定技術の開発（超伝導グループ） (3) 高温超電導体のジョセフソン効果とエレクトロニクス応用（超伝導グループ） (4) 巨視的量子状態のテラヘルツ時間領域分光（超伝導グループ） (5) 耐過酷環境極微真空デバイスおよび新奇顕微質量分析技術の開発（真空電子グループ）	第15
白石 教授 プエブラ准教授 大島 准教授 芳井 助教	固体量子物性工学研究室 (1) 半導体量子スピントロニクスの研究 (2) 純スピン流物性物理の研究 (3) トポロジカル絶縁体/超伝導体・ワイル強磁性体などを用いた新奇な固体量子物性の研究 (4) 上記研究を基盤とした新機能デバイスや量子ハイブリッド系の創成と量子技術への発展	第16
竹内 教授 岡本 准教授 向井 助教	光量子情報工学研究室 (1) 光量子コンピュータ・量子シミュレータや集積光量子回路の実現に関する研究 (2) 光量子情報等への応用にむけた、極微光デバイスの実現に関する研究 (3) 光子のさまざまな量子もつれ状態の生成と制御に関する研究 (4) 量子光を用いた、高感度・高分解能の新規光計測に関する研究	第17
木本 教授 金子 准教授 三上 助教	半導体物性工学研究室 (1) 低次元半導体ナノ構造の電子輸送とデバイス応用 (2) 抵抗変化不揮発性メモリの基礎研究 (3) ワイドギャップ半導体シリコンカーバイド（SiC）パワーデバイスと高温動作集積回路	第18
小林 准教授	電子材料物性工学研究室 (1) 走査型プローブ顕微鏡を用いた新規物性計測法の開発 (2) 電子材料のナノスケール構造・物性評価 (3) 有機薄膜デバイスの開発とその光・電子物性に関する研究 (4) バイオデバイス・センサの構築へ向けた生体分子の構造機能計測	第19

ﾃﾞ ｿﾞｲｻ ﾒｰﾅｶ教授 井上 准教授 (光・電子理工学教育研究センター)	ナノプロセス工学研究室 (1) ナノプロセス技術の深化に関する研究 (2) ナノ構造における電磁界シミュレーション (3) 新機能ナノフォトニックデバイスの開発 (4) ナノ構造を導入した新機能デバイスを用いた応用研究	第20

†特定教員

※*Translation Disclaimer*

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions

The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.

Entrance Examination in February 2027 (Winter Entrance Examination)
Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
Integrated Master's-Doctoral Course Program
(Interdisciplinary Engineering Course and Advanced Engineering Course)

I. **Research Areas**

Department	Field	No	Description	Postgraduate Integrated Course Program	
				Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	Digital and Green Science and Engineering	1	**Electrical and Information Systems** (Nonlinear systems, Energy systems & mobility, Control applications & robotics) Professor Susuki, Senior Lecturer Nguyen, Assist. Professor Mochiyama	Interdisciplinary Photonics and Electronics You can select any of these research areas.	Photonics and Electronic Science and Engineering You can select any of these research areas.
		2	**Spatio-Temporal Sensing** (Spatio-temporal signal processing, Audio-visual scene analysis, Biomagnetic measurement, Functional brain imaging, Quantum magnetic sensors, Machine learning) Professor Yoshii, Assoc. Professor Ito, Assist. Professor Ueda		
		3	**Applied Digital Engineering** (Control theory, Optimization theory, Cyber physical dynamical systems) Professor Yoshio Ebihara†		
		4	**Intelligent Circuit Design** (Electrical and electronic circuits, Electro-electromagnetic circuits, Energy circuits, Circuit design by machine learning, Network mathematics) Professor Hisakado†		
		5	**Physical and Information Engineering** (Solid-state electronics, Optoelectronics, Quantum optoelectronics) Professor Asano†, Assist. Professor Yoshida		
		6	**Advanced Optoelectronic Device Engineering** (Optoelectronic materials, Optical properties and engineering, Optical application engineering) Professor Funato†, Assist. Professor Ishii, Assist. Professor Matsuda†		
	Electrical Systems	7	**Automatic Control Engineering** (Control engineering, Control theory, Numerical optimization method, System analysis) Assoc. Professor Hosoe		

		8	**Innovative Systems Theory** (Biometric applications of systems theory, Wave imaging and inverse problems, Biological systems signal processing, Human body radio wave sensing) Professor Sakamoto		
		9	**Applied Superconductivity** (Electromagnetic phenomena in superconductors, Electromagnetic characteristics of superconducting magnet, Medical applications of superconductor, Power applications of superconductor) Professor Amemiya, Assoc. Professor Sogabe		
		10	**Electromagnetic Energy Engineering** (Electromagnetics, Micromagnetics, Electromagnetic field analysis, Computational engineering) Professor Matsuo, Assoc. Professor Mifune, Assist. Professor Kong		
Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	Electrical, Systems, and Biomedical Engineering	11	**Space Radio Science Simulation** (Electromagnetic dynamics, Plasma science and engineering, Computer simulation, Space physics) Professor Yusuke Ebihara, Senior Lecturer Hsieh	Interdisciplinary Photonics and Electronics You can select any of these research areas.	Photonics and Electronic Science and Engineering You can select any of these research areas.
		12	**Space Radio Engineering** (Space radio engineering, Space plasma science and engineering) Professor Kojima, Assoc. Professor Kurita, Assist. Professor Yoshikatsu Ueda		
		13	**Microwave Energy Transmission** (Microwave engineering, Wireless power transmission, Applied microwave engineering) Professor Shinohara, Assoc. Professor Mitani		
		14	**Advanced Electric Machinery Engineering for Sustaining Global Environment** (Electrical machinery, Transportation equipment, Renewable energy, and Superconducting equipment) Professor Nakamura†, Assoc. Professor Terao†		
	Photonic, Electronic, and Quantum Science and Engineering	15	**Frontier Electronic Functional Engineering** (Superconductivity and magnetic properties, Superconducting and magnetic materials, Superconducting device engineering, Terahertz spectroscopy, Ultra-high vacuum electronics) Professor Yonezawa, Assoc. Professor Kakeya, Assoc. Professor Gotoh, Assoc. Professor Akiyama,Assist. Professor Ikeda		
		16	**Condensed-Matter Physical Electronics** (Quantum spintronics, Physical properties of pure spin current device, Physics of topological properties) Professor Shiraishi, Assoc. Professor Puebla, Assoc. Professor Ohshima Assist. Professor Yoshii		
		17	**Photonic Quantum Information** (Photon information, Nano-scale photonics, Photon measurement) Professor Takeuchi, Assoc. Professor Okamoto, Assist. Professor Mukai		
		18	**Semiconductor Science and Engineering** (Semiconductor engineering, Electronic materials, Energy transducer, Electronic device engineering) Professor Kimoto, Assoc. Professor Kaneko, Assist. Professor Mikami		
		19	**Electronic Material Science and Engineering** (Electronic material properties, Scanning probe microscopy, Nanoelectronics, Organic and bioelectronics) Assoc. Professor Kobayashi		

		20	**Nano-Process Engineering** (Optical phenomena in nanostructures, Nanostructure fabrications, Novel functional nanophotonic devices) Professor Menaka, Assoc. Professor Inoue		

†Program-specific faculty members

When submitting your application, you must select the course you will enroll in after admission from either the Interdisciplinary Engineering Course (Interdisciplinary Photonics and Electronics) or the Advanced Engineering Course (Photonics and Electronic Science and Engineering).

II. **Enrollment Capacity**

14 students shall be admitted.

III. **Application Eligibility**

(1) Those who satisfy the requirements described in "Part A: II-i Eligibility" of the Application Guidelines.

(2) Examination category

A	Those enrolled in the Integrated Master's-Doctoral Course Program, Department of Electrical Engineering or that of Electronic Science and Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto University at the time of application and expected to complete the Master's Course
B	Others not specified above

*Those who have achieved the required academic standing in their undergraduate program.

**Those who have achieved the required academic standing in their Master's Course.

Whether the written examination is waived will be notified to each applicant by the Educational Affairs Division, A Cluster Office after application.

IV. **Examination Schedule**

(1) Examination date/time and subjects

Date	Category	Time/Subject	Category	Time/Subject
February 9 (Tuesday)	B	13：00～ Oral Examinations	A	16:30～ Interview

(2) Examination Venue

The examination venue is the A Cluster of the Katsura Campus. The examination shall be conducted in person (no online option available). **Further details will be provided when the examination voucher is sent**.

V. **Examination Details**

(1) Oral Examination

・Examination Category B are eligible.

・You must explain your research content and progress during your master's program (or your research content while employed in the Special Selection for Career-Track Working Student), followed by your research plan for the doctoral program. Faculty members will then conduct questioning. The oral

examination time is approximately 20 minutes in total, including an 8-minute presentation and Q&A.
- When presenting, you should generally avoid reading from prepared notes.
- You must prepare presentation materials (limited to 5 PowerPoint slides or 5 printed A4 pages; this limit is strictly enforced) and make your presentation using your own laptop PC.
- You will not be admitted after the starting time of your exam provided when the examination voucher is sent.

(2)Interview
- Examination Category A are eligible.

- You will not be admitted after the starting time of your exam provided when the examination voucher is sent.

VI. **Successful Candidate Determination**

Candidates will be determined based on comprehensive evaluation of undergraduate academic record, graduate academic record, oral examination results (applicable candidates only), and interview results (applicable candidates only). The department will then determine final acceptance by assessing the candidate's research capabilities etc.

VII. **Application Instructions**

(1) Application for Research Area
- Select your desired area (research laboratory) on the entry screen of the online application system.
- You must contact the prospective supervisor of your desired area in advance (prior contact).
- If you have any questions or are unsure about the prospective supervisor, contact the "VII. (6) Contact Information".
- For detailed research content, refer to the department homepage (https://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/).

(2) Prior Contact

The prior contact procedure is as described in "Part A:III Application" of the Application Guidelines.

(3) Guidance on Presentation for Oral Examination

The procedure is as described in "Part A: IV-iii Guidance on Presentation for Oral Examination" of the Application Guidelines.

(4) Applicants Currently Employed

As described in "Part A: II-v Special Selection of Career-Track Working Applicants" of the Application Guidelines, applicants who are currently employed by a government agency, company, or similar organization at the time of application and who will retain that status after enrollment may apply through the Special Selection for Career-Track Student, provided they have obtained a recommendation from their supervisor in principle. For this program, applicants planning to study while employed should generally apply through it. However, if circumstances require applying through the general selection, applicants must inform their prospective supervisor during the prior contact.

(5) Additional Documents to be Submitted

Must be submitted by 4:00 PM on January 14 (Thursday) (no late submissions accepted)
- Download the forms from the Graduate School of Engineering website.
- Submit all documents listed in (a) or (b) below to "VII. (6) Additional Document Submission Address".
- Note that the submission address for application documents to the Graduate School of Engineering is different.
- If mailing, use "**Registered Mail**" or "**Simplified Registered Mail**" (internal campus mail is not acceptable).

(a) Applicants under Category A

1. Resume and Statement of Research Interests

(b) Applicants under Category B

1. Resume and Statement of Research Interests
2. Description of Research Conducted in Master's Course*(description of research conducted during employment for applicants under the Special Selection of Career-Track Working Student)
3. Description of Research Plan in the Integrated Master's-Doctoral Course Program*
4. Undergraduate Transcript (not required for those who have graduated from the Faculty of Engineering, Kyoto University)
   Graduates of foreign universities should also submit in Japanese or English whenever possible.

* Free-form style is acceptable, but it must be summarized on one sheet of A4 paper.

(6) Additional Document Submission Address / Contact Information

Educational Affairs Division (Electrical and Electronic Engineering),
A Cluster Office Bldg., Katsura Campus, Kyoto University
Kyoto-daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510, Japan
Telephone: +81-75-383-2077
E-mail: 090kakyomudenki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
(When contacting, state that your inquiry relates to admission to the Department of Electrical, Electronic and Digital Science and Engineering)
HP: https://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/en?set_language=en

VIII. **Selection of Educational Program after Enrollment**

Two programs are offered in the Doctoral Course. Successful candidates of this entrance examination will enroll in (a) or (b):

(a) Integrated Master's-Doctoral Course Program:
Interdisciplinary Engineering Course (Interdisciplinary Photonics and Electronics Science)
(b) Integrated Master's-Doctoral Course Program:
Advanced Engineering Course (Photonics and Electronics Science and Engineering)

Which program a candidate will enroll in is determined based on the candidate's preference and the judgment of the prospective supervisor. For detailed information, refer to the Graduate School of Engineering website ("Educational Programs": https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69/dosj69-en) and "IX. Educational Programs".

IX. **Educational Programs**

【Interdisciplinary Engineering Course (Interdisciplinary Photonics and Electronics Science)】

In the 21st century, it is predicted that the volume of information processing and energy consumption will increase explosively on a global scale. This will bring the performance limitations of hardware built on existing materials and concepts, as well as the depletion of the earth's resources, into sharp focus. To contribute to solving these challenges and to lead the world in the field of opto-electronic science, it is crucial to pioneer new academic fields by integrating multiple diverse disciplines—such as electrical engineering, systems engineering, electronic engineering, quantum materials engineering, materials science, chemical engineering, optical functional engineering, integrated systems engineering, quantum physics engineering, and digital engineering—and to cultivate the young researchers and highly skilled engineers who will drive

these fields forward.

This educational program, through education and research that pioneers interdisciplinary areas in opto-electronic science, aims to cultivate individuals who possess not only a high level of specialized knowledge and ability in new academic fields, but also the innovative creativity to generate concepts and functions that surpass existing physical limitations. We will promote globally-conscious education and research in convergent fields, including: realization of novel optical devices and high-efficiency solid-state lighting through ultimate photon control, realization of environment-resistant devices and ultra-large-scale integrated systems through extreme electron control, development of novel functional devices and new processes using light, spin, and ions, creation and property control of strongly correlated electron systems and molecular nano-materials, control of high-density energy systems and its fundamental theory, nano-level measurement using new physical phenomena and the exploration of its scientific principles, design of functional devices utilizing advanced digital technologies.

Through foundational and advanced lectures by our internationally distinguished faculty, an educational approach utilizing tailor-made curricula and internships suited to each student's goals, and cutting-edge interdisciplinary research conducted in cooperation with Photonics and Electronics Science and Engineering Center, we will nurture a broad perspective, high originality, a global mindset, and independence. In doing so, we will cultivate the next generation of leaders in the field of opto-electronic science.

【Advanced Engineering Course (Photonics and Electronics Science and Engineering)】

To realize the next-generation social systems in which the real and virtual worlds are highly integrated, we cultivate individuals who possess both broad scientific knowledge and a rich, flexible creativity. This is achieved through a curriculum that covers everything from the fundamentals of hardware and software to the most advanced research, and through the mastery of science and technology at the frontiers of the electrical, electronic, and digital science and engineering fields, spanning from devices to systems. The education and research promoted by this program aim for the ultimate control and understanding of light and electrons. In photonics, our goal is to manipulate light at will, enabling the emission and detection of light of any wavelength, intensity, and direction. In electronics, we aim to transcend conventional concepts through novel devices and quantum effects. We advance education and research in fields where we have achieved world-class results. This includes the creation of new materials and devices such as photonic crystals, wide-gap semiconductors, molecular nano-devices, and quantum condensate devices; innovative nano-processes using power devices, electrons, photons, and ions; and cutting-edge applications of superconductivity, electromagnetic field analysis, system control, and data science. Specific application areas include the construction of low-environmental-impact energy systems and biosensing highly integrated with machine learning. Through this program, we cultivate individuals who, by the time they obtain their doctorate, are independent, possess broad expertise, and are top-tier professionals capable of succeeding internationally.

X. **Faculty Members and Research Descriptions**

Faculty members	Research descriptions	Category
Professor Susuki Senior Lecturer Nguyen Assist. Professor Mochiyama	Electrical and Information Systems (1) Theory of nonlinear and multi-degree-of-freedom dynamical systems with applications to data-driven engineering (2) Formal method-based control of complex dynamical systems (3) Analysis, control, and design of energy and mobility systems (4) Control applications, including robotics and best-effort motor drive	1st
Professor Yoshii Assoc. Professor Ito Assist. Professor Ueda, H.	Spatio-Temporal Sensing (1) Multimodal spatio-temporal signal processing (audio, images, and magnetic fields) (2) Probabilistic modeling with physical constraints and deep learning (3) Biological magnetic measurement using optical quantum magnetic sensors (4) Brain function imaging with MRI	2nd

Professor Yoshio Ebihara†	Applied Digital Engineering (1) Analysis and synthesis of dynamical systems using convex optimization (2) Reliability verification of AI and neural networks (3) Numerical solution for large-scale cone programming problems (4) Application of advanced control theory to real systems	3nd
Professor Hisakado†	Intelligent Circuit Design (1) Circuit systems including electromagnetics (2) Modeling of high-speed and high-frequency circuits, and system reliability (3) Circuit design using machine learning (4) Power electronics, interactive control, and power system diagnostics	4th
Professor Asano† Assist. Professor Yoshida	Physical and Information Engineering (1) Development and application of high beam quality, high brightness semiconductor lasers using photonic crystals (2) Research on the functionalization of photonic crystal lasers (beam deflection control, short pulse generation, etc.) (3) Research on high-efficiency light sources and energy conversion using thermal radiation control (4) Research on flexible photon control using high-Q nano-resonators and ultra-micro optical circuits (5) Development of next-generation photonic crystals using wide-gap Semiconductors	5th
Professor Funato† Assist. Professor Ishii Assist. Professor Matsuda†	Advanced Optoelectronic Device Engineering (1) Research on the development of visible and ultraviolet light sources using nitride semiconductors (2) Research on the elucidation and control of optical properties of semiconductor nanoconfinement systems (3) Research on spectroscopic mapping technology with high temporal and spatial resolution (4) Research on the development and application of tailor-made light sources capable of arbitrary wavelength synthesis	6th
Assoc. Professor Hosoe	Automatic Control Engineering (1) Analysis and design of digital control systems and periodic time-varying systems (2) Analysis and design of robust control systems (3) Analysis and control of systems with probabilistic dynamics (4) Experimental research on the application of modern control theory to mechanical and pneumatic systems	7th
Professor Sakamoto	Innovative Systems Theory (1) Application of system theory to biomedical measurement (2) Wave imaging and inverse problems (3) Biomedical signal processing (4) Human body radio wave sensing	8th
Professor Amemiya Assoc. Professor Sogabe	Applied Superconductivity (1) Electromagnetic phenomena in superconductors (2) Electromagnetic characteristics of superconducting magnets (3) Medical applications of superconductivity (4) Energy applications of superconductivity	9th
Professor Matsuo Assoc. Professor Mifune Assist. Professor Kong	Electromagnetic Energy Engineering (1) Development of model reduction methods for electrical and electronic devices (2) Multiphysics modeling of magnetic materials (3) Spatio-temporal computational electromagnetics and its applications (4) High-speed, high-precision electromagnetic field calculation technology	10th

Professor Yusuke Ebihara Senior Lecturer Hsieh (Research Institute for Sustainable Humanosphere)	Space Radio Science Simulation (1) Research on space environment variations using computer simulations (2) Research on nonlinear plasma wave phenomena using computer simulations (3) Research on electromagnetic coupling between space and Earth	11th
Professor Kojima Assoc. Professor Kurita Assist. Professor Ueda, Y. (Research Institute for Sustainable Humanosphere)	Space Radio Engineering (1) Research on the plasma environment in space using scientific satellite observations (2) Research on the miniaturization of scientific satellite observation equipment (3) Research on the properties of nanobubble water for space applications	12th
Professor Shinohara Assoc. Professor Mitani (Research Institute for Sustainable Humanosphere)	Microwave Energy Transmission (1) Research on Space Solar Power Stations (SPS) (2) Research on wireless power transmission using microwaves (3) Research on the creation of new materials using microwaves	13th
Professor Taketsune Nakamura† Assoc. Professor Terao† (Endowed chair)	Advanced Electric Machinery Engineering for Sustaining Global Environment (1) Research on advanced electrical machinery centered on rotating machines (2) Research on transportation equipment (3) Research on utilization technologies for renewable energy (4) Research on superconducting equipment	14th
Professor Yonezawa Assoc. Professor Kakeya Assoc. Professor Gotoh Assoc. Professor Akiyama Assist. Professor Ikeda	Frontier Electronic Functional Engineering (1) Research on new material responses and functionalities of superconductors and magnetic materials (Superconductivity Group) (2) Development of next-generation measurement technologies for new material functionalities (Superconductivity Group) (3) Josephson effect and electronic applications of high-temperature superconductors (Superconductivity Group) (4) Terahertz time-domain spectroscopy of macroscopic quantum states (Superconductivity Group) (5) Development of extreme environment-resistant ultra-high vacuum devices and novel micro-mass analysis technologies (Vacuum Electronics Group)	15th
Professor Shiraishi Assoc. Professor Puebla Assoc. Professor Ohshima Assist. Professor Yoshii	Condensed-Matter Physical Electronics (1) Research on semiconductor quantum spintronics (2) Research on pure spin current physical properties (3) Research on novel solid-state quantum properties using topological insulators/superconductors, Weyl ferromagnets, etc. (4) Creation of new functional devices and quantum hybrid systems based on the above research, and their development into quantum technology	16th
Professor Takeuchi Assoc. Professor Okamoto Assist. Professor Mukai	Photonic Quantum Information (1) Research on the realization of optical quantum computers, quantum simulators, and integrated optical quantum circuits (2) Research on the realization of ultra-small optical devices for applications in optical quantum information and related fields (3) Research on the generation and control of various quantum entangled states of photons (4) Research on new high-sensitivity, high-resolution optical measurement techniques using quantum light	17th
Professor Kimoto Assoc. Professor Kaneko Assist. Professor Mikami	Semiconductor Science and Engineering (1) Research on electron transport and device applications of low-dimensional semiconductor nanostructures (2) Fundamental research on resistive change non-volatile memory (3) Wide-bandgap semiconductor silicon carbide (SiC) power devices and high-temperature operation integrated circuits	18th

Assoc. Professor Kobayashi	Electronic Material Science and Engineering (1) Development of novel physical property measurement methods using scanning probe microscopy (2) Evaluation of nanoscale structure and physical properties of electronic materials (3) Development of organic thin-film devices and research on their optical and electronic properties (4) Measurement of the structure and function of biomolecules for the construction of biodevices and biosensors	19th
Professor Menaka Assoc. Professor Inoue (Photonics and Electronics Science and Engineering Center)	Nano-Process Engineering (1) Research on the advancement of nano process technology (2) Development and evaluation of nano structures for thermal control (3) Analysis, fabrication, and evaluation of photonic nano structure lasers (4) Electromagnetic field simulation in nano structures	20th

†Program-specific faculty members

化学理工学専攻

Ⅰ．トラック別志望区分

１．物理・量子化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム	
		連携教育プログラム	
		融合工学コース	高度工学コース
３０１	量子理論化学分野 教授 佐藤 啓文　准教授 森 俊文 講師 NGUYEN, Thanh Phuc　助教 杉山 佳奈美　浦谷 浩輝 量子化学・統計力学理論の開発と応用，溶液，蛋白質など凝縮系・材料における化学反応・化学過程のダイナミクスと機構の解明	―	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
３０２	分子理論化学分野 本区分は，今年度，募集は行わない。	―	
３０３	量子機能化学分野 本区分は，今年度，募集は行わない。	―	
３０４	触媒反応化学分野 教授 寺村 謙太郎　准教授 井口 翔之　助教 浪花 晋平 不均一系および均一系触媒開発の基礎化学，光触媒化学および環境触媒化学，酸化還元触媒，固体酸塩基触媒，触媒反応ダイナミクス，触媒物性と機能発現	―	
３０５	光有機化学分野 准教授 東野 智洋　助教 OSTERLOH, W. Ryan 人工光合成系の構築，有機太陽電池の開発，ナノカーボン材料の創製，典型元素の特徴を活かした機能性有機材料の開発	―	
３０６	物性物理化学分野 教授 関 修平　准教授 田中 隆行　助教 筒井 祐介 物性物理全般（光機能分子設計・物性計測・反応解析・活性化過渡種），高分子物性，分子集合体物性，ナノ構造物性	―	
３０７	量子物質科学分野 教授 水落 憲和　准教授 森岡 直也　古板 恭子 助教 西川 哲理 無機スピンーフォトニクス材料の創製，ダイヤモンド中の発光中心，超高感度・超高分解能センサ，バイオイメージング	―	
３０８	分子レオロジー分野 教授 石毛 亮平 高分子に関わるソフトマター物理化学，液晶場を活用した高分子の配列・配向制御とそれに基づく機能化，散乱法と各種分光法を駆使した高分子の構造解析と構造－物性相関の解明	―	
３０９	有機分子材料分野 教授 梶 弘典　准教授 鈴木 克明　助教 CHOI, Heekyoung 有機デバイス（特に有機 EL）の創製と基礎科学の構築，有機デバイス応用のための量子化学計算，有機合成，固体 NMR および DNP-NMR による構造―有機デバイス機能相関の解明	―	
３１０	量子分子科学分野 教授 佐藤 徹 振電相互作用，機能性分子の理論設計，反応性指標	―	
３１１	細孔物理化学分野 教授 SIVANIAH, Easan 講師 NAMASIVAYAM, Ganesh Pandian 多孔質物質の水の浄化への応用，多孔性物質のガス分離への応用	―	
５０４	物理有機化学分野 教授 松田 建児　講師 東口 顕士　助教 清水 大貴 物理有機化学、有機機能材料化学、有機ナノテクノロジー、超分子光化学、光応答分子システム、分子エレクトロニクス材料	―	
６０５	エネルギープロセス工学分野 教授 田辺 克明　助教 宮本 奏汰 計算材料科学，プロセスインフォマティクス，再生可能エネルギー，成形加工，材料構成則，太陽電池，水素貯蔵，核融合，宇宙用デバイス，機能性高分子	応用力学分野	

２．有機化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム 連携教育プログラム 融合工学コース	対応する教育プログラム 連携教育プログラム 高度工学コース
１０４	**有機反応化学分野** **教授 大宮 寛久　准教授 長尾 一哲　助教 村上 翔** 有機反応化学，有機合成，創薬化学，ケミカルバイオロジー	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
１０５	**有機分子化学分野** **教授 中尾 佳亮　助教 柏原 美勇斗　加藤 夏己** 有機合成，有機金属，触媒反応，電子共役材料，有機元素化学	—	
２０４	**基礎炭化水素化学分野** **准教授 三木 康嗣　助教 MU, Huiying** 高機能性造影剤による腫瘍イメージング、生体内環境を可視化する分子プローブの開発	—	
２０５	**先端医工学分野** **准教授 木村 祐　助教 三浦 理沙子** 疾患特異的分子プローブ、および診断と治療を同時に実現するセラノスティクスプローブの設計・合成・機能評価、均一系触媒を用いる機能性分子の原子効率的合成	生命・医工融合分野	
２０７	**触媒有機化学分野** **教授 藤原 哲晶　講師 仙波 一彦** 新規遷移金属錯体触媒の開発，反応機構解明ならびに機能開拓、環境保全に資する高効率分子変換反応の開発	—	
２０９	**有機分子変換化学分野** **教授 中村 正治　准教授 磯崎 勝弘** **講師 PINCELLA Francesca　助教 道場 貴大** 新たな有機金属反応活性種の創出と新規機能性有機分子および超分子の創製による化学資源活用型の有機合成反応の開発	—	
２１０	**構造有機化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—	
２１１	**遷移金属錯体化学分野** **教授 大木 靖弘　助教 谷藤 一樹　伊豆 仁** 遷移金属クラスター錯体の設計・合成および反応性開拓、金属-硫黄タンパクの生物無機化学、エネルギー変換を志向した分子触媒の開発	—	
２１３	**有機機能化学分野** **教授 深澤 愛子　准教授 PACKWOOD, Daniel** 光・電子機能性有機材料の創製を指向した新奇パイ共役分子の設計・合成法開発と集合体機能の探求、電子受容性炭化水素の創製と機能開拓，特異な電子状態をもつ共役電子系の創製	—	
５０１	**有機設計学分野** **教授 杉野目 道紀　准教授 LINTULUOTO, Juha** **講師 山本 武司　助教 良永 裕佳子** 新反応開拓、機能分子の合成化学、新規有機金属反応剤のデザイン及び創製、新規精密重合反応の開拓、新しい触媒的不斉反応システムの開拓、キラルらせん高分子の機能開拓	—	
５０２	**有機合成化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—	
５０３	**機能化学分野** **教授 生越 友樹　助教 加藤 研一　大谷 俊介** 分子空間化学、超分子材料化学、超分子触媒の開拓、カーボン空間材料の創製、高分子リン光物質の創製	—	
５０５	**有機金属化学分野** **教授 石田 直樹　助教 奥村 慎太郎** 有機化学および有機金属化学における新現象の発見、社会的な要求に応える合成反応と機能性有機化合物の開発	—	

３．無機・分析化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム 連携教育プログラム 融合工学コース	対応する教育プログラム 連携教育プログラム 高度工学コース
１０１	**機能材料設計学分野** **教授 藤田 晃司　准教授 YI, Wei　助教 小畑 由紀子** 機能材料の設計，無機合成化学，無機材料の精密構造解析	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
１０２	**無機構造化学分野** **准教授 下間 靖彦** 無機構造化学，レーザー化学，アモルファス工学，機能性ナノ材料	—	
１０３	**応用固体化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—	
２０１	**固体化学分野** **教授 陰山 洋　准教授 高津 浩　ZHU, Tong　助教 加藤 大地** 固体化学を基盤とする複合アニオン化合物や水素材料等の新物質開発と合成法の開拓、超伝導体、磁性体、誘電体、電池材料、触媒などの新機能創出	—	
２０２	**工業電気化学分野** **教授 安部 武志　助教 宮原 雄人 坂本遼** 電気化学、リチウム電池や燃料電池の反応とその材料、界面における電子・イオンの移動、イオン導電性材料、ナノ材料の合成	—	
２０３	**機能性材料化学分野** **准教授 西 直哉　助教 横山 悠子** 界面科学、界面現象と界面構造形成、界面の分光化学的解析、油水２相系およびイオン液体をもちいる機能性柔軟界面の構築	—	
２０６	**触媒機能化学分野** **教授 阿部 竜　講師　鈴木 肇** 太陽光エネルギー変換・人工光合成のための新規光触媒開発、環境汚染物質浄化のための光触媒・触媒開発、高効率有機資源変換のための新規触媒反応設計	—	
２０８	**触媒設計工学分野** **准教授 松井 敏明** 燃料電池構成材料と電極反応、炭化水素からの水素製造触媒、環境浄化やエネルギー変換のための無機材料、機能性無機材料の物性評価	—	
２１２	**同位体利用化学分野** **教授 佐藤 哲也　助教 小澤 直也** 原子番号が 100 を超える重元素・超重元素の化学的性質の解明，機能性表面をもつ放射線検出器の開発およびこれを利用した迅速単一原子溶液化学研究手法の開拓，有用放射性同位体の合成・化学的分離手法開発	—	
５１０	**分子集合体化学分野** **教授 古川 修平** 機能性錯体化学，超分子固体化学、多孔性材料、動的結晶材料、ソフトマテリアル，化学的多様性をもつ材料	生命・医工融合分野	

４．高分子化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム 連携教育プログラム 融合工学コース	対応する教育プログラム 連携教育プログラム 高度工学コース
１０７	**高分子機能物性分野** **教授 浦山 健治　准教授 堀中 順一　助教 大林 駆** 高分子レオロジーソフトマテリアルの物理化学，高分子力学物性，高分子ゲル，高分子液晶材料，天然高分子材料	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う

１０８	**生体材料化学分野** **教授 沼田 圭司　講師 大前 仁** **助教 辻 優依　LAW, Simon Sau Yin　渡部 康羽** 高分子材料化学，生体高分子材料，生体機能材料，バイオマテリアル	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
４０１	**先端機能高分子分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	生命・医工融合分野	
４０２	**機能高分子合成分野** **教授 杉安 和憲　助教 渡邊 雄一郎　深谷 菜摘** 高分子合成，機能性高分子，超分子ポリマー，自己集合，導電性高分子，分子マシン，ゲル，ソフトマテリアル	生命・医工融合分野	
４０３	**高分子生成論分野** **教授 大内 誠　助教 西川 剛** 高分子合成，精密重合，リビング重合，ラジカル重合，カチオン重合，機能性高分子，高分子精密合成，重合触媒設計，配列制御，環状高分子	生命・医工融合分野	
４０４	**重合化学分野** **教授 田中 一生　准教授 権 正行　助教 伊藤 峻一郎** 重合化学，有機合成化学，元素化学，無機高分子，ヘテロ原子含有共役系高分子，有機－無機ハイブリッド材料，重合中間体の化学	生命・医工融合分野	
４０５	**生体機能高分子分野** **教授 佐々木 善浩　助教 水田 涼介　鈴木 美加** 生体高分子の自己組織化と機能，バイオインスパイアード科学，バイオハイブリッド材料，環境応答材料，生体膜工学，ナノ粒子，DDS，再生医療	生命・医工融合分野	
４０６	**高分子機能学分野** **教授 大北 英生　准教授 山本 俊介** 高分子ナノ構造，高分子光・電子物性，有機薄膜太陽電池，有機電気化学トランジスタ，光化学，光物理，高分子薄膜，電子移動，分光法	—	
４０７	**高分子分子論分野** **教授 中村 洋　准教授 井田 大地　助教 領木 研之** 高分子溶液学，光・小角 X 線散乱法，粘度法を用いた高分子溶液の性質の解明，溶液中の孤立高分子，高分子鎖ダイナミクス，高分子集合体の分子論的理解	—	
４０８	**基礎物理化学分野** **教授 古賀 毅　准教授 古谷 勉　助教 出垣 大貴** 高分子物性に関する理論・計算機シミュレーション・実験，高分子系の相転移，相転移ダイナミクス，高分子レオロジー，ゲルの物理化学，高分子の結晶化機構	—	
４０９	**高分子物質科学分野** **教授 竹中 幹人　准教授 小川 紘樹** **助教 中西 洋平　柴崎 和樹** 高分子構造，高分子固体物性，高分子高次構造解析と制御，高分子系の相転移のダイナミクス，中性子・X 線・光散乱，光学・電子顕微鏡，ブロックコポリマーの誘導自己組織化，高分子結晶	—	
４１０	**高分子材料設計分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—	
４１１	**高分子制御合成分野** **教授 山子 茂　助教 秋吉 美里** 制御重合，精密高分子合成，リビング重合，ラジカル重合，ラジカル反応，環状 π 共役分子，有機合成化学，元素化学，機能性材料，ソフトマテリアル，高分子結晶	—	
４１２	**生命分子化学分野** **教授 林 剛介** ペプチド・タンパク質化学，生体分子ミメティクス，有機合成化学，進化分子工学，合成生物学，創薬科学，ケミカルバイオロジー，生化学，分子生物学，エピジェネティクス	生命・医工融合分野	
４１３	**発生システム制御分野** **教授 永樂 元次　准教授 大串 雅俊　助教 三井 優輔** 再生医療，幹細胞工学，細胞生物学，発生生物学，多細胞動態，医療用デバイス	生命・医工融合分野	

５．生物化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム	
		連携教育プログラム	
		融合工学コース	高度工学コース
１０６	**材料解析化学分野** **准教授 小山 宗孝　野中 洋** 電気化学分析，ケミカルバイオロジー，生体分子化学，脳神経化学	―	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
５０６	**生物有機化学分野** **准教授 田村 朋則** 生物有機化学、機能性生命分子のデザインと創製、in vivo 有機化学の開拓、超分子バイオマテリアル、ケミカルバイオロジー	生命・医工融合分野	
５０７	**分子生物化学分野** **教授 高橋 重成　助教 植田 誉志史** 分子生理学、医化学、がん生物学、化学進化、進化生物学、分子医工学、創薬工学、生体イオン制御、細胞内シグナリング	生命・医工融合分野	
５０８	**生体認識化学分野** **教授 三木 裕明　准教授 船戸 洋佑　助教 橋爪 脩** 生化学、分子生物学、細胞生物学、脳神経生物学、がん生物学、細胞内シグナル伝達、生体金属イオン制御	生命・医工融合分野	
５０９	**生物化学工学分野** **教授 跡見 晴幸　准教授 佐藤 喬章　助教 道盛 裕太** 微生物ゲノムを基盤とした生物化学・生物工学、極限環境微生物の代謝生理、遺伝子工学、ゲノム工学、生体機能化学、合成生物学、システムズ生物学、生物進化学	生命・医工融合分野	

６．化学工学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム	
		連携教育プログラム	
		融合工学コース	高度工学コース
６０１	**ソフトマター工学分野** **教授 山本 量一　准教授 谷口 貴志** **助教 MOLINA LOPEZ, John Jairo** 複雑流体・ソフトマターの移動現象や非平衡プロセスに関する基礎的研究，特に，計算機シミュレーションを用いた高分子液体・コロイド分散系・ベシクル。細胞組織などに関する基礎研究	応用力学分野	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
６０２	**界面制御工学分野** **准教授 渡邉 哲　助教 平出 翔太郎** 界面制御工学，ナノ拘束空間工学，特に，分子やイオンのナノ細孔空間特有の挙動と構造，吸着場や液膜場によるナノ粒子群の構造形成と制御，秩序相・固相発生過程の基礎研究	応用力学分野	
６０３	**反応工学分野** **教授 河瀬 元明　講師 蘆田 隆一　助教 丸山 博之** 反応工学，材料反応工学，電気化学反応工学，特に，気相材料合成反応と燃料電池等の電気化学反応プロセスのモデリング，劣質炭素資源の新しい転換プロセスの開発	―	
６０４	**分離工学分野** **教授 佐野 紀彰　助教 鈴木 哲夫** 分離工学，吸着工学，乾燥工学，特に電界，高周波電磁場，放電を利用した分離法・材料プロセスの開発，ナノ材料の合成・エネルギー分野への応用	―	
６０６	**材料プロセス工学分野** **准教授 長嶺 信輔** 材料プロセス工学，特に微粒子，ファイバー，多孔質材料の創製，構造制御と機能発現，材料プロセス工学に基づいた新規食品の開発	―	

６０７	**プロセスシステム工学分野** **教授 外輪 健一郎　講師 殿村 修** プロセスシンセシス，プロセスの最適設計・操作，プロセス制御・監視・データ解析，マイクロ化学プラントの最適設計・操作に関する研究	応用力学分野	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
６０８	**環境プロセス工学分野** **准教授 牧 泰輔　助教 村中 陽介** 環境プロセス工学，マイクロ化学操作論，環境反応工学，特に，バイオマスの新規転換法の開発，マイクロリアクターの開発と設計・操作論，生分解性プラスチックの分解挙動に関する研究	―	
６０９	**粒子工学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	―	
６１０	**グリーンプロセス工学分野** **准教授 中川 浩行** グリーンプロセス工学，低品位炭素資源転換工学，特に水素の効率的な生成と有効利用法の開発に関する研究，二酸化炭素排出抑制のためのプロセス開発	―	
６１１	**動的界面化学分野** **教授 MCNAMEE, Cathy Elizabeth** 音や液流，磁場といった非平衡状態がもたらす界面現象についての研究，特に身近に存在する実在系の安定性を決定づける表面間力の制御。得られた知見に基づく様々な機能性薄膜の創製に関する研究	―	
６１２	**移動現象論分野** **教授 前多 裕介　助教 別府 航早** 分子・エネルギー・情報の流れに関する移動現象論，特に，アクティブマターの運動と構造，分子モーターのエネルギー論，細胞と細胞組織の合成生物化学など，自律的に流れを制御する新規材料の基礎研究	応用力学分野	

Ⅱ．募集人員

2027 年 4 月期入学　：　15 名
2027 年 10 月期入学：若干名

入学時期についてインターネット出願システム上で、2027 年度 4 月期または 10 月期のいずれかを選択すること。出願後に入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。

Ⅲ．出願資格

（1）募集要項 Part A「Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

（2）受験区分

A	京都大学大学院工学研究科化学系（材料化学専攻、物質エネルギー化学専攻、分子工学専攻、高分子化学専攻、合成・生物化学専攻及び化学工学専攻）修士課程修了（見込）者*
B	上記以外の受験者

Ⅳ．学力検査日程

（1）試験日時、試験科目

期日	受験区分	時間・科目
２月９日（火）	B	１３：００～１５：３０ 専門科目
２月１０日（水）	ＡＢ	９：００～ 研究経過・計画の発表および口頭試問

（2）試験場

試験は桂キャンパス A クラスターで行う。詳細は後日通知する

Ⅴ．入学試験詳細

（1）筆記試験（受験区分 B）

試験室では必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。試験開始時刻の 20 分前までに入室すること。試験開始時刻から 30 分経過後は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退室を認めない。使用できる筆記器具は鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削りに限る。コンパス、定規、電卓等の持ち込みは認めないが、専門科目の試験時には、受験者に関数電卓を貸し出す場合がある。携帯電話、スマートウォッチ、イヤホン、ウェアラブル端末を含む電子機器類は、電源を切り、カバンにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合は不正行為とみなすので、注意すること。ただし計時機能のみを有する時計の持ち込みは認める。計時機能のみの時計を持ち込む場合、試験中にアラーム音や操作音が鳴らないよう、事前に設定を解除すること。

［英語］配点 100 点

学力検査日（2 月 9 日）から過去 2 年以内に受験した TOEIC および TOEFL テストの成績を 100 点満点に換算する。このため、下記の指定されたいずれかの提出物を、下記に指定された方法によって提出すること。なお、日本国籍を所持せず英語を公用語とする国・地域（アメリカ合衆国、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国、オーストラリア連邦を含む）の国籍を有し、英語を母語とする受験者に対してはこれを免除するので、「英語を母語とする旨の宣誓書」を下記に指定された方法によって提出すること。テストの成績または宣誓書の提出がない場合には、理由にかかわらず英語の得点は 0 点となる。

<TOEIC>

TOEIC Listening & Reading Test 公開テストの「公式認定書」（Official Score Certificate）の原本、または「デジタル公式認定書」（Digital Official Score Certificate）を印刷したものを以下の 1)または 2)のいずれかの方法により提出すること。TOEIC の IP テストの成績は受け付けない。

1）2 月 2 日（火）の午前 9 時から午後 5 時の間に、A クラスター事務区教務掛へ直接提出。

2）書留郵便の場合は、2 月 2 日（火）に配達されるように配達日指定して「Ⅸ．その他（2）に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛に郵送。国際郵便または国際宅配便の場合には、2 月 2 日（火）までに配達されるよう、「Ⅸ．その他（2）に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛に送付。

<TOEFL>

TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ有効。TOEFL-iBT (Special) Home Edition や、TOEFL-iBT の MyBest スコア、TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は認めない。TOEFL 実施機関（ETS: Educational Testing Service）から、Institutional Score Report が京都大学工学研究科化学理工学専攻に 2 月 2 日（火）までに届くように余裕を持って手続きすること。手続きの際は送付先の DI（Designated Institutional）コード：9501、Department コード：69 を指定すること。併せて、送付手続きを行った Institutional Score Report と同一テスト日の Test Taker Score Report を以下 1)または 2)のいずれかにより提出すること。

1）2 月 2 日（火）の午前 9 時から午後 5 時の間に、A クラスター事務区教務掛へ直接提出。

2）書留郵便の場合は、2月2日（火）に配達されるように配達日指定して下記宛先に郵送。国際郵便または国際宅配便の場合には、2 月 2 日（火）までに配達されるよう、「IX．その他（2）に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛に送付。

<英語を母語とする旨の宣誓書>

英語を母語とする受験者で、英語試験の免除を希望する場合には、「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式化学理工 D）を提出すること。様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

1）2 月 2 日（火）の午前 9 時から午後 5 時の間に、A クラスター事務区教務課へ直接提出。

2）書留郵便の場合は 2 月 2 日（火）に配達されるように配達日指定して「IX．その他（2）に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛に郵送。国際郵便または国際宅配便の場合には、2 月 2 日（火）までに配達されるよう、「IX．その他（2）に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛に送付。

［専門科目］配点 200 点

無機化学・有機化学・物理化学・分析化学・高分子合成・高分子物性・生物化学・生物工学・数学・反応工学・基礎物理学・単位操作・プロセス制御の 13 科目から事前に選択した 2 科目を解答。事前に選択した科目は変更できない。科目の選択にあたってはあらかじめ志望区分の代表教員に相談すること。ただし、数学の出題範囲は微分積分学、線形代数学、常微分方程式とし、基礎物理学の出題範囲は、力学、熱力学、統計力学とする。

（2）口頭試問（受験区分 A・B）

受験票を携帯のうえ、発表開始時刻の 20 分前までに所定の控室に入室し、係員の指示に従うこと。

［研究経過・計画の発表および口頭試問］配点 300 点

(a) 修士論文研究または最近の研究についての「研究説明」と博士後期課程における「研究計画」に関する 20 分の発表と、発表内容や基礎学力についての 10 分程度の口頭試問。「研究説明」について A4 用紙 2 頁、「研究計画」について A4 用紙 1 頁（計 3 頁、両面印刷可）にまとめて綴じた「事前提出資料」16 部を下記の指定形式にしたがって作成し、氏名と研究題目を記入のうえ、期日までに提出すること。期限および提出方法は「VI. 出願要領（4）」を参照のこと。博士後期課程における研究計画の策定にあたっては募集要項「Part A IV. 入学者選抜方法」に記載の事項に留意すること。

事前提出資料の指定様式

用　紙：A4 版（両面印刷可）

書　式：

「研究内容」第 1〜2 行目　研究題目（14 ポイント）

次行　研究を実施した研究機関名（12 ポイント）

次行　氏名（12 ポイント）

1 行空けて研究説明本文を記入。2 頁以内。本文の書き方は自由であるが、学会等の標準的な要旨の書き方にならって作成し、各頁に頁番号を入れること。また、2 頁目の最後に、「研究業績リスト」として掲載済みまたは受理が決定した学術論文、本人が発表した学会発表実績、および受賞歴のうち代表的なものを記載すること。修士論文研究以外の研究内容を記載しようとする

場合には、志望区分の代表教員に事前に相談すること。
「研究計画」第 1～2 行目　博士課程での研究計画題目（14 ポイント）
次行　現在の所属機関名
次行　氏名（12 ポイント）
1 行空けて研究計画を 1 頁以内で記入。

(b) 発表は受験者が持参した PC 等を、試験室に備えたプロジェクタ（HDMI または RGB 接続）に接続して行う。PC および接続などに必要なコネクター等は各自持参すること。

（3）有資格者及び合格者決定方法
筆記試験および口頭試問の結果に基づいて合否判定を行う

Ⅵ. 出願要領

（1）　事前相談
出願にあたっては、あらかじめ志望区分の代表教員に必ず連絡をとり、専門科目で選択する科目および研究計画等について相談しておくこと。

（2）　専門科目の選択
専門科目で選択する科目をインターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。英語での受験を希望する場合には「英語での受験を希望」を選択すること。ただし、A 区分の受験者は専門科目を受験する必要がないため、「A 区分のため不要」を選択すること。

（3）　志望区分および入学後の教育プログラムの選択
インターネット出願システムにおいて、志望区分および入学後の教育プログラムを選択すること。志望研究室に対応する志望区分を間違いなく選択すること。

（4）　修士論文研究または最近の研究についての「研究説明」について A4 用紙 2 頁、博士後期課程における「研究計画」について A4 用紙 1 頁（計 3 頁、両面印刷可）にまとめて綴じた「事前提出資料」16 部を期日までに（1）郵送、または（2）窓口持参により提出すること。
提出方法：
（1）郵送（期限 1 月 26 日（火）必着）
宛先：〒615-8510 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　A クラスター事務区教務掛（化学理工学専攻　入試担当）
（2）窓口持参：（期限 1 月 26 日（火）午後 5 時まで）
桂キャンパス A クラスター事務区教務掛

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

本専攻の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは以下の 2 種類である。

（1）　博士課程前後期連携教育プログラム「融合工学コース（「Ⅰ. トラック別志望区分」に記載のコースを参照)」
プログラムの詳細及び各融合工学コースの内容については、工学研究科HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）を参照すること。
なお、融合工学コース（物質機能・変換科学分野（5年型・4年型））は「博士課程前後期連携教育プログラム」であるため、修士課程時から選択していた進学者のみが対象となる。

(2)　博士課程前後期連携教育プログラム「高度工学コース（グローバルコース)」
詳細は「Ⅷ．教育プログラムの内容について」を参照すること。

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定される。教育プログラムの志望にあたっては、志望区分の指導予定教員に連絡を取っておくことが望ましい。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、「Ⅸ．その他」まで問い合わせること。

Ⅷ．教育プログラムの内容について

【高度工学コース（グローバルコース)】

人類を取り巻く環境の変化が加速しており、化学という学問が社会から受ける要請は広がりを見せているだけでなく、その変化も加速している。このような社会要請に応えて、化学理工学専攻では、喫緊の課題に対処するための知的価値の創出に寄与できる研究者・技術者を育成する。教育プログラムでは、基盤的な教育組織において専門知を体系的に深化させ、機動的な研究組織において分野横断的な学際知を涵養する。広範な体系からなる講義、演習科目を提供するとともに、オンザリサーチトレーニングによる実践的な研究開発能力を教授し、修了後は高度専門人材及び革新的リーダーとして、大学、研究所、化学産業に留まらず、幅広い分野で活躍できる人材を育成する。なお、本プログラムには、京都大学ジャパンゲートウェイ構想によるスーパーグローバルコースの教育内容が含まれる。また、本プログラムは英語科目のみでも修了に必要な単位を履修することができる。

Ⅸ．その他

(1)試験当日受験票を忘れた受験生は、速やかにAクラスター事務区教務掛にその旨を申し出ること。

(2)問合せ先･連絡先

〒615-8510　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 A クラスター事務区教務掛
電話：075-383-2077
E-mail：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions. **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Chemical Science and Engineering

I. Track-based Application Preference

1. Physical and Quantum Chemistry Track

Area Number	Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses	
		Integrated Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
301	Theoretical Chemistry Prof. H. Sato; Assoc. Prof. T. Mori; Senior Lecturer T. P. Nguyen; Assist. Prof. K. Sugiyama, K. Uratani Development and application of quantum chemistry and statistical mechanics theories to clarify molecular mechanisms and dynamics of chemical processes, including reactions in condensed phases such as solutions, proteins, and materials, as well as light-molecule interaction, molecular quantum dynamics and control	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
302	Molecular Theoretical Chemistry (not open for application)	—	
303	Quantum Function Chemistry (not open for application)	—	
304	Catalysis Chemistry Prof. K. Teramura; Assoc. Prof. S. Iguchi; Assist. Prof. S. Naniwa Basic chemistry for catalytic reactions, Design and development of heterogeneous and homogeneous catalysts, Catalysts for environmental technologies, Solid acid-base catalysts, Photocatalysts, Electrocatalysts, Catalyst reaction dynamics, Physical and chemical properties of catalysts and functional expression	—	
305	Photoorganic Chemistry Assoc. Prof. T. Higashino; Assist. Prof. W. R. Osterloh Construction of artificial photosynthesis system, Development of organic solar cells, Creation of nanocarbon materials, Development of functional organic materials utilizing characteristics of typical elements	—	
306	Condensed Matter Physical Chemistry Prof. S. Seki; Assoc. Prof. T. Tanaka; Assist. Prof. Y. Tsutsui Condensed Matter Physical Chemistry in general (design of optical function molecules, measurement of physical properties, reaction analysis, active transient species), Design, synthesis, and evaluation of functional molecules, Polymer physical properties, Physical properties of molecular assemblies, Physical properties of nanostructures, Analysis of transient spectral diffraction, Evaluation of electronic physical properties, Electronic element formation	—	
307	Quantum Materials Science Prof. N. Mizuochi; Assoc. Prof. N. Morioka, K. Furuita; Assist. Prof. T. Nishikawa Invention of inorganic spin-photonics materials, Luminescent center in diamond, Ultra-sensitive and ultra-high resolved sensor, Bioimaging, Quantum information devices, Quality improvement of diamond	—	
308	Molecular Rheology Prof. R. Ishige Physical chemistry of polymers, Functionalization of polymers based on control of structural and orientation order using liquid crystals, Structural analysis of polymeric materials by various scattering and spectroscopic techniques, Elucidation of structure–property correlation of polymers.	—	

309	Organic Materials Science Prof. H. Kaji; Assoc. Prof. K. Suzuki; Assist. Prof. H. Choi Invention of organic devices (specifically, organic electroluminescence and organic solar power cells) and construction of the fundamental science, Organic and polymer synthesis for organic devices application, Clarification of correlation between structures and organic device functions by solid NMR and DNP-NMR	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
310	Quantum Molecular Science Prof. T. Sato Molecular design for functional materials based on vibronic interaction, Chemical reactivity indices	—	
311	Molecular Materials Science: Porous Physical Chemistry Prof. E. Sivaniah; Senior Lecturer G. P. Namasivayam Application of porous materials to water purification, Application of porous materials to gas separation, Fundamental structure property research and applications of porosity in chemical and biochemical materials	—	
504	Physical Organic Chemistry Prof. K. Matsuda; Senior Lecturer K. Higashiguchi; Assist. Prof. D. Shimizu Physical organic chemistry, Chemistry of organic functional materials, Organic nanotechnology, Supramolecular photochemistry, Photoresponsive molecular system, and Molecular electronics materials	—	
605	Energy Process Engineering Prof. K. Tanabe; Assist. Prof. S. Miyamoto Computational materials science, Process informatics, Renewable energy, Forming and processing, Constitutive models of materials, Solar cells, Hydrogen storage, Nuclear fusion, Space devices, Functional polymers	Applied Mechanics	

2. Organic Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses	
		Integrated Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
104	Organic Reaction Chemistry Prof. H. Ohmiya; Assoc. Prof. K. Nagao; Assist. Prof. S. Murakami Design of molecular catalysts for precise control of radical and ionic reactions, Transformation of carbon resources using light energy, Chemical modification of biofunctional molecules for drug discovery, Discovery of new functionalities of organometallic compounds	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
105	Organic Molecular Chemistry Prof. Y. Nakao; Assist. Prof. M. Kashihara, N. Kato Synthesis of functional materials utilizing the characteristics of hetero elements, Synthesis of new organometallic compounds and investigation of their functions, Synthesis of bioactive organic compounds, Catalytic reaction using transition metal complex	—	
204	Hydrocarbon Chemistry Fundamental Assoc. Prof. K. Miki; Assist. Prof. H. Mu Tumor imaging using high-performance contrast agents, Development of molecular probes for visualizing in vivo environments	—	
205	Advanced Biomedical Engineering Assoc. Prof. Y. Kimura; Assist. Prof. R. Miura Design, synthesis, and functional evaluation of disease-specific molecular probe and theranostics probe that enables diagnosis and treatment simultaneously, as well as atom-efficient synthesis of functional molecules using homogeneous	Engineering for Life Science and Medicine	
207	Catalytic Organic Chemistry Prof. T. Fujihara; Senior Lecturer K. Semba Development of new transition metal catalysts and their functions, Development of highly efficient catalyst reaction which contributes to environmental preservation	—	

209	Synthetic Organotransformation Prof. M. Nakamura; Assoc. Prof. K. Isozaki; Senior Lecturer F. Pincella; Assist. Prof. T. Doba Development of organic synthetic reactions which utilizes chemical resources by creation of new organometallic reaction active species and invention of new functional organic molecules and supramolecules	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
210	Structural Organic Chemistry (not open for application)	—	
211	Organotransition Metal Chemistry Prof. Y. Ohki; Assist. Prof. K. Tanifuji, H. Izu Design, synthesis, and reaction studies of molecular compounds with multiple transition metal atoms, Bio-inorganic chemistry of sulfur-supported transition metals, Development of molecular catalysts for energy conversion	—	
213	Organic Functional Materials Prof. A. Fukazawa; Assist. Prof, D. M. Packwood Design and synthesis of novel π-conjugated systems directed toward optoelectronic functional materials, Development of electron-accepting hydrocarbons, Development of nonconventional π-conjugated systems with unusual electronic structures	—	
501	Organic System Design Prof. M. Suginome; Assoc. Prof. J. Lintuluoto; Senior Lecturer T. Yamamoto; Assist. Prof. Y. Yoshinaga Synthetic chemistry of functional molecules, design and creation of new organometallic reagents, and exploitation of new precise polymerization reactions, a new catalytic asymmetric reaction system, and new functions of chiral helical polymers	—	
502	Synthetic Organic Chemistry (not open for application)	—	
503	Functional Chemistry Prof. T. Ogoshi; Assist. Prof. K. Kato, S. Ohtani Molecular space chemistry, Supramolecular material chemistry, Development of supramolecular catalysts, Creation of carbon-rich space materials, and Polymer-based phosphorescence materials	—	
505	Organometallic Chemistry Prof. N. Ishida; Assist. Prof. S. Okumura Discovery of new phenomenon in organic chemistry and organometallic chemistry, Development of synthetic reactions and functional organic compounds	—	

3. Inorganic and Analytical Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses	
		Integrated Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
101	Functional Materials Design Prof. K. Fujita; Assoc. Prof. W. Yi; Assist. Prof. Y. Obata Synthesis, structure analysis, and physical properties of new functional oxides, Understanding of structure–property relationships in layered compounds, Epitaxial growth and physical properties of complex oxide thin films, Development of ferroelectric and piezoelectric materials	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
102	Inorganic Structural Chemistry Assoc. Prof. Y. Shimotsuma Ultrafast laser-induced structural modification of inorganic materials, Understanding of nonequilibrium structural formation mechanisms, Nano- and defect-engineering in materials, Light–matter–interaction-based photonic materials and devices	—	
103	Industrial Solid-State Chemistry (not open for application)	—	
201	Solid State Chemistry Prof. H. Kageyama; Assoc. Prof. H. Takatsu, T. Zhu; Assist. Prof. D. Kato Development of novel materials such as mixed anion compounds and hydrogen materials based on solid-state chemistry along with their synthesis methods; superconductors, magnetic materials, dielectrics, battery materials, catalysts.	—	

202	Applied Electrochemistry Prof. T. Abe; Assist. Prof. Y. Miyahara, R. Sakamoto Electrochemistry, Reaction of lithium battery and fuel cell and their materials, Movement of electron and ion on an interface, Ionic conductive materials, Synthesis of nanomaterials	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
203	Functional Materials Assoc. Prof. N. Nishi; Assist. Prof. Y. Yokoyama Interface science, Interface phenomenon and interface structure formation, Spectrochemical analysis of interface, Construction of functional flexible interface using oil-water two-phase system and ion liquid	—	
206	Catalyst Materials Prof. R. Abe; Senior Lecturer H. Suzuki Development of new photocatalysts for solar energy conversion (clean production of hydrogen from water and conversion of carbon dioxide to useful chemicals) and for cleaning environmental pollutant. Synthesis and functionalization of various semiconductor materials as efficient photocatalysts.	—	
208	Catalyst Design Engineering Assoc. Prof. T. Matsui Fuel cell constituent materials and electrode reaction, Catalysts producing hydrogen from hydrocarbon, Inorganic materials for environmental cleaning and energy conversion, Evaluation for physical properties of functional inorganic materials	—	
212	Isotope Chemistry Prof. T. Sato; Assist. Prof. N. Ozawa Chemical research on heavy and superheavy elements with atomic numbers exceeding 100, development of radiation detectors with functional surfaces and pioneering of rapid single-atom solution chemistry techniques utilizing these detectors, and synthesis and chemical separation method development for useful radioisotopes.	—	
510	Reaction Biological Chemistry: Molecular Assembly Chemistry Prof. S. Furukawa Functional coordination chemistry, Supramolecular solid-state chemistry, Porous materials, Dynamic crystalline materials, Soft materials, Materials with chemical diversity	Engineering for Life Science and Medicine	

4. Polymer Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses	
		Integrated Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
107	Polymer Physics and Function Prof. K. Urayama; Assoc. Prof. J. Horinaka; Assist. Prof. K. Obayashi Polymer rheology, multi-phase polymer materials, physical properties of biomaterials, and tissue engineering	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
108	Biomaterial Chemistry Prof. K. Numata; Senior Lecturer H. Omae; Assist. Prof. Y. Tsuji, S. S. Y. Law, Y. Watanabe Polymer chemistry, Biopolymer material, Biofunctional materials, Biomaterials	—	
401	Advanced Polymer Chemistry (not open for application)	Engineering for Life Science and Medicine	
402	Functional Polymer Synthesis Prof. K. Sugiyasu; Assist. Prof. Y. Watanabe, N. Fukaya Molecular design, Functional polymers, Supramolecular polymers, Self-assembly, Conducting polymers, Designer polymers, Colloids, Self-healing materials, Molecular recognition, Stimuli-responsive materials, Molecular machines, Gels, Soft materials	Engineering for Life Science and Medicine	
403	Synthetic Polymer Chemistry Prof. M. Ouchi; Assist. Prof. T. Nishikawa Polymer synthesis, Precision polymerization, Living polymerization, Radical polymerization, Cationic polymerization, Functional polymers, Precision synthesis of polymers, Design of polymerization catalysts, Polymerization intermediate chemistry, Sequence control, Cyclic polymer, Amphiphilic random copolymers	Engineering for Life Science and Medicine	

404	Polymerization Chemistry Prof. K. Tanaka; Assoc. Prof. M Gon; Assist. Prof. S. Ito Polymerization chemistry, Synthetic organic chemistry, Elemental chemistry, Inorganic polymers, Heteroatom-containing conjugated polymers, Organic-inorganic hybrid materials, Functional polymer, environmentally responsive polymers, Bio-related polymers, Molecular environmental sensing, Molecular imaging	Engineering for Life Science and Medicine	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
405	Bio-macromolecular Science Prof. Y. Sasaki; Assist. Prof. R. Mizuta, M. Suzuki Self-organization and functions of biopolymers, Bio-inspired science, Biohybrid materials, Environment-responsive materials, Biomembrane engineering, Protein engineering, Glycotechnology, Gel materials, Artificial cell, Drug delivery systems, Regenerative medicine	Engineering for Life Science and Medicine	
406	Polymer Structure and Function Prof. H. Ohkita; Assoc. Prof. S. Yamamoto Polymer nanostructures, Optoelectronic properties of conjugated polymers, Organic photovoltaics, Organic electrochemical transistors, Photochemistry, Photophysics, Polymer thin films, Electron transfer, Spectroscopy	—	
407	Polymer Molecular Science Prof. Y. Nakamura; Assoc. Prof. D. Ida; Assist. Prof. A. Ryoki Polymer solution science, Optical and small-angle X-ray scattering, Elucidation of polymer solution properties via viscometry, Isolated polymers in solution, Polymer chain dynamics, and molecular level understanding of macromolecular aggregates	—	
408	Fundamental Physical Chemistry Prof. T. Koga; Assoc. Prof. T. Furuya; Assist. Prof. H. Degaki Theory, computational and data science relating to polymer properties, Phase transitions of polymers, Phase transition dynamics, Polymer rheology, Physical chemistry of gels, Crystallization mechanisms of polymer	—	
409	Polymer Materials Prof. M. Takenaka; Assoc. Prof. H. Ogawa; Assist. Prof. Y. Nakanishi, K. Shibasaki Polymer structure, Solid matter physics of polymers, Analysis and control of higher-order polymer structure, Phase transition dynamics of polymer systems, Neutron, X-ray, and optical scattering analysis, Optical and electron microscopes, Directed self-assembly of block copolymers, Crystalline Polymers	—	
410	Molecular Design of Polymer (not open for application)	—	
411	Polymer Controlled Synthesis Prof. S. Yamago; Assist. Prof. M. Akiyoshi Controlled polymerization, Precision polymer synthesis, Living polymerization, Radical polymerization, Radical reactions, Cyclic π-conjugated molecules, Synthetic organic chemistry, Elemental chemistry, Functional materials, Soft materials, Crystalline polymers	—	
412	Biomolecular Chemistry Prof. G. Hayashi Peptide/protein Chemistry, Biomolecular mimetics, Synthetic organic chemistry, In vitro selection, Synthetic biology, Medicinal chemistry, Chemical Biology, Biochemistry, Molecular biology, Epigenetics	Engineering for Life Science and Medicine	
413	Developmental Systems Prof. M. Eiraku; Assoc. Prof. M. Ohgushi; Assist. Prof. Y. Mitsui Regenerative medicine, Stem cell engineering, Cell biology, Developmental biology, Multicellular dynamics, Medical devices	Engineering for Life Science and Medicine	

5. Biological Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses	
		Integrated Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
106	Analytical Chemistry of Materials Assoc. Prof. M. Oyama, H. Nonaka Nanostructured materials for electroanalysis, Chemical biology, Analytical biochemistry, Neuroscience	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
506	Bioorganic Chemistry Assoc. Prof. T. Tamura Chemical biology, Bioorganic chemistry, Design and creation of functional biomolecules, Development of in vivo organic chemistry	Engineering for Life Science and Medicine	

507	Molecular Biology Prof. N. Takahashi; Assist. Prof. Y. Ueda Molecular physiology, Medical chemistry, Cancer biology, Molecular evolution, Evolutionary biology, Molecular medical engineering, Pharmaceutical Engineering, Ion homeostasis, and Intracellular signaling	Engineering for Life Science and Medicine	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
508	Biorecognition Chemistry Prof. H. Miki; Assoc. Prof. Y. Funato; Assist. Prof. O. Hashizume Biochemistry, Molecular biology, Cell biology, Brain and neural biology, Cancer biology, Intracellular signal transduction, Biometal ion regulation	Engineering for Life Science and Medicine	
509	Biochemical Engineering: Biological Chemistry Prof. H. Atomi; Assoc. Prof. T. Sato; Assist. Prof. Y. Michimori Biochemistry/microbiology and biotechnology based on microbial genome, Metabolic physiology of extremophile, Genetic engineering, Genome engineering, Biological function chemistry, Synthetic biology, Systems biology, and Evolutionary biology	Engineering for Life Science and Medicine	

6. Chemical Engineering Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses	
		Integrated Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
601	Soft Matter Engineering Prof. R. Yamamoto; Assoc. Prof. T. Taniguchi; Assist. Prof. J. J. Molina-Lopez Fundamental research on transport phenomena of complex fluids and soft matters, and non-equilibrium process, especially the fundamental research on polymer liquids, colloidal dispersion, vesicle, and cellular structures using computer simulations	Applied Mechanics	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
602	Surface Control Engineering Assoc. Prof. S. Watanabe; Assist. Prof. S. Hiraide Surface Control Engineering, Engineering for Nanoscale Confined Space, especially behaviors and structures specific to the nanoporous spaces of molecules and ions, structure formation and control of nanoparticle aggregate in adsorption field or within wetting films, and fundamental study on ordered-phase/solid-phase generation	Applied Mechanics	
603	Chemical Reaction Engineering Prof. M. Kawase; Senior Lecturer R. Ashida; Assist. Prof. H. Maruyama Reaction Engineering, Material Reaction Engineering, and Electrochemical Reaction Engineering, especially modelling by analyses on the mechanism of reaction for the synthesis of materials via a chemical-vapor deposition and development of materials, modelling of electrochemical reaction, and development of new conversion processes of carbonaceous resources	—	
604	Separation Engineering Prof. N. Sano; Assist. Prof. T. Suzuki Separation Engineering, Adsorption Technology, Drying Technology, especially development of methods for separation and material processes utilizing electric fields, high frequency electromagnetic field, and electric discharge, and syntheses and energy applications of nano materials	—	
606	Materials Process Engineering Assoc. Prof. S. Nagamine Materials process engineering, especially development and structural control of functional materials including particles, fibers and porous materials. Development of food products based on materials process engineering	—	
607	Process Control and Process Systems Engineering Prof. K. Sotowa; Senior Lecturer O. Tonomura Research on process synthesis, optimal design and operation of processes, process control/monitoring/data analysis, and optimal design and operation of micro chemical plants	Applied Mechanics	
608	Environmental Process Engineering Assoc. Prof. T. Maki; Assist. Prof. Y. Muranaka Environmental Process Engineering, Micro Chemical Process, and Environmental Reaction Engineering, especially development of new conversion methods for biomass, development, design and operation of microreactors, degradation behavior analysis of biodegradable plastics	—	

609	Particle Engineering (not open for application)	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
610	Green Process Engineering Assoc. Prof. H. Nakagawa Green Process Engineering, and Low Rank Resource Conversion Engineering, especially research on the efficient production and utilization of hydrogen, and development of process to reduce CO_2 emission	—	
611	Dynamic Interfacial Chemistry Prof. C. E. McNamee Research on interfacial phenomena induced by non-equilibrium, such as sound, liquid flows, and magnetic fields. Research on surface forces and the fabrication of functional thin films.	—	
612	Transport Phenomena Prof. Y. Maeda; Assist. Prof. K. Beppu Research on transport phenomena pertaining to mass, energy, and information flows, with a particular emphasis on elucidating the collective motion of active matter, the energetics of molecular motors, and synthetic biology of artificial cells and multicellular tissues.	Applied Mechanics	

II. Enrollment Capacity

April 2027 Admission: 15 students

October 2027 Admission: A few students

Applicants must select either April 2027 or October 2027 enrollment on the Internet Application System. Changes to the enrollment period after application will not be permitted, so applicants must consult carefully with their prospective supervisor before deciding on the enrollment period.

III. Eligibility requirements for applicants

(1) Refer to Part A "II-i Eligibility" of the Guidelines for Applicants.

(2) Applicant Classification

Category A: Applicants who have completed or are expected to complete the Master's Program in the Chemical Engineering / Chemistry-related Departments (Department of Material Chemistry, Department of Energy and Hydrocarbon Chemistry, Department of Molecular Engineering, Department of Polymer Chemistry, Department of Synthetic Chemistry and Biological Chemistry, and Department of Chemical Engineering) of the Graduate School of Engineering, Kyoto University

Category B: Applicants other than Category A above

IV. Examination Schedule

(1) Date and time, and subjects for examination

Date	Applicant Category	Time and Subject
February 9	Category B	13:00 – 15:30 Specialized Subject
February 10	Categories A and B	From 9:00 Presentation of Research Progress and Plan, and Oral Examination

(2) Examination Venue

The examination will be conducted at Katsura Campus A Cluster. Details will be notified at a later date.

V. Details of Entrance Examinations

(1) Written examination (Applicant Category B)

Applicants must carry their examination vouchers in the examination room and follow instructions given by attendants. Enter the examination room no later than 20 minutes before the examination starts. Entry after 30 minutes from the start is not permitted. Furthermore, leaving the room during the examination time for the subject is not allowed after the

exam starts. Writing tools allowed: pencils, mechanical pencils, erasers, and pencil sharpeners. Compasses, rulers, calculators, etc. are not allowed; however, scientific calculators may be lent to applicants during specialized subject examinations. Electronic devices including mobile phones, smartwatches, earphones, and wearable terminals must be turned off, stored in bags, and placed in designated areas. Wearing them will be regarded as cheating. Watches with timekeeping functions only are permitted (disable alarms and operation sounds in advance).

[English] Allocated Score: 100 points

Scores of TOEIC and TOEFL tests taken within two years prior to the academic examination date (February 9) will be converted to a 100-point scale. Therefore, submit one of the specified documents below according to the specified method. Applicants who do not hold Japanese nationality, hold nationality of a country/region where English is an official language (including the United States of America, the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, and the Commonwealth of Australia), and speak English as their native language are exempt by submitting a "Written Declaration of Native English Speaker" via the specified method. If neither test scores nor the written declaration is submitted, the English score will be zero points regardless of reason.

<TOEIC>

Submit the original "Official Score Certificate" of TOEIC Listening & Reading Test, or a printed "Digital Official Score Certificate" by either method 1) or 2) below. TOEIC IP Test scores are not accepted.

1) Direct submission to A Cluster Office, Academic Affairs Division between 9:00 AM and 5:00 PM on February 2 (Tue.).

2) Registered mail designated for delivery on February 2 (Tue.). For international mail or express delivery, ensure arrival by February 2 (Tue.) at the A Cluster Office Academic Affairs Section specified in IX. Other (2).

<TOEFL>

Only TOEFL-iBT (internet-Based Test) is valid. TOEFL-iBT (Special) Home Edition, MyBest scores, and TOEFL-ITP institutional test score reports are not accepted. Ensure the Institutional Score Report reaches Kyoto University from ETS by February 2 (Tue.). Specify DI (Designated Institutional) code: 9501, Department code: 69. Additionally, submit the Test Taker Score Report of the same test date via method 1) or 2) above by February 2 (Tue.).

<Written Declaration of Native English Speaker>

Applicants who are native English speakers and wish to be exempted from the English examination must submit the "Written Declaration of Native English Speaker" (Form 化学理工 D). The form can be downloaded from the Graduate School of Engineering website. Please submit it via method 1) or 2) above by February 2 (Tue.).

[Specialized Subject] Allocated Score: 200 points

Answer questions on two subjects selected in advance from the following 13 subjects: Inorganic Chemistry, Organic Chemistry, Physical Chemistry, Analytical Chemistry, Polymer Synthesis, Polymer Properties, Biochemistry, Biochemical Engineering, Mathematics, Reaction Engineering, Fundamental Physics, Unit Operations, and Process Control. Once selected, subjects cannot be changed. Consult the representative faculty member of your desired research area in advance when selecting subjects. The coverage of Mathematics includes calculus, linear algebra, and ordinary differential equations. The coverage of Fundamental Physics includes mechanics, thermodynamics, and statistical mechanics.

(2) Oral examination (Applicant Categories A and B)

Bring your examination voucher, enter the designated waiting room no later than 20 minutes before the start of your presentation, and follow the instructions given by the attendants.

[Presentation of Research Progress/Plan and Oral Examination] Allocated Score: 300 points

(a) Applicants will give a 20-minute presentation on their "Research Explanation" (Master's thesis research or recent research) and "Research Plan" for the Doctoral program, followed by an oral examination of approximately 10 minutes regarding the presentation content and basic academic skills. Please prepare 16 copies of the "Advance Submission Documents" consisting of 2 A4 pages for "Research Explanation" and 1 A4 page for "Research Plan" (3 pages in total; double-sided printing allowed) bound together, with your name and research title filled in, and submit

them by the specified deadline. Refer to VI. Instructions on Application for Admission (4) for the deadline and submission methods. Please note of the matters described in "Part A IV. Selection Methods" of the Guidelines for Applicants when formulating your research plan for the Doctoral program.

Specified Format for Advance Submission Documents:

Paper: A4 size (double-sided printing allowed)

- Format for "Research Explanation":

- Lines 1–2: Research Title (14pt)

- Next line: Research Institution where the research was conducted (12pt)

- Next line: Name (12pt)

- Leave 1 line blank before main text (within 2 pages). Follow standard academic abstract style and include page numbers on each page. At the bottom of page 2, list representative achievements (published or accepted papers, conference presentations, awards) under "List of Research Accomplishments". Consult the representative faculty member in advance if describing research other than your Master's thesis.

- Format for "Research Plan":

- Lines 1–2: Title of Research Plan for the Doctoral Program (14pt)

- Next line: Current Affiliation (12pt)

- Next line: Name (12pt)

- Leave 1 line blank before describing research plan within 1 page.

(b) Presentation must be given by connecting the applicant's own PC to the projector (HDMI or RGB connection) provided in the examination room. Please bring your own PC and any necessary connectors/adapters.

(3) Method of Selection

The decision on acceptance or rejection is made based on the results of the written and oral examinations.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Prior Consultation:

Before applying, applicants must contact a representative faculty member in their preferred research area to consult on the selection of specialized subjects and their research plan.

(2) Selection of Specialized Subjects:

Select subjects you intend to answer on the entry screen of the Online Application System. If you wish to take the examination in English, select "Wish to take examination in English". Category A applicants select "Unnecessary due to Category A".

(3) Selection of Research Area and Educational Program:

Select your preferred research area and post-enrollment educational program via the Online Application System. Please make sure to select the research area number corresponding to your desired laboratory.

(4) Submission of Advance Submission Documents:

Submit 16 copies of the "Advance Submission Documents" (3 pages in total: 2 A4 pages for research explanation and 1 A4 page for research plan) by either (a) Mail or (b) In person.

-Submission Method:

(a) By Mail (Must arrive by January 26 (Tue.)):

Address:
A Cluster Office (Chemical Science and Engineering Admissions),
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510

(b) In person:

Submit by 5:00 PM on January 26 (Tue.) at the Katsura Campus A Cluster Office.

VII. Selecting Your Course after Enrollment

Two types of educational programs are available after enrollment to students who pass the entrance examination of this Department:

1. **Integrated Master's–Doctoral Course Program: "Interdisciplinary Engineering Course"**
   (Refer to the courses listed in I. Track-based Application Preference). For details of the programs and content of each Interdisciplinary Engineering Course, refer to the Graduate School website (https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69). Note that Interdisciplinary Engineering Course (Program of Materials Engineering and Chemistry (5-year / 4-year)) is an "Integrated Master's–Doctoral Course Program", open only to students who select it at the Master's program stage.

2. **Integrated Master's–Doctoral Course Program "Advanced Engineering Course (Global Course)"**
   Refer to VIII. Details of Educational Programs. Course assignment is determined based on applicant's preference and entrance exam results. When selecting a Course Program, applicants are recommended to contact prospective supervisor in advance. If you do not know your prospective supervisor or have any questions, please contact the address listed in IX. Other (3) Contact for general inquiries.

VIII. Details of Educational Programs

[Advanced Engineering Course (Global Course)]

As changes in the environment surrounding humanity continue to accelerate, society's expectations for chemistry are not only expanding but also evolving rapidly. In response to these growing demands, the Department of Chemical Science and Engineering aims to nurture researchers and engineers who can contribute to the creation of intellectual value to address pressing issues facing society.

Through this educational program, students systematically deepen their specialized knowledge within foundational educational structures while cultivating interdisciplinary knowledge that transcends individual fields through flexible research frameworks. The program offers a broad range of lectures and exercise courses, providing practical research and development skills through on-the-research training.

Upon completion of the program, graduates are expected to contribute as highly skilled professionals and innovative leaders in a wide range of fields, including universities, research institutes, and the chemical industry, as well as other areas of society.

This program incorporates the educational content of the Super Global Course established under Kyoto University's Japan Gateway: Kyoto University Top Global Program. Students can fulfill all the credit requirements for program completion solely through English-taught courses.

IX. Other

(1) Any applicant who forgets to bring their examination voucher on the day of the examination must promptly report to the A Cluster Office.

(2) Contact for general inquiries:
A Cluster Office, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510
E-mail: 090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

入試区分／専攻別　別途提出書類様式

Designated Forms (for Each Department / Division)

（様式－D1 / Form-D1）

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季博士後期課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Doctoral Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

博士後期課程（社会人特別選考を含む）
希望選考届・別途提出書類届

Selection of the entrance examination classification and checklist of necessary documents

受験番号
ID
（記入しないこと）
For official use. Please do not fill

出願者氏名
Name of Applicant

１．入学試験において、希望する選考方法
（該当するものの□に○印でチェックのこと）
Entrance examination classification. Enter "○" in one box which you prefer.

□ 一般学力選考
General selection

□ 社会人特別選考
Special selection for career-track working students

□ 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考
Special selection for foreign students who apply for Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering

□ 国費外国人留学生制度（大学推薦）へ応募する
Apply for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation)

□ 2. これまでの研究内容および研究計画に関するレポート（A4 紙 10 頁以内）（様式－D2）（□に○印でチェックのこと、該当しない場合は×印）
Report about your past/current research (within 10 pages including figures and tables) (Form-D2). Enter "○" when you attach it, or "×" when you do NOT attach it.

□ 3. TOEIC または IELTS 試験の成績証明書または英語を母国語とする旨の宣誓書（様式－D4）（□に○印でチェックのこと、TOEFL の場合あるいは該当しない場合は×印、成績証明書を後日提出する場合は△印）
[TOEFL] 京都大学工学研究科社会基盤・都市社会系に直送されるInstitutional Score Report
[IELTS] [TOEIC] 成績証明書原本
Enter "○" when you attach one of TOEIC or IELTS official score certificate, or Form-D4, "×" in the case of TOEFL or when you do NOT attach it, or "△" when you submit one of TOEIC or IELTS official score certificate later.
[TOEFL] Have Institutional Score Report sent to C092(Institution Code), Kyoto University
[IELTS] [TOEIC] Submit original official score report

□ 4. 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－D5）
（□に○印でチェックのこと）
Statement of Course Selection (Form-D5). Enter "○" when you attach it.

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季博士後期課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Doctoral Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

研究経過・計画書

Statement of Research Activity and Study Plan

氏	名
(Family Name)	(First Name)

１．出願者氏名　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿, ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿, ＿＿＿＿＿＿＿＿
Name of Applicant

２．希望指導教員名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印
Name of Preferred Supervisor　　Stamp or Signature＿＿＿＿＿＿＿＿

３．希望研究題目　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Title of Research

注意事項
(Instructions)

専門分野における現在までの研究経過と、希望指導教員の承認を得た今後の学修・研究計画を 10 頁以内で記述し、本紙を表紙として添付すること。

Describe your past/current research activities and your study/research plan in the graduate program approved by your preferred supervisor. Complete your statement within 10 pages and attach this form as a cover sheet.

（様式－D3 / Form-D3）

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季博士後期課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Doctoral Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

博士学位論文草稿審査願

Request for screening for doctoral draft-thesis

論文草稿の題目を記入すること。
Write a title of your draft-thesis

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Date　Name of Applicant　Stamp or Signature ＿＿＿＿

希望指導教員氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Name of Preferred Supervisor　Stamp or Signature ＿＿＿＿

（様式－D4 / Form-D4）

英語を母国語とする旨の宣誓書

Letter of English Proficiency Statement

京都大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻　専攻長　殿
都市社会工学専攻　専攻長　殿

Chair, Department of Civil and Earth Resources Engineering,
Chair, Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering
Kyoto University

私は英語を母国語とすることをここに宣誓いたします。
I, the undersigned, hereby state that I am a native English speaker.

年　　月　　日
Year　Month　Date

国　　籍＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality

出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Family Name　First Name

署　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Signature

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季博士後期課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Doctoral Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

入学後の教育プログラム履修志望調書

Statement of Course Selection

入学後に履修を希望する教育プログラム（１つのみ）に○を記入すること。
Enter “○” in one of the boxes of course programs you wish to pursue upon entering the Doctoral Program.

博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース） Interdisciplinary Engineering Course Program	
	(1) 応用力学分野 Postgraduate Integrated Course Program of Applied Mechanics
	(2) 人間安全保障工学分野 Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering

博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース） Advanced Engineering Course Program	
	(3) 社会基盤工学専攻または都市社会工学専攻 Department of Civil and Earth Resources Engineering, or Department of Urban Management

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Date　Name of Applicant　Stamp or Signature ＿＿＿＿

希望指導教員氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Name of Preferred Supervisor　Stamp or Signature ＿＿＿＿

様式−Ｄ１
Form D1

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
博士後期課程入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

別途提出書類届

Checklist of Necessary Documents

（該当する場合は□に○印、該当しない場合は×印を記入すること）
Enter "○" when you attach it, or "×" when you do NOT attach it.

受験番号
ID
（記入しないこと）
For official use. Please do not fill.

氏　　名
Name of Applicant

□ １．　成績証明書
Transcripts of Academic Record
（出身大学学部及び出身大学院修士課程のもの）
A transcript prepared by the university from which you have graduated, and a transcript prepared by the graduate school you are currently attending or from which you have graduated.

□ ２．　これまでの研究内容及び博士後期課程での研究計画に関するレポート　４部
（Ａ４判、本文５ページ程度、図面を含めて１０ページ以内）
Report (4 copies) about your past/current research and research plan (within 10 pages including figures and tables).
特別プログラム選考受験者は後述７．を確認し提出すること。
Applicants for the MEXT Scholarship Program (University recommendation) must check Section 7 below and submit the required documents instead.

□ ３．　TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の成績証明書
Transcript of either TOEFL, TOEIC or IELTS
（一般学力選考、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考及び特別プログラム選考の受験者のみ）
(Only for applicants to General Selection or Special Selection of international students to Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering or MEXT Scholarship Program (university recommendation))
a）TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の成績証明書の提出に関して、該当する一つに○印をつけること。
Enter "○" in the appropriate box about submission.
[　]成績証明書を本様式と同封して提出する。(You attach one of TOEFL, TOEIC or IELTS transcripts)
[　]成績証明書を提出しない。(You will not submit transcript)

b)該当する試験に○印をつけること。成績証明書は試験当日に返却します。
特別プログラムにおいては国費外国人留学生制度（大学推薦） の募集要項を確認し、国費推薦の判定に使用する条件を満たした試験を提出すること。
Enter "○" in the appropriate box about the transcript. The transcript will be returned on the examination day.
In the MEXT Scholarship Program (university recommendation), applicants must review the application guidelines for the MEXT Scholarship (university recommendation) and submit a transcript that meets the conditions required for the university's recommendation under the MEXT program.
[　] TOEFL-iBT(internet-Based Test)　　[　] TOEIC
[　] IELTS

（次ページにつづく）To be continued on the next page

☐ ４．英語を母語とする旨の宣誓書（様式−Ｄ２）
Letter of English Proficiency Statement (Form D2)
（一般学力選考、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者で英語を母語とする者のみ）(Only for applicants of native English speaker to General Selection or Special Selection of international students to Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering)

☐ ５．入学後の教育プログラム履修志望調書（様式−Ｄ３）
Statement of Course Selection (Form D3

社会人特別選考受験者：
Only for applicants of Special selection for career-track working students:

☐ ６．これまでの研究業績リスト及び発表論文コピー
List of research achievement and copies of published papers

特別プログラム選考受験者：
Only for applicants of MEXT Scholarship Program (university recommendation):

☐ ７．文部科学省が求める推薦に必要な書類（工学研究科ホームページで案内する）
Required documents for the MEXT Scholarship Program (University recommendation) as announced on the Graduate School of Engineering website.

様式−Ｄ２
Form D2

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
博士後期課程入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

英語を母語とする旨の宣誓書

Letter of English Proficiency Statement

京都大学大学院工学研究科
都市環境工学専攻　専攻長　殿

Chair, Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering
Kyoto University

私は英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

I, the undersigned, hereby state that I am a native English speaker.

年　　月　　日
Year　Month　Day

国　籍 _____
Nationality

氏　名 _____（男・女）
Family name　First name　(Male/Female)

生年月日　　年　　月　　日生
Date of birth　Year　Month　Day

サイン _____
Signature

様式−D３
Form D3

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
博士後期課程入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

教育プログラム履修志望調書
Statement of Course Selection

１．国費外国人留学生推薦特別プログラムの応募について記入すること。
Indicate your intention to apply for the MEXT Scholarship Program (university recommendation) by entering “○” in the appropriate box.

（　　）	応募する Wish to apply
（　　）	応募しない Do not wish to apply →２．に進む Answer 2 below

２．特別プログラムに応募しない受験者は、入学後に履修する教育プログラムの希望について記入すること。
Enter “○” in the appropriate box of educational programs you wish to apply who you do not wish to apply MEXT Scholarship Program (university recommendation).

志望順位 Priority number	履修を志望する教育プログラム Educational programs you wish to apply
(　　)	博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース） 人間安全保障工学分野 Interdisciplinary Engineering Course Program Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering
(　　)	博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース） 都市環境工学専攻 Advanced Engineering Course Program Department of Environmental Engineering

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印またはサイン
Date　Name of Applicant　Stamp/or Signature

（様式 MD）

京都大学大学院工学研究科博士後期課程入学資格者選抜試験

機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻

入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書

（予備調査）

専攻名	

入学後に履修する教育プログラム（コース）の志望順位を記入すること。

志望順位	履修を志望する教育プログラム（コース）
(　　)	前後期連携教育プログラム（融合工学コース） ［分野名：　　］
(　　)	前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

日付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

※出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

(Form MD)

Entrance Examination for the Doctoral Program, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Department of Mechanical Engineering and Science/Department of Micro Engineering/
Department of Aeronautics and Astronautics

Statement of Course Selection

(Preliminary Survey)

Department	

Please indicate your order of preference for the following courses.

Priority order	Preferred course
( )	Integrated Master's-Doctoral Program (Interdisciplinary Engineering Course) [Laboratory:]
( )	Integrated Master's-Doctoral Program (Advanced Engineering Course)

Date:_____ Name:_____ (Stamp/Signature)

*Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting this document are different from those for your Application Form for Admission.

（様式 MD）

京都大学大学院工学研究科博士後期課程入学資格者選抜試験

機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻

入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書

（予備調査）

専攻名	

入学後に履修する教育プログラム（コース）の志望順位を記入すること。

志望順位	履修を志望する教育プログラム（コース）
(　　)	前後期連携教育プログラム（融合工学コース） ［分野名：　　］
(　　)	前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

日付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

※出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

(Form MD)

Entrance Examination for the Doctoral Program, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Department of Mechanical Engineering and Science/Department of Micro Engineering/
Department of Aeronautics and Astronautics

Statement of Course Selection

(Preliminary Survey)

Department	

Please indicate your order of preference for the following courses.

Priority order	Preferred course
( )	Integrated Master's-Doctoral Program (Interdisciplinary Engineering Course) [Laboratory:]
( )	Integrated Master's-Doctoral Program (Advanced Engineering Course)

Date:_____ Name:_____ (Stamp/Signature)

*Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting this document are different from those for your Application Form for Admission.

京都大学大学院工学研究科博士後期課程航空宇宙工学専攻

志　望　理　由　書

年　　月　　日

大学大学院　　研究科修士課程　　専攻修了見込

氏名　　印

※出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

The Doctoral Program of the Department of Aeronautics and Astronautics,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

Statement of Purpose

Month Day, Year

Name of the Master's program, department, and graduate school:

Name: _____ (Stamp/Signature)

*Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting this document are different from those for your Application Form for Admission.

（様式 MD）

京都大学大学院工学研究科博士後期課程入学資格者選抜試験

機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻

入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書

（予備調査）

専攻名	

入学後に履修する教育プログラム（コース）の志望順位を記入すること。

志望順位	履修を志望する教育プログラム（コース）
(　　)	前後期連携教育プログラム（融合工学コース） ［分野名：　　］
(　　)	前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

日付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

※出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

(Form MD)

Entrance Examination for the Doctoral Program, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Department of Mechanical Engineering and Science/Department of Micro Engineering/
Department of Aeronautics and Astronautics

Statement of Course Selection

(Preliminary Survey)

Department	

Please indicate your order of preference for the following courses.

Priority order	Preferred course
( )	Integrated Master's-Doctoral Program (Interdisciplinary Engineering Course) [Laboratory:]
( )	Integrated Master's-Doctoral Program (Advanced Engineering Course)

Date:_____ Name:_____ (Stamp/Signature)

*Please note that the deadline, address, and contact for general inquiries for submitting this document are different from those for your Application Form for Admission.

（様式 材工D）

京都大学大学院工学研究科　材料工学専攻
修士課程（外国人留学生）および博士後期課程入学資格者選抜試験
Entrance Examination for the Department of Materials Science and Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

英語を母語とする旨の宣誓書
English Language Proficiency Declaration

材料工学専攻長 殿
Chair, Department of Materials Science and Engineering,
Graduate School of Engineering,
Kyoto University

私は英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

I, the undersigned, hereby declare that I am a native English speaker or I have sufficient English language skills.

年　　月　　日
Year　Month　Day

国籍＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿(男・女)
Family name / First name　Male / Female

生年月日　　年　　月　　日生
Birthday　Year　Month　Day

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Signature

履　歴　書 (Resume)

氏名 (Name) (自筆に限る) (Handwritten only)		性別 (Gender)	
生年月日 (Date of birth)	西暦　　年　　月　　日 生　　満　　才 AD　Year　Month　Day　Age		
現住所 （連絡先） Present address (Contact information)	〒 TEL		
帰省先 (Hometown)	〒 TEL		

学歴（高校卒業後）および職歴 (Educational background after high school graduation and work experience)

研究歴：学部および修士課程における指導教員名、特別研究報告（卒業論文）・修士論文（予定を含む）題目、社会人特別選抜受験者の場合は在職中の研究歴を含めること
(Research experience: Describe the names of your supervisors in the bachelor's and master's courses, the title of your special research report (graduation thesis), and that of your master's thesis (tentative). Besides this, as for applicants under the Special Selection of Career-Track Working Student, describe the research experience during employment.)

希　望　事　項　調　査 (Statement of Research Interests)

博士課程前後期連携教育プログラムにおける指導予定教員名
(Prospective supervisor in the Integrated Master's-Doctoral Course Program

志　望　す　る　教　育　プ　ロ　グ　ラ　ム (Desired Educational Program)

融合工学コース（融合光・電子科学創成分野） Interdisciplinary Engineering Course (Interdisciplinary Photonics and Electronics Creation)	☐
高度工学コース（光・電子理工学） Advanced Engineering Course (Photonics and Electronics Science and Engineering)	☐

以下の内容を含んでいれば自由様式でも可。ただし、A4 用紙 1 枚でまとめること。
If the following content is included, any format in a single A4 sheet is acceptable.

修士課程での研究内容説明書（社会人特別選抜受験者の場合は在職中の研究内容説明書）
Description of research conducted in the Master's Course (description of research conducted during employment for applicants under the Special Selection of Career-Track Working Student)

氏　名 (Name)

修士論文タイトル（予定）（社会人特別選抜受験者の場合は在職中の研究題目）
Title of master's thesis (tentative) (title of research conducted during employment for applicants under the Special Selection of Career-Track Working Student)

研究内容（1. 目的・計画・方法、2. 進捗・発表（予定）論文、3. 関連研究・主な参考文献等について、具体的かつ分かりやすく箇条書きで説明せよ。適宜図表を使用すること。）
Research content (1. Purpose, Plan, and Methods, 2. Progress and (Tentative) Publications, and 3. Related Studies, Main References, etc. must be clearly and concisely described in bullet points. Use charts and diagrams appropriately.)

以下の内容を含んでいれば自由様式でも可。ただし、A4 用紙 1 枚でまとめること。
If the following content is included, any format in a single A4 sheet is acceptable.

博士課程前後期連携教育プログラムにおける研究計画説明書
Description of research plan in the Integrated Master's-Doctoral Course Program

氏　名 (Name)

研究題目（予定）
Title of research (tentative)

研究計画（1. 目的・意義、2. 計画・方法、3. 関連研究の状況等について、具体的かつ分かりやすく箇条書きで説明せよ。適宜図表を使用すること。）
Research plan (1. Purpose and Significance, 2. Plan and Methods, and 3. Status of Related Studies, etc. must be clearly and concisely described in bullet points. Use charts and diagrams appropriately.)

（様式 化学理工 D）

京都大学大学院工学研究科　化学理工学専攻
博士後期課程入学資格者選抜試験
Entrance Examination for the Department of Chemical Science and Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

英語を母語とする旨の宣誓書
Declaration of Native English Speaker

化学理工学専攻長 殿
Chair, Department of Chemical Science and Engineering,
Graduate School of Engineering,
Kyoto University

私は日本国籍を所持せず、英語を公用語とする国*・地域の国籍を有し、英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

（*アメリカ合衆国、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国、オーストラリア連邦を含む）

I, the undersigned, hereby declare that I do not hold Japanese nationality, that I hold the nationality of a country* or region whose official language is English, and that I am a native English speaker.

(*including the United States of America, the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, and the Commonwealth of Australia)

年　　月　　日
Year　Month　Day

国籍＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（男・女）
Family name / First name　Male / Female

生年月日　　年　　月　　日生
Birthday　Year　Month　Day

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Signature

京都大学大学院工学研究科

博士後期課程出願資格認定申請・調書

出願資格番号	(6)・(7)・(8) ※いずれかに○	申請年月日	
志望専攻名		指導予定教員	
フリガナ 氏名		入学時期 (4月期／10月期)	
現住所	〒		
現　職 (所属・職名等)		TEL (昼間連絡可能な番号)	
生年月日 (年齢)		E-mailアドレス	

年月	学　歴　(高等学校卒業から記入)

年月	職　　歴　　等

年月	取得資格免許等及び学協会等の活動、貢献、その他特記すべき事項

注　1．年齢は、申請日現在で記入すること。
　　2．この用紙に書ききれない場合は、同様式の用紙を付加すること
　　3．※欄は、記入しないこと。

認　定　欄
※　　合・否

業　　績　　調　　書

志望専攻名	専攻	フリガナ 氏　名	
受付番号	※		

学術論文、著書、特許公報、学協会講演会等での発表実績（題名、誌名、発表年月日等を記入）	内　容　の　概　要

注　１．学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付すること。
２．この用紙に書き切れない場合は、同様式の用紙を付加すること。
３．※欄は、記入しないこと。

〔博士後期課程出願資格審査用（2027 年 2 月実施）〕

京都大学大学院工学研究科長　殿

証明者　所属機関
職　　名

氏　名　　印

研 究 従 事 内 容 証 明 書

下記のとおり、研究従事内容について証明します。

フリガナ 氏　名		生年月日	年　月　日	受 付 番 号	※この欄は、記入しないでください。
研究従 事期間	年　月　日～　年　月　日		従事の態様 （常勤･非常勤･職名等）		
（研究の内容）					
（参考となる事項等）					

博士後期課程(2027年2月実施)

Doctoral Program (Exam in February 2027)

履　歴　書

Resume

受験番号※記入不要 Examinee's Number ※Need not fill out	

志望専攻 Department	電気電子デジタル理工学専攻 Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	入学時期(4月期／10月期) Admission Time(April/October)	
氏名フリガナ Name in KATAKANA		留学生国籍(注1 Note1) International Student Nationality	
氏名 Name		留学生経費区分 (入学時予定)いずれかにチェック International student category at the time of admission (Check✓ one)	国費(日本政府)MEXT Scholarship Student 私費Privately Funded Student 自国政府派遣 International Student Sent by Home Government JICA International Student supported by JICA
氏名アルファベット表記(留学生のみ) Name in English alphabet (International student only)		AAO ID (AAO申請者のみ) AAO Applicant only	
生年月日(西暦) Date of Birth	(西暦)年Year　月Month　日Day	性別 Sex	□男 Male　□女 Female
TEL(昼間連絡可能な番号) Contactable telephone number in daytime		e-mail	

出身大学院における修士論文題目(修了見込の者は現時点の予定) Title of Master's thesis	
出身大学院における指導教員名 Name of Former Supervisor at Graduate School	

履　歴(空白期間の無いよう記入すること)　History

	入学及び卒業修了年月(西暦で記入) Year and Month of Entrance and Completion	在学年数 Years Attended	学校名 Name of School	正規の修業年限 Required years for Graduation in standard
学歴 Educational Background	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion	年Years	小学校(注2 Note2) Elementary Education (Elementary School)	年Years
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion	年	中学校(注2 Note2) Secondary Education (Lower Secondary School)	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion	年	高等学校 Secondary Education (Upper Secondary School)	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業(見込) To Year Month Completion(Expected)	年	大学 University/College 学部・学科 Faculty & Department Higher Education (Undergraduate Level)	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業(見込) To Year Month Completion(Expected)	年	大学大学院 University/Graduate School 研究科・専攻 Graduate Course & Department Higher Education (Graduate Level)	年
	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month	年	注3～5参照　Refer to Note 3 - 5	
	年 月 年 月	年	注3～5参照　Refer to Note 3 - 5	

	勤務期間 Period of Employment	在職年数 Years of Employment	勤務先名称 Name of Organization
職歴 Employment History	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month	年	
	年 月 年 月	年	

注：
Note

1. 重国籍者はすべての国籍を記載すること。
1. Those who have multiple citizenships must list all nationalities.
2. 履歴事項は、日本の大学を卒業又は卒業見込みの者は、高等学校入学から現在までを記入すること。 それ以外の者は、小学校入学から現在までを記入すること。「在学年数」、「正規の修業年限」欄の数値も漏れなく記入すること。
2. Applicants who have graduated or expect to graduate from foreign university need to enter information from their elementary school to the present. Other applicants need to enter information from high school to the present. Fill in completely for both "Years attended" and "Required years for graduation in standard".
3. 研究生の経歴は、学歴欄に記入すること。
3. Put your study records as a research student on "Educational Background"section.
4. 履歴欄は、空白期間がないように記入し、自宅において学習した期間については、「自宅学習」として、その期間を記入すること。
4. Fill in all the sections without blank period, and applicants who have the period of study at home fill in like "Study at home"
5. 記入欄が足りない場合は、同様の様式の別紙を作成して記入すること。
5. If the space is not sufficient, attach another sheet like this document.

受験番号※ ※この欄は記入しないでください。 Entry is unnecessary for this column.	

京都大学大学院工学研究科
博士後期課程入学試験
Entrance Examination for the Doctoral Course Program
Graduate School of Engineering, Kyoto University

志望する指導教員調書

Statement of Prospective Supervisor

志望する指導教員の氏名を記入し、サインまたは確認印をもらうこと。
Each applicant must fill in the name of the prospective supervisor from whom he/she wishes to receive supervision , and the form must be signed or stamped by the supervisor.

指導教員氏名 Name of Prospective Supervisor	サインまたは印 Signature or Stamp

希望研究題目 Title of Research

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　　出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Date　　Name of Applicant

京都大学大学院工学研究科長　殿

推薦者　所属機関
職　　名
氏　　名　　印

推　　薦　　書

志願者 氏　名		志　望 専攻名	専攻	受 験 番 号	※ この欄は記入しないでください。

（志願者の学力適正、研究適正、研究業績、研究内容等について記入してください。）

注　直属の部長、課長、室長等の指導的立場にある方が記入してください。

【博士後期課程出願者用】出願書類確認表
Application Documents Checklist for Doctral Program

【Bクラスター　工学研究科大学院掛に提出】募集要項「Ⅲ出願要領」及び下記を参照の上、必要な書類がそろっているか確認してください。
Please submit to Graduate Student Section in B Cluster Office. Please make sure that you have necessary documents before submission, referring to III Application in the Guidelines and the following.

	京大工学研究科修了（見込）者 Applicants who completed / are Expected to Complete Graduate School of Engineering, Kyoto University	日本の大学院修士課程（京大工学研究科以外）修了（見込）者 Applicants who Received / are Expected to Receive Master Degree from Japanese University (Except for Graduate School of Engineering, Kyoto University)	外国の大学修了（見込）者 Applicants who Completed / are Expected to Complete a Course in Foreign Educational Institution Equivalent to Japanese Master's Program or Professional School, and so on.			注意事項　Notes
			京大工学研究科研究生 Research Students of Graduate School of Engineering, Kyoto University	京大研究生（工学以外） Research Students of Graduate School in Kyoto University (Except for Graduate School of Engineering)	左記以外 Applicants other than the Two Listed Left.	
出願資格　Eligiblity Requirement	(1)	(1)	(2)(3)(4)			※募集要項のⅡi「出願資格」参照。　Refer to II i "Elgibility" in our Guidelines.
□写真データ Photo data	○	○	○	○	○	
□在留カード（表裏）のコピー Photocopy of Both Sides of Residence Card	外国人留学生のみ提出　Only for International Students					※出願時に提出できない者は、パスポートのコピーを提出すること。 If you can't submit this, please submit a photocopy of passport page with face photograph.
□出願承諾書 Application Consent Form	外国人留学生のみ提出　Only for International Students					
□志望する指導教員調書 Statement of Prospective Supervisor	○	○	○	○	○	
□国費留学生証明書 MEXT Scholarship Student Certificate	現在、京都大学工学研究科以外に在籍中の国費留学生のみ提出 Only for International Students who are Currently in Receipt of MEXT Scholarship, Expected to Receive it after Enrollment, and don't Belong to Graduate School of Engineering, Kyoto University.					※所属の学校が発行したもの The certificate is issued by university which you currently enroll in.
□成績証明書(原本) Original of Academic Transcript		○	○※	○※	○	□日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
□修了（見込）証明書(原本) Original of Certificate of Completion/Expected Completion		○	○※	○※	○	□日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
□修士論文 Master's Thesis		○	○	○	○	※出願資格Ⅱi(6)(7)(8) に該当する者及び京都大学工学研究科修了(見込)者は不要。 Applicants who are under our eligibility requirement II i(6)(7)(8), or completed / are expected to complete the Graduate School of Engineering, Kyoto University, don't need to submit.
□【社会人特別選抜】推薦書(原本) Original of Letter of Recommendation for Special Selection of Career-Track Working Students	社会人特別選抜出願者のみ提出 Only for applicants for the Special Selection of Career-track Working student					
□【社会人特別選抜】研究実績調書 Report of Research Achievement	社会人特別選抜出願者のみ提出 Only for Applicants for Special Selection of Career-track Working Student					

※工学研究科及び工学研究科協力講座(研究所等)の研究生で、研究生の出願・入学手続きの際に原本を提出し、確認を受けている場合に限り、コピーの提出を可とする。
We can accept the photocopy of these documents only if applicants are research students who belong to Gradiate School of Engineering, Kyoto University or its Cooperating Chairs, which are the designated laboratories in research institutes of Kyoto University, and already submitted the original documents when applying.

【志望する専攻のクラスターへ提出】
The Submission to Cluster office in Each Desired Department

専攻別の指定提出書類 Documents Required in Some Departments other than the Above	募集要項の「専攻別入学試験詳細」をよく読んで提出物の有無を確認し、指定された方法により提出してください。**提出場所は、上記書類の提出先と異なります。** In some Departments, you may be required to submit other documents than the above. Read "Details of Entrance Examination of each Division and Department" in the Guidelines carefully. Please be noted that other documents need to be submitted to cluster office in each desired division, differnt from the receiving office for the documents above.

工学研究科長　殿

出願承諾書
Application Consent Form

出願者が合格した場合、研究室に受け入れて指導を行うことを前提に、出願を承諾します。なお、安全保障輸出管理にかかる事前確認シートを提出し、所定の確認・審査等を終えて「受入可」の通知を得たことを確認しました。

I approve the applicant to submit the application, with the understanding that I will admit the applicant to my laboratory and supervise the applicant if the applicant passes the entrance examination. Furthermore, I have already submitted the Pre-screening Sheet (Form1) regarding Security Export Control, and confirmed that the prescribed checks, reviews and other procedures have been completed and received the “Notice of the Acceptance”.

出願者名 _____
Applicant's name

指導予定教員　所属・職名 _____
Department and title of supervisor

指導予定教員　氏名 _____
Name of supervisor

署名日付 _____
Date of Signature

指導予定教員署名 _____
Signature of supervisor

（注）本承諾書は指導予定教員が作成します。安全保障輸出管理にかかる確認・審査等には一定の時間を要するため（通常 2 週間程度、内容によっては数ヶ月程度）、出願者はできる限り余裕を持って指導予定教員に作成を依頼してください。なお、確認・審査等の結果によっては「受入可」の通知を得られず、本出願承諾書の提出に至らない（出願することができない）場合もあります。
また、安全保障輸出管理における確認・審査等は、京都大学における学内手続であり、当該確認・審査等をもって関係省庁による入国査証（ビザ）の発行を保証するものではありません。規制事項に該当する場合や、在留資格認定証明書（COE）不交付もしくは審査長期化の場合、試験に合格しても入学が認められない場合や、入学後であっても、希望する教育や研究指導等に制限が生じる可能性があります。
【指導予定教員へ】
（様式１）事前確認シート【外国人等（学生、研究者、訪問者）受入用】を工学研究科教務課へ提出し、所定の確認・審査等を終えて「受入可」の通知を得たことを確認したうえで、本承諾書を発行し、出願者へお渡し願います。

Note
This consent form is to be issued by the Prospective supervisor.
The checks and reviews process for Security Export Control requires a certain amount of time (typically around two weeks, but it may take several months or more depending on the content), Applicants should request that their supervisors prepare the necessary documents well in advance. Please note that depending on the result of the check and review process, you may not receive the “Notice of the Acceptance”, in which case you will be unable to submit this form (and thus will be unable to proceed with your application). Furthermore, this procedure is solely an internal review within Kyoto University, and completion of this confirmation does not guarantee the issuance of an entry visa by the relevant government authorities. In certain cases, such as when specific regulatory restrictions apply, if a Certificate of Eligibility (COE) is not issued, or if the screening process for a COE is significantly prolonged, you may be denied admission even if you pass the entrance examination. Furthermore, even after enrollment, there may be restrictions placed on the educational programs, research guidance, or other academic activities you wish to pursue.

To the Prospective Supervisor,
Please submit the Pre-screening Sheet (Form1) for Accepting Foreigners, etc. (Students, Researchers, Visitors) to the Educational Affairs Division, Graduate School of Engineering, and then please issue this form and provide it to your applicant only after confirming that the required checks and reviews have been completed and that a “Notice of the Acceptance" has been received.